

百三十九年ニ於テ其流通高價ニ六百七十五萬圓トナリ其他ハ銀行ノ兌換紙幣ニ交換セラレ西曆千八百四十八年ニ至ルマテ埃國ニハ同時ニ二種ノ紙幣ヲ通用セリ一ハ政府ノ不換紙幣ニシテ銀貨ニ對シテ其價格ヲ失ヒ常ニ變動止マヌ一ハ國立銀行ノ兌換紙幣ニシテ銀貨ト其價格ヲ均フセリ何トナレハ銀行ハ常ニ銀貨ト交換ヲ爲セシテナリ

西曆千八百四十八年以後埃國紙幣ノ景況再變セリ即チ國立銀行ハ夥多ノ資金ヲ政府ニ貸與セシテ以テ銀行紙幣兌換ノ制ヲ維持スルコト能ハス終ニ不換紙幣トナリ政府ハ約束ヲ守ラスシテ負債ノ償却ヲ怠リ歲入ハ常ニ歲出ヲ償フニ足ラスシテ兌換ノ制ヲ復スルコト能ハス銀行紙幣モ亦大ニ其價格ヲ失ヘリホ

ルン氏ノ編輯セル西曆千八百六十一年ノ報告ヲ見ルニ西曆千八百四十八年ヨリ同千八百六十年ニ至ル國立銀行ノ景況ヲ載セタリ購フ之ニ據リ西曆千八百四十八年ヨリ同千八百六十一年ニ至ルマテノ間毎年一月ニ於テ該銀行カ政府ニ對シテ貸方タル高及其明細表ヲ次ニ掲載セン但シ表中一位ヲ百萬圓トス

西曆年次

項目	一八四八	一八四九	一八五〇	一八五一	一八五二	一八五三	一八五四	一八五五	一八五六	一八五七	一八五八	一八五九	一八六〇	一八六一
確定公債	一八四八	一八四九	一八五〇	一八五一	一八五二	一八五三	一八五四	一八五五	一八五六	一八五七	一八五八	一八五九	一八六〇	一八六一
中央國庫手形	二四〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇	二五〇〇
新公債	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
流動公債	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
在庫紙幣	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
精算國債	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
新公債	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
四曆千八百五十四年	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
公債抵當貸付	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
精算國債	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
四曆千八百五十九年	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
月廿八日公債抵當貸付	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
四曆千八百五十九年英國	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
借入レシ公債抵當貸付	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
合計	六六〇二五	八八九〇〇	一〇二〇六五	九八〇三〇	七二〇七五	六五〇三五	三五〇三五	三三〇七〇	二六〇八〇	二〇〇三〇	一五〇九〇	一〇〇五〇	五〇〇一〇	.....

公債論



右表中ノ總計ヲ一見セハ政府カ國立銀行ニ負債スル高及埃國政府ノ負債ハ政治上ノ變動ニ原因スルモノタルヲ見ルニ足ルヘシ西曆千八百四十八年同千八百四十九年ノ騒亂ノ爲メニ借入ノ高六千萬乃至一億圓トナリ同千八百五十年ヨリクリミアノ役マテハ政府ノ負債著ク減少シ西曆千八百五十四年ニハ凡六千萬圓トナリ同千八百四十八年ノ負債ヨリ少シ尙ホ久シク平和ヲ維持スルヲ得ハ銀行ニ對スル負債ハ大ニ減少シ兌換ノ制ニ復スルヲ得ルノ勢ナリシニ不幸ニシテクリミアノ役ニ際會シ其萬一ニ備ヘンカ爲メ再ヒ資ヲ銀行ニ借リ負債大ニ増加シ西曆千八百五十年ニハ一億四千萬圓以上トナリ西曆千八百五十年ノモノニ超過セリ爾後四年間ノ平和ニ由リ又著シキ減少ヲ致シ西曆千八百五十九年ニハ僅ニ七千二百餘萬圓ニ下リ治ト西曆千八百四十八年ノ負債額ニ減セリ然ルニ又伊太利ノ戰役起リ政府ハ更ニ資ヲ銀行ニ借リ西曆千八百六十年ニハ其負債殆ント西曆千八百五十五年ノ額ニ上リ同千八百六十一年ニハ實ニ一億二千二百萬圓ノ巨額トナレリ爾後頗ル減少シ西曆千八百七十四年十二月三十一日ニ至リテハ僅ニ四千萬圓トナレリ而シテ政府ハ銀行ヨリノ負債

處分ノ方法ヲ定メ銀行ノ利益中ヨリ政府ノ受クル金高埃地利國立銀行利益配當ノ法ハ先ツ利益ノ五分ヲ株主ニ配當シ之ヲ第一割賦ト稱シ殘餘アレハ其一割ヲ積立金トシテ更ニ株金ノ二分ニ當ル高ヲ配當シ之ヲ第二割賦ト稱ス尙ホ殘餘アレハ之ヲ折半シ一半ヲ株主ニ配當ス之ヲ第三割賦ト稱シ而シテ他ノ一半ハ之ヲ政府ノ收入トシテ銀行ニ付與スヲ以テ負債ノ償還ニ充ツルモノトシ銀行ハ政府ノ爲メニ其貸金ヲ無利子又ハ低利トセリ以テ外國ニ於テハ紙幣發行ノ特權ヲ有スル銀行カ政府ニ報スルノ厚キヲ見ルニ足ルヘシ西曆千八百七十九年ニ至リ政府初メテ銀行收入ノ割前ヲ得其負債ヲ償却シ負債減シテ三千九百八十萬圓トナリ爾來之ヲ増加セシテ開カス然レトモ埃國ハ方今尙ホ兌換ノ制ヲ復スルヲ得ス右ニ述フル所ノ景況ニ據リテ之ヲ見レハ其銀行紙幣タルト政府紙幣タルトヲ問ハス一度不換紙幣ヲ發行スレハ容易ニ兌換ノ制ニ復スルコト能ハサルヲ知ルニ足ルヘシ

今茲ニ埃國不換紙幣ノ景況ヲ詳論スルノ要ナシト雖モ該國政府カ國立銀行ニ對シテ負債スル各種ノ負債ノ性質ヲ略述スルハ敢テ無用ニアラサルヘシ

公債論



表中第一項ニ掲載スル確定公債ハ西曆千八百二十年三月二十日ノ約定ニ始マ  
 リ銀行カ政府發行ノ不換紙幣ヲ引換フヘキヲ諾シ其目的ヲ達センカ爲メ政府  
 ニ貸付ヲ爲シ而シテ政府ハ直ニ其一部分ヲ銀行ニ辨償シ餘ハ年賦トシテ漸次  
 ニ償還シ西曆千八百七十一年ニ至リテ全ク結了スヘキモノトシ其負債ノ半額  
 ニハ四分ノ利子ヲ付シ餘ノ半額ハ無利足トセシモノナリ斯ノ如クシテ年々償  
 却スヘキ高サ七十萬圓ト定メ已ニ償却セシモノノ利子丈ハ更ニ元金ノ償還ニ  
 充ツルモノトシ所謂成崩ノ方法ヲ以テ償還ノ基本ヲ立テタリ右ノ表ヲ見レハ  
 其約定ハ堅ク履行セラレタルヲ知ルヘシ

第二項ノ負債モ亦西曆千八百四十八年以前ノモノナリ元來銀行ハ政府ノ證書  
 ナリ引シ期限毎ニ支拂ヲ猶豫スルノ習慣アリテ負債常ニ絶ヘス時々之ヲ立替  
 延期シ殆ト永久ナル流動國債トナセシモノナリ該負債ニ對シテ政府ハ三分ノ  
 利ヲ銀行ニ付與シ西曆千八百五十一年ニ於テ五百二十五萬圓同千八百五十  
 一年ニ於テ百二十五萬圓ヲ償却シ殘額千八百五十萬圓ハ西曆千八百五十二年二  
 月二十三日ノ約定ニテ第六項ノ負債ニ組入レタリ

二十

二十一

第三項ナル新公債ト稱スルモノハ西曆千八百四十八年同千八百四十九年ノ間  
 ニ於テ二十回ニ銀行ヨリ借入レタル負債ニシテ西曆千八百四十九年九月十八  
 日ニ之ヲ一括シテ一負債ト爲セシモノニシテ一時其額凡四千八百五十萬圓ニ  
 上リ二分ノ利子ヲ附セリ特ニ此負債ノ償還ノ爲メ起セシ三千萬圓ノ公債募集  
 金ヒードモンドノ償金其他各種ノ方法ヲ以テ久シカラスシテ其償還ヲ了セリ

第四項ノ流動公債ハ種々ノ起源ヨリ成立チ且ツ其數僅々ニシテ特ニ注意スヘ  
 キモノナシ

第五項ナル紙幣ハ西曆千八百四十八年ニ政府カ發行セシ紙幣ナリ該紙幣ハ不  
 換紙幣ニシテ該銀行ハ之ヲ支拂ニ受取ラサルヲ得サルモノナリ此負債ハ西曆  
 千八百五十二年ニ第六項ノ負債ニ組入レタリ

第六項ノ負債ハ三箇ノ負債ヲ結合セシモノニシテ西曆千八百四十八年同千八  
 百四十九年ニ借入レタル二分利ノ負債ノ殘高(第三項政府ノ中央金櫃ノ負債證  
 書ヲ以テ借入レタル三分利ノ負債ノ殘高)第二項及銀行カ所有セル政府ノ紙幣  
 (第五項)ヲ整理セシモノナリ是等數種ノ負債ヲ一括シ均シク二分ノ利子ヲ付シ



鹽坑ヲ抵當トシ若シ政府ノ通常歳入ヲ以テ之ヲ償却スルコト能ハサレハ公債  
 ヲ募集シテ速ニ償却スヘキモノトセリ西曆千八百五十二年同千八百五十三年  
 ニハ豫定ノ如ク償還ヲ施行セシト雖モ同千八百五十四年ニハ償還ヲ止メ翌年  
 即チ西曆千八百五十五年ノ豫定ヲ以テ第九項ノ負債ニ組入レタリ  
 第七項ハ西曆千八百五十四年二月二十三日ノ豫定ニ據リテ生セシ所ノ負債ナ  
 リ當時政府ハ斷然不換紙幣ノ制度ヲ廢セント欲シ銀行ト約ヲ結ビ銀行ヲシテ  
 其紙幣ヲ以テ政府ノ不換紙幣ニ交換セシメタリ當時政府紙幣ハ銀行紙幣ト併  
 ビ行ハレ其額尙ホ頗ル多シ銀行ハ政府紙幣ヲ其紙幣ト交換スト雖モ毫モ利子  
 ナ交附セラレス只毎年政府ハ關稅ノ收入ヲ以テ五百萬圓宛チ銀行ヘ支拂フヘ  
 シトセリ西曆千八百五十四年六月二十六日ニ於テ政府ハ銀行ヘ對スル負債償  
 還ノ爲メ大ニ公債ヲ募集レリ當時政府カ該銀行ニ對スル負債ハ一億三千四百萬  
 圓ニシテ政府ハ西曆千八百五十八年マテニ九千四百萬圓ヲ償却スヘシトセリ  
 即チ内六千七百二十五萬圓ハ特ニ公債ヲ募集シ其收入ヲ以テ支拂ヒ二千萬圓  
 ハ右ノ五百萬圓ノ額ヲ四箇年賦ニ支拂ヒ餘ハ表中ノ第一項ナル確定公債償却

二十二

二十三

ノ方法即チ元利成崩ノ方法ニ據リ償還ヲ行フヘシトセシナリ右ノ約定ハ實際  
 ハ履行セラレサリシモ外形ニ於テハ能ク之ヲ行ヘリ何トナレハ政府ハ一方ニ  
 於テ約定通り負債ヲ償却シ而シテ同時ニ該銀行ヨリ新ニ借入レタルコトハ殆  
 ト其償還セシ高ニ均シケレハナリ  
 第八項ノ負債ハ政府カ四千萬圓ノ公債ヲ募集セントシ其取扱チ銀行ニ委任シ  
 銀行ハ之カ爲メ利益ヲ得ヘシト豫期シ政府ハ該銀行ヨリ四千萬圓ヲ借入レタ  
 リ此負債タルヤ久シカラスニテ償却スヘキ等ナリシニ却テ尙ホ千萬圓ヲ増シ  
 西曆千八百五十五年ニ第九項ニ組入レタリ  
 第九項ノ負債ハ西曆千八百五十二年二月二十三日ノ二分利付ノ負債ノ殘額二  
 千七百五十萬圓(第六項)ト銀行カ當座振替ヘタル五千萬圓ノ負債ヲ結合セシモ  
 ノナリ該負債ハ合計七千七百五十萬圓ニシテ政府ハ其負債償却ノ爲メ官有地  
 ヲ銀行ニ與ヘ銀行ヲシテ自ラ之ヲ賣却シ其收入代價ヲ以テ償却ニ充テシメタ  
 リ是レ償還ヲ速ニセント欲スルノ意ヨリ出ツルモノニシテ其意ヤ好シト雖モ  
 廣大ノ土地ハ能ク一朝一夕ニ之ヲ賣却シ得ヘキモノニアラス銀行ハ久シク不



動産ノ所有者トナリ其管理ニ多少ノ勞働ト費用ナキヲ得ス本業外ノ事ニ預ラサルヲ得サルノ不便アリテ實ニ西曆千八百五十六年ヨリ同千八百六十年ニ至ル四年ノ間ニ償却セシハ僅ニ八百萬圓ニ過キス此割合ニ從ヘハ全額ヲ償還スルニ至ルハ方サニ四十年ヲ要シ事頗ル遅緩ナルヲ以テ政府ハ其償却ヲ速ニスルカ爲メニ西曆千八百六十年ヨリ同千八百六十五年ニ至ルマテニ年賦ニテ收入スヘキスードノ鐵道拂下代價千五百萬圓ヲ銀行ヘ振向ケ又官有地券抵當公債千五百萬圓ヲ銀行ニ交付セリ

第十第十一ノ二項ハ西曆千八百五十九年ノ戰ニ由リテ生ゼン所ノ負債ナリ即チ第十項ニ掲クルモノハ西曆千八百五十九年四月廿九日一億圓ノ公債ヲ募集スヘキノ令ヲ發シ之ヲ抵當トシテ銀行ヨリ借入レタルモノナリ然ルニ當時募集ノ困難ナルヲ見テ暫時募集ヲ見合セタリ銀行ハ其紙幣ヲ以テ政府カ他日募集スヘキ公債ノ三分ノ二ヲ繰替ヘタリ同時ニ復々兌換ヲ停止シ爾後眞ニ兌換ノ制ヲ復セシコトナシ右ノ新公債ハ二分ノ利付ニシテ西曆千八百五十九年八月ノ末マテニ一時其高六千六百五十萬圓ニ上レリ此負債ニ付キテ奇怪ナルハ

二十四

二十五

銀行カ政府ニ貸與スヘキ紙幣ハ悉ク五フロートリンノ紙幣ヲ以テスヘント爲セシコト是ナリ然ルニ世間ニハ此ノ如ク巨額ノ小貨幣ヲ要セサリシカ故ニ其紙幣ハ多ク銀行ヘ戻リ來レリ政府ハ一億圓ノ公債ヲ募リテ右ノ負債ヲ償ハント欲セシニ其意ヲ達スルコト能ハス公債ヲ募リシモ其豫定額三分ノ一ヲ得ルコト甚々難カリシ故ニ政府ハ舊時ノ已ニ廢シタル減債基金ノ所有ヲリシ公債證書及今回ノ募集ニ發行シ能ハサリシ公債證書六千五百五十萬圓ヲ西曆千八百六十一年十一月一日前ニ民間ニ賣出スヲ禁シテ銀行ニ交付セリ

第十一項八千萬圓ノ額ニシテ西曆千八百五十九年一月倫敦政府ニ於テ募集ニ着手セシ公債證書ヲ抵當ニセシモノニシテ同千八百六十年一月ニ償還スヘキモノナリシト雖モ其約束ヲ遵守スルコト能ハサリシ

西曆千八百四十八年ヨリ同千八百六十一年ニ至ル困難ノ時期ニ於ケル英國政府ト國立銀行トノ關係ハ斯ノ如ク繞密ニシテ其間財政學上頗ル參考トナルモノアリ

第一 英國政府ハ一度不換紙幣ノ制ヲ廢シテヨリ兌換ノ制ヲ復セントセシ



六〇二  
コト數回ナリモ當ニ政治上ノ動搖ニ由リテ却步セシ情狀如何ヲ見  
ル事得ヘシ

第二 動産不動産ヲ問ハス之ヲ抵當トスルモ速ニ政府ナシテ不換ノ制ヲ脱  
セシムルニ足ラス又銀行ナシテ兌換ヲ始メシムルニ足ラサルヲ見ル  
ヘシ然ル所以ノモノハ總テ是等ノ財産ハ急ニ賣却セハ大ニ損失ヲ免  
レサルモノナレハナリ

第三 銀行カ政府ニ繰替ヲ爲シタルカ爲メニ非常ノ利益ヲ得タルヲ見ルヘ  
シ該銀行ハ只紙幣ヲ刷出シサヘスレハ二分乃至三分ノ利子ヲ得ルナ  
レハ銀行カ政府ノ爲メニ盡セシハ却テ銀行ノ利益トナレリ然レモ其  
市場ヲ紊亂セシハ實ニ非常ノ度ニ達シ結局銀行真正ノ事業ノ發達ヲ  
妨ケタリ

元來英國政府カ借入ノ爲メ紙幣ヲ發行セシムルニ二分若クハ三分ノ利子ヲ銀  
行ニ與ヘタルハ多キニ過キタリト云フヘシ佛國ノ如キハ一分ヲ與ヘ伊太利  
テハ零分六ヲ與フルヲ例トス而シテ其之ヲ與フルハ利子ト云ハシヨリハ紙幣

發行ノ手数料ト云ツヘシ斯ノ如ク銀行カ久シク政府ノ都合ノミヲ計リ専ラ力  
ヲ是ニ盡スニ於テハ力ヲ其本務ナル商業ノ爲メニ致スコト能ハサルハ數ノ免  
レサル所ナリ夫レ一人ニシテ同時ニ二主ニ事フルコト能ハサルハ自然ノ理ナ  
リ然ルニ該銀行ハ常ニ政府ニ給スヘキ資ヲ備ヘ而シテ工商ノ補助ヲ爲サント  
ス抑亦難ヒ哉其効驗タルヤ慨歎ニ堪フヘカラサルモノアリ

今一步ヲ進メテ英國國立銀行ノ紙幣流通高竝ニ之ニ對スル準備ノ財産ハ前後  
左ノ如シ

西曆千八百四十八年七月一日ニ於テ紙幣ノ流通高一億九百四十八萬五千五  
百圓ニシテ内六千五百五十萬圓ハ金銀在高諸證書手形類竝ニ人民ヘノ貸付ニ對  
シ發行シ四千七百九十八萬五千五百圓ハ只政府ニ貸附ケタルモノニシテ容易  
ニ償還シ能ハサル政府ノ負債ヲ抵當トスルノミ西曆千八百五十九年一月一日  
即チ該銀行ノ紙幣カ兌換ノ制ニ復セシ日ニ於テ其紙幣流通高一億八千二百  
三萬一千圓ニ上リ金銀在高諸證書手形及貸附高ヲ合セテ其抵當ニ當ルモノ一  
億三千三十九萬二千五百圓即チ流通高ノ七割ニシテ其餘ハ政府ニ貸附ケタル



モノヲ抵當トスルノヨリ西曆千八百六十一年一月一日ニハ紙幣ノ流通高ニ億二千六百十二萬四千五百五十圓ニシテ之ニ對スル準備ハ金銀在高諸證書手形及貸附高ヲ合セテ九千九百八萬九千圓即チ流通高ノ四割三分八ニ當ル餘ハ悉ク政府ニ貸附ケタルモノヲ抵當トセリ西曆千八百七十四年十二月三十一日ニハ銀行紙幣流通高ハ減少シテ一億四千六百五十萬圓トナリ其準備ハ金銀在高六千九百五十萬圓諸證書手形類七千三百萬圓ナリ是レ殆ト流通高ニ匹敵ス而シテ政府ヘノ貸附ハ減シテ四千萬圓トナリ頗ル好況ヲ呈セシテ以テ政府ハ之ヲ機トシ兌換ノ制ヲ復セリ然レトモ當時埃國ニテ流通セシハ只銀行紙幣ノミナラス其他ニ政府ノ發行ニ係ル巨額ノ不換紙幣アリテ西曆千八百七十三年三月三十日ニ於テハ其高一億八千六百五十萬圓ナリシヲ以テ埃國ノ紙幣流通高ハ實ニ三億乃至三億五千萬圓ノ高ナリシ由是觀之兌換ノ制ヲ復セント欲セハ先ツ巨額ノ政府紙幣ヲ減却スルヲ要セシヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ銀行紙幣流通高ハ敢テ過多ナルニアラス西曆千八百七十四年十二月三十一日ノ流通高ハ前記ノ如クニシテ同千八百七十八年九月三十日ニ於ケルモ殆ト其額ヲ均シクシ

一億四千八百五十萬圓ニ過キヌ又之ニ對シテ金銀ノ在高六千九百萬圓アリ加フルニ諸證書手形モ六千九百萬圓アリタレハ是レ殆ト紙幣ノ高ニ均シト云フヘク而シテ當時政府ノ銀行ニ對スル負債高ハ依然四千萬圓ニシテ銀行ノ資本高ニ達セス銀行ノ資本ハ四千五百萬圓ニシテ積立金ヲ合シテ五千四百萬圓ナリ右ニ述フル所ヲ以テ之ヲ見レハ埃國紙幣ノ禍害ハ銀行紙幣ニアラスシテ政府紙幣ニアリト云フヘシ故ニ兌換ノ制ニ復セント欲セハ政府紙幣ノ半額ヲ消却スルヲ要スルヤ多辯ヲ要セサルナリ

西曆千八百七十六年以後東方ニ事アリ若シ此役ナカリセハ埃國地利ハ其不換紙幣ノ制ヲ脱シテ兌換ノ制ニ復スルハ敢テ難キニアラサルヘシ然ルニボスニヤ及ホルシゴグイニヤノ埃國所屬ニ歸セシヨリ再ヒ埃國財政ノ景況ヲ變セリ當時埃國ハ大ニ土木ヲ起シ已ニ國庫ヲ耗盡セシニ際シ東方ノ役起リ爲メニ一層其困難ヲ増加シ(埃國ニ於テ近年大ニ土木ヲ起シ一年ニシテ二千乃至三千キロメートルニキロメートルハ九十八間餘ノ鐵道ヲ敷設セリ若シ之ヲシテ七八百キロメートルニ止ラシメハ敢テ過キタリト云フヘカヲサルナリ)西曆千八百七十



九年四月東方ノ役ニ於ケル軍費ヲ償フカ爲ニ外國債ヲ募集セリ當時埃國ノ通貨ハ不換紙幣ニシテ其本位ナル銀貨トハ同一ノ價格ナリシト雖モ金貨ニ對シテ一割七分ノ下落ヲ爲セリ是レ銀價ノ下落ニ由ルモノナリ故ニ銀貨ヲ以テ兌換ノ制ニ復スルヲ得ヘキモ實際敢テ用ヲ爲サルヘシ西曆千八百七十八年十二月ニ於テ政府紙幣ノ流通高一億八千二百萬圓銀行紙幣ノ流通高一億四千四百萬圓合計三億二千六百萬圓ナリ爾來尙ホ減少ノ勢ヲ示サス却テ之ヲ増加シ千八百八十七年ニ於テ政府紙幣二億六百萬圓トナリ銀行紙幣ハ凡一億六千四百萬圓合計凡三億七千萬圓ノ巨額ヲ致ス回顧スレバ彼ノザドワノ役以前ニハ埃國ハ殆ト兌換ノ制ニ復スルヲ得ヘキノ域ニ臨ミ西曆千八百六十五年ニハ紙幣ノ打歩僅ニ三分ニシテ埃國政府ハ西曆千八百六十七年一月ヨリ兌換ノ制ニ復スヘキヲ決議セリト雖モ惜哉復タ戰役ノ發セシカ爲メニ其意ヲ達スルコト能ハザリシ戰亂ノ財政ヲ亂ス實ニ已ムヲ得サルモノナリ

埃國ハ已ニ不換紙幣ヲ發行シ西曆千八百四十八年以來其價格屢高低セシハ勢ノ免レサル所ナリト雖モ其流通高ハ遂ニ過大ナラザリシヲ以テ其下落ハ西曆

三十一

千八百年代ノ初ニ於テセシカ如ク甚シキニ至ラザリシ西曆千八百四十八年後ニ於テ紙幣ノ下落ヲ致セシハ重ニ政治上ノ景況ニ由リ其發行ノ限度ヲ失ヒ遂ニ政府ノ身代限ヲ致スニ至ルヘキカトノ憶測恐懼ニ出テシモノ多キニ居ルト云ツヘシ其紙幣高低ノ景況ハ左ノ如シ

西曆千八百四十八年三月五日ニハ銀貨百フロリオンニ付キ紙幣百フロリオント九分ノ一同年五月二十二日ニハ銀行紙幣ヲ不換ニスヘキ令ヲ下セシ日銀貨百フロリオンニ付キ紙幣百十フロリオン同千八百四十九年八月十三日ニハ匈牙利ノ反亂銀貨ノ紙幣價格百二十七フロリオン平ニ上リ同千八百五十年十一月二十六日普魯西トノ葛藤ニハ銀貨百五十二フロリオン同千八百五十九年六月六日伊太利ノ役ニハ銀貨百四十四フロリオン同千八百六十一年一月三十日匈牙利ノ困難ニハ銀貨百五十二フロリオン同千八百六十六年六月十日普魯西トノ戰ニハ銀貨百四十五フロリオンナリ爾後銀貨下落シテ九分乃至一割ニ降レリ由是觀之銀貨ト紙幣ノ差ハ五割二分以上ニ達セシコトナク而シテ其騰貴セシハ重ニ國家ノ困難アリシ時ニアリシコトヲ知ルヘシ近年東方ノ困難起



リント澳國ノ本位貨ナル銀價ノ下落トニ由リ金ニ對シテハ紙幣ノ價格再ヒ下落シ西曆千八百七十七年ノ春ニ於テ二十フランノ金貨ノ價維也納ニ於テ九フロリオン九十三ナリシ同價格ナレハ八フロリオンナルヘキモノナルカ故ニ金ニ對シテハ紙幣ノ下落ニ割三分ナリ銀貨ニ對シテハ僅ニ七八分ニ過キス爾後ハボスニヤホルゴワイニヤノ困難アルニモ拘ラス紙幣價格ノ景況ヲ取直シ西曆千八百七十八年九月ニ於テハ二十フラン金貨ノ價維也納ニ於テ九フロリオン三十三ニシテ紙幣ノ下落僅ニ一割六分ナリ

澳國カ一度不換紙幣ノ弊制ニ陥リテヨリ之ヲ脱スルコト能ハス交換要具ノ價格ヲシテ高低常ナキヲ致セシハ實ニ歎スルニ餘リアリ然レモ若シ此弊ヲ救正スルニ汲々ヲラシメハ敢テ兌換ノ制ヲ復スルハ難キニアラサリシナラン若シ政府カ毎年ノ歲計豫算ヲ爲スニ當リテ其有餘ヲ備ヘ銀行トノ約束ヲ履行シ又政府紙幣ノ一部ヲ償却セハ久シカラシテ兌換ノ制ヲ見ルヲ得ヘカリシニ澳國ノ財政ハ毎年不足ヲ生シ常ニ收入ヲ以テ支出ヲ償フコト能ハス西曆千八百三十一年ヨリ同千八百四十七年マテハ頗ル平和ノ時期ナリシト雖モ歲入ハ殆

ト常ニ歲出ヲ償フニ足ラスシテ其間歲入ノ歲出ニ超ヘシコト僅ニ四回ニ過キス其歲入ノ歲出ニ超過セシ時ノ餘額ヲ減除シテ右十七年間ノ不足額ハ合セテ七千五百五十萬圓ナリトス故ニ毎年平均ノ不足高ハ四百二十二萬五千圓ナリ西曆千八百四十八年ヨリ同千八百五十九年ニ至ル十二年間ニ於テハ其不足更ニ甚シク一同トシテ歲入ノ歲出ヲ償ヒシコトナク其合計不足高ハ六億千六百二十六萬二千二百五十圓ニシテ毎年ノ平均不足高ハ實ニ五千百三十五萬五千九百九十一圓餘ナリ其間不足ノ最モ少キハ西曆千八百五十八年トス然ルニ尙ホ二千九百六萬七百四十圓餘アリ斯ノ如ク年々歲入不足ヲ致セシヲ以テ政府ハ不換紙幣ノ制ヲ脱スルノ策ヲ得ル能ハサリシヤ疑ヲ容レサルナリ

澳國國立銀行モ亦敢テ熱心兌換ノ制ヲ復スルニ汲々ヲラス却テ不換ノ制ヲ欲セシモノ、如シ何トナレハ該銀行ハ政府ニ練替ヲ爲シ之カ爲メニハ毫モ資本ヲ要セスシテ其得ル所ノ報酬ハ甚タ大ナレハナリ政府ハ各種ノ財產ヲ該銀行ニ引渡シ償却ニ供センニ容易ニ貨幣ト交換シ得ヘキ證書類甚タ少ク却テ土地ノ如キ最モ紙幣抵當ニ不良ナルモノ多キニ居レリ尤モ土地ハ之ニ時日ヲ借



而シテ國幸ニ泰平無事ナルヲ得ハ敢テ賣却シ得サルニアラス之ヲ賣却シテ紙幣ヲ引上ケ其流通高チ減縮スルコト決シテ爲シ能ハサリシニハアラス而シテ  
 澳國ニ於テ絶ヘス擾亂ニ遭遇セシニアラス其間頗ル泰平ヲ樂ミシコトアリシト雖モ銀行ハ敢テ賣拂ヲ急キ力チ紙幣消却ニ盡セシテ見ス姑息ノ利ニ惑ヒ遠大ノ利益ヲ忘却セシノ狀ナキヲ得ス又政府ニ於テモ土地ノ如キハ大ニ後來ノ收入ヲ増シ且ツ其價格ヲ増加スルノ見込アルモノナレハ之ヲ銀行ニ付與セス自ラ之ヲ以テ財源ヲ得ルノ路ヲ計リ而シテ其收入ヲ以テ銀行ノ負債償却ニ供スルコト能ハサリシニアラス土地ノ如キハ銀行ノ所有ニ付スヘカラサルハ勿論其管理ニ於テモ政府自ラ之ヲ爲スハ銀行ノ之ヲ爲スニ勝レルヤ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ又八分若クハ九分ノ利チ拂フモ一億乃至一億五千萬圓ノ内債又ハ外債チ金銀貨ニテ募集シ之ヲ以テ兌換ノ制チ復スルチ力メハ爾後其租稅ハ悉ク金銀貨トナリ紙幣ノ價格ヲ復スヘキヲ以テ若シ費用ヲ節シ不急ノ事業チ起スチ慎マハ租稅ノ有餘ヲ以テ其公債利子チ支拂フハ未タ以テ至難ノ業ニアラサリシナラン然ルニ策此ニ出テスシテ不急ノ大土木チ起シ次キテ歐洲一般

三十五

三十四

大ニ軍備チ事トスルニ際シテ遂ニ兌換回復ノ機チ失ヒシハ畢竟澳國政府カ不換紙幣ノ發行ハ一時避クヘカラサルノ危急ニ當リテ他ニ財源チ得ルノ方便チキノ己ムチ得サルモノアリシヨリ生スルノ權道ニシテ決シテ之ヲ永遠ニ行フヘキモノニアラサルコトヲ悟ラサリシニ由ル豈ニ慨歎ニ堪フヘケスヤ  
 佛國カ不換紙幣ノ制チ行フテ其價格大ニ下落シ貨幣上ニ非常ノ動亂チ生シタリト雖モ有形無形上澳國ニ鑑戒チ與ヘサリシハ又他國ノ例チ見ルニ敏ナラサルモノト云フヘシ抑佛國ニ於テ不換紙幣チ行ヒシニ當リテヤ上相將ヨリ「ダガブレンツ」將軍ハ之カ爲メニ自殺セリ下赤貧ノ細民ニ至ルマテ大ニ投機ノ情チ起シ全國舉クテ投機ノ狂熱チ發セシハ大ニ紙幣ノ罪ナリト云ハサルチ得ス澳國ニ於テモ西曆千八百七十三年ニ此狂熱チ發セリ元來斯ノ如ク投機ノ情チ起サシムルハ特ニ其國貨幣ノ制度亂レテ交易用具ノ價格變動常チキトキニアリ豈ニ慎マサルヘケンヤ

第四項 露國

澳國不換紙幣ノ歴史チ述フルコト已ニ難シ露西亞ノ不換紙幣ノ歴史ニ至リテ

公債論



ハ實ニ解説スヘカラス抑露國ニ紙幣ヲ採用セシハ西曆千七百六十八年十二月二十九日ノ勅令ニ初マル當時露國ノ通貨ハ銅貨ナリシヲ以テ交易取引及運輸ノ不便ヲ避クルトノ託言ニテ露國政府ハ「アツシニヤ」ト稱スル紙幣ヲ發行セリ此紙幣ハ眞貨ト均シク政府ニ受取リ且ツ納稅者ハ常ニ少クモ其納稅ノ二十分一ハ此紙幣ヲ以テ納ムヘシト爲シ兌換ヲ請フモノハ銅貨ト交換スルヲ得ヘキモノナリシ而シテ政府ハセイント、ピートルス、ホルグ、モスコ、及其他ノ場所ニ於テ數局ヲ置キ交換ノ便ヲ計レリ已ニシテ西曆千七百七十四年一月十日ノ勅令ヲ以テ「アツシニヤ」ノ發行高ハ二千「ルーブル」ニ「ルーブル」ハ凡八十錢ヲ越ユヘカラスト令セリ露國カ「アツシニヤ」ヲ發行セシ初メニ當リテヤ頗ル公衆ノ氣ニ投シ暫時ハ紙幣ヲ打歩ヲ得ル勢ナリシ尤モ該紙幣ハ其本位貨ナル銅貨ト兌換スルヲ得ヘキモノニシテ未タ以テ之ヲ不換紙幣ノ制度ナリト云フヲ得ス

已ニ「アツシニヤ」紙幣ノ發行高ニ制限ヲ置キト雖モ土耳其戰事起ルニ當リ政府ハ其約束ヲ守ルコト能ハス忽チ紙幣ノ流通高ヲ増加シ西曆千七百八十六年六月二十六日ノ勅令ヲ以テ「アツシニヤ」ノ制限ヲ擴張シテ之ヲ一億「ルーブル」ト

セリ露國紙幣ノ下落是ニ濫勝ス

西曆第十七世紀ノ末露國紙幣流通額並ニ「ルーブル」銀貨價格表

西曆	流通紙幣 <small>百圓「ルーブル」位</small>	年度内新發行額 <small>全上</small>	紙幣ヲ以テ計リタル「ルーブル」銀貨ノ價格 <small>「コペック」</small>
同 千七百八十八年	四〇	六〇	一〇三
同 千七百九十年	一〇〇	一一	一一五
同 千七百九十一年	一一一	六	一二三
同 千七百九十二年	一一七	三	一二六
同 千七百九十三年	一二〇	四	一三五
同 千七百九十四年	一二四	二一五	一四一
同 千七百九十五年	一四五、五	四五	一四六
同 千七百九十六年	一五〇	七七	一四七

〔註〕「ルーブル」銀貨ハ二十「グラム」七二四ニシテ其千分ノ八百七十八ヲ純銀トス而シテ之ヲ百分ニテ「コペック」トス

紙幣發行ノ度斯ノ如ク急ナリシヲ以テ其下落亦甚タ急ニシテ西曆千七百九十



六年ニハ銀貨二ループルニ付キ紙幣二ループル半ニ至リ諸物債券銀等皆騰貴  
 國庫頻リニ缺乏ヲ告ケ西曆千七百九十四年六月二十三日ニ至リ政府ハ勅令  
 ナ發シテ農民ニ分頭稅ヲ増課セリ是レ諸生産物ノ價ヲ騰貴シ勞銀ヲ増加セシ  
 ナ以テ農民ノ利ヲ大ニセリトノ說ニ出ツルモノナリ又其他諸般ノ租稅ヲ増加  
 セルモノ頗ル多シ  
 西曆千七百八十六年アツシニヤ紙幣ノ發行高ヲ定メ之ヲ一億ループルトセシ  
 ト雖モ亦初度ノ二千萬ループルノ制限ヲ守ルコト能ハサリシト一般忽チ其制  
 限ヲ超ヘテカテリオン女帝崩御ノ時ハ紙幣ノ高一億二千六百十六萬二千四百  
 圓ニ達セリ當時露國ニ於テハ工商ノ事業未タ盛ナラス人口亦稀少ナリシニ比  
 スレハ此高ハ頗ル過多ノ貨幣ナリト云ハサルヲ得ス爾後西曆千八百年代ノ始  
 メ全歐洲ノ戰亂ニ際會シ大ニ紙幣ノ高ヲ増加シ西曆千八百十年ニ於テ流通紙  
 幣ノ高四億六千六百六十萬圓トナレリ時ニアレキサンドル第一世ハ總テ是等ノ  
 紙幣ヲ以テ露國政府ノ負債ト見做シ官有財産ノ全額ヲ以テ其抵當ニ宛テ而シ  
 テ後來ハ必ス其餘ニ紙幣ヲ發行セサルヘト約セリ然ルニ西曆千八百十七年

ニ於テ流通紙幣ノ高六億六千八百八十萬圓ニ上リ其價格ハ之ヲ銀貨ニ比シテ  
 四分一以下ニ下レリ茲ニ於テ露國政府ハ種々ノ方法ヲ設ケテ紙幣ノ一部分ヲ  
 消却センコトヲ企テ已ニ西曆千八百十年五月二十七日ノ勅令ヲ以テ内國債ヲ  
 募集シ又官有地ノ一部ヲ賣却シ以テ紙幣消却ニ充ツヘキヲ令シ西曆千八百十  
 七年ニ至リテ漸ク之ヲ實行シ百ニ付キ八十三ト三分ノ一ノ割合ニテ六分利子  
 ナ以テ内國債ヲ募集シ紙幣ヲ以テ之ヲ拂込マシメ後又西曆千八百十八年ニ再  
 ヒ百ニ付キ八十五ノ割合ヲ以テ公債ヲ募集シ同千八百二十年ニハ百ニ付キ七  
 十二ノ割合ニテ五分利子ノ外債ヲ募集シ尙ホ他ニ百ニ付キ七十七及七十七半  
 ノ割合ニテ兩度公債ヲ募集シ右ノ諸公債募集金ノ一部ハ之ヲ紙幣消却ニ宛テ  
 頗ル其流通高ヲ減シ千八百二十二年ニハ紙幣ノ高減シテ四億六十二萬八百圓  
 トナレリ此類タル尙ホ夥多ナルヲ免レスト雖モ之ヲ數年前ノモノニ比スレハ  
 其三分ノ一ヲ減セシモノナリ當時露國ノ大藏大臣カンクリン侯ハ公債ヲ募リ  
 テ紙幣ヲ消却スルハ無利公債ヲ變シテ有利公債ト爲スモノニシテ政府ノ爲メ  
 得策ニアラスト爲シ此方法ヲ以テ紙幣ヲ消却スルヲ欲セサリシ是レ偏見ト云



ハサルヲ得ス然レモ土耳其波斯波蘭ノ三役ヲ經ルモ十三年間毫モ紙幣ノ流通高ヲ増加セザリシハ又侯ノカト云ハサルヲ得ス其間紙幣ノ價格ハ常ニ銀貨ノ四分ノ一ニ過キス政府ニ於テハ銀貨一「ルーブル」ヲ以テ紙幣三「ルーブル」六十「コペック」ノ割合ニテ受取リシト雖モ市場ニテハ其低キ時ハ四「ルーブル」三十乃至四十「コペック」ヲ以テ銀貨一「ルーブル」ニ換ヘシコトアリ

西曆千八百三十九年七月一日ニ至リ露國政府ハ紙幣ノ處分法ヲ定メ今後露國ノ貨幣ハ單一ニ銀貨ト定ムヘシ而シテ「アツシニヤ」紙幣ノ價格ヲ定メテ銀貨一「ルーブル」ニ付キ三「ルーブル」半ト爲シ公私ノ取引共ニ皆銀貨ヲ以テ定約スヘシト令セリ是レ即チ身代限ノ處分ト云フヘキナリ

次キテ又一ノ新法ヲ設ケテ紙幣流通高ノ減少ヲ計レリ此事タル已ニ澳佛兩國ニ於テ施行セシ弊法ニシテ佛國ニテハ舊紙幣「アツシニヤ」ニ代フルニ新紙幣「マソダ」ヲ以シテ紙幣ノ額ヲ減センコトヲ計リ新紙幣一ヲ以テ舊紙幣三十ニ交換シ澳國ニテハ銀行紙幣ニ代フルニ引換紙幣ヲ以テシ新紙幣一ヲ以テ舊紙幣五ト交換セリ露國ニテハ「アツシニヤ」ニ代フルニ信用貨幣ト稱スル新紙幣

ヲ以テシ其新紙幣ノ價格ハ銀貨ト同シカルヘシト爲セリ即チ新紙幣一ヲ以テ舊紙幣「アツシニヤ」三箇半ニ換フルノ法ナリ此法ヲ發セシヤ實ニ西曆千八百四十三年六月一日ナリ其信用紙幣ノ抵當トシテ一切ノ官有地ヲ供シ加フルニ其價格ヲ維持センカ爲メニ西曆千八百四十四年十二月ニ於テセイント、ビートル、スボルグ城內ヘ五千六百三十七萬三千九百九十六圓餘ノ金銀ヲ貯藏シ二十四人ノ委員ヲ選ヒテ之ヲ管理セシメ西曆千八百四十五年七月十四日ニ其貯藏金銀ノ高ニ九百七十四萬四千圓ヲ増シ合計六千六百一十一萬五千三百九十六圓ノ準備ヲ得タリ而シテ當時ノ紙幣流通高ハ一萬三千六百萬圓ナリシヲ以テ此高ハ信用紙幣ノ價格ヲ維持シ兌換ヲ保證スルニ十分ナル額ナリト云フヘシ

露國紙幣ノ價格ハ匈牙利ノ役マテハ大ニ下落ヲ示シ其高低變動ニ苦ミタルヲ見ルヘシ又該國ハ二千萬圓餘ノ外國公債證書ヲ購求セリ就中西曆千八百四十七年佛國ノ五分利公債證書千萬圓ヲ百「フラン」ニ付キ百十五「フラン」七十五「サンチム」ノ市價ニテ購求セシヲ以テ其著明ナルモノトス然レモ西曆千八百四十九年ニハ信用紙幣ノ流通亦大ニ増加シ其額二億四千萬圓ニ達セリ



土耳其ノ役起ルニ當リ費用支ヘス大ニ信用紙幣ノ發行ヲ増加シ城中ニ貯藏セ  
 ル準備亦減少シ西曆千八百五十四年三月ニ於テハ尙ホ銀貨ニテ一億二千七百  
 九十三萬四千四百圓ヲ存セシト雖モ同年九月ニ於テハ一億千七百二十五萬四  
 百圓ニ下リ信用紙幣ノ流通高ハ二億七千六百七十四萬千六百圓トナレリ此額  
 タルヤ已ニ過多ナルニ尙ホ之ヲ増加シテ西曆千八百五十五年ニハ四億七百二  
 十萬圓ニ達シ西曆千八百五十六年ニハ五億五千二百二十萬圓同千八百五十七年  
 ニハ五億八千八百萬圓ニ達セリ當時露國ニ於テ市場流通ノ爲メ此巨額ヲ要セ  
 ナルヤ言ヲ俟タス信用紙幣ノ價格大ニ下落セシハ亦偶然ニアラサルナリ實ニ  
 此新紙幣ハ「アツシニヤ」紙幣ニ更ヘシモノナリト雖モ敢テ舊紙幣ヨリ堅固ナリ  
 ト云フヲ得ス其景況タル尙ホ佛國ノ土地紙幣澳國ノ引換紙幣ト異ナルコトナ  
 シ  
 クリミヤ戰役以前ニ於テハ信用紙幣ノ兌換ハ全ク之ヲ停止セス少シク之ニ制  
 限ヲ加ヘ紙幣ノ兌換ヲ請フ者アルトキハ地方所在ノ出納局ニ於テハ百ループ  
 ル「マ」ハ直ニ眞貨ヲ渡セリピートルスボルグノ出納局ニテハ公衆中自身兌換

ヲ請求スル者アレハ其全額ノ引換ヲ爲スモスコ銀行ニテハ三千ルージル「マ」  
 テハ引換ヲ爲セリ此ノ如ク引換高ニ多少ノ制限ヲ置キント雖モ紙幣ノ額過多  
 ナラサリシ間ハ其價格ヲ維持シテ敢テ下落ヲ示サ、リシ  
 平和ノ後數年ニシテ政府ハ大ニ力ヲ紙幣ノ減少ニ盡シ當時紙幣ノ價格ハ呼價  
 ノ四分一ニ過キサリシ澳國ノ例ニ倣ヒ一大銀行ヲ設立シ其目的ヲ達セントシ  
 西曆千八百六十年政府銀行ヲ設立シ總テ紙幣證書類及政府ノ流動債ヲ聚集シ  
 之ヲ消却センコトヲ計レリ西曆千八百六十一年五月一日ニ於テ該銀行ハ六千  
 八百八十萬圓ノ金銀備準ヲ有シ當時ノ紙幣流通高ハ五億七千七百七十萬千六百  
 五十五萬餘ニシテ紙幣ノ下落ハ一割乃至一割七分ノ間ニ居レリ當時政府銀行  
 副總裁ラマンスキ氏ハ該銀行ニ政府所有ノ土地山林製造所鐵道等拂下ノ事務  
 ヲ取扱ハシムルノ議ヲ發セリ是レ固ヨリ一窮策ニシテ澳國ノ例ヲ以テ之ヲ見  
 ルモ是等ノ拂下ハ歲月ヲ要スルヲ以テ速ニ紙幣消却ヲ爲サントスルニハ甚タ  
 不十分ナル方法タルヤ明ナリ又同氏ハ政府銀行ヲ變シテ株主銀行ト爲シ之ニ  
 紙幣發行ノ特權ヲ與ヘンコトヲ欲セリ又氏ハ價格ニ階級ヲ置キ次第ニ之ヲ低



減スルノ法ヲ以テ直ニ政府紙幣ノ消却ヲ始メシトシテ發達セリ其方法タル銀貨ニテ五ループル十五コメツクニ當ル半イムベリヤルト稱スル金貨ヲ西曆千八百六十二年中ハ紙幣五ループル七十コメツクト交換シ同千八百六十三年ノ上六箇月ハ五ループル五十コメツクニ換ヘ下六箇月ハ五ループル三十五コメツクトシ同千八百六十四年中ハ五ループル二十五コメツクトシ同千八百六十五年一月一日ヨリハ同平價ヲ復シ五ループル十五コメツクニ交換セントスルニアリ

此計畫タル嘗テ英國カ兌換ノ制ヲ復スルニ當リテ採用セシ所ノモノニシテ當時露國ハ右ノ例ニ倣フテ此計畫ヲ立テタルモノナリ此方法ヲ實施セント欲シ先ツ五分利付ノ公債七千五百萬圓ヲ募集シ西曆千八百六十二年四月四日ノ議決ニ據リ其收入ヲ以テ政府銀行ノ備増ヲ增加セリ此ニ於テ其備増ハ金銀六千三百二十萬圓ニ公債證書九百六十萬圓ニ上レリ而シテ同時ニ右公債募集ニテ收入セシ紙幣ハ悉ク之ヲ消却シ政府銀行ハ爾後金銀現在高ニ對スルカ若クハ舊紙幣トノ交換ニアラサレハ紙幣ヲ發行スヘカラストシ紙幣ノ兌換ハ西曆千

四十四

四十五

八百六十二年五月一日以後ノ左割合ニ從フヘキモノトセリ

銀貨二ループルニ付紙幣

西曆千八百六十二年五月一日ヨリ	一一〇・五
同 年十月一日ヨリ	一〇七・五
同 年十一月一日ヨリ	一〇七・
同 年十二月一日ヨリ	一〇六・五
同 千八百六十三年一月一日ヨリ	一〇六・
同 年八月一日ヨリ	一〇二・五
同 年九月一日ヨリ	一〇二・
同 年十月一日ヨリ	一〇一・三分ノ一
同 年十一月一日ヨリ	一〇一・
同 千八百六十四年一月一日ヨリ	一〇〇・

右ノ目的ヲ達スルニハ公債ヲ起シテ大ニ真貨ヲ得然ル後之ヲ以テ紙幣ヲ引揚セサルヘカラスト又外國爲換ノ景況順適ナラサル可カラスト露國當初ノ景況大ニ

公債論



紙幣ヲ減少スルヲ得ヘキノ望アリテ世人ハ其豫期以前ニ紙幣ヲ平價ニ復スルヲ得ヘキヲ信セリ然ルニ政府銀行ニ於テ毎月拂出ス所ノ眞貨ハ其收入スル所ニ超越シ西曆千八百六十二年五月一日ヨリ同千八百六十三年一月一日マテノ間ニ支出セシ高收入セシ高ニ超ユルコト八百二萬九千六百圓ニシテ平均一月ノ支出超過高凡百萬圓トス爾來交換ノ請求益加ハリ西曆千八百六十三年一月ノ支出超過百八十二萬九千六百圓、二月中ニハ三百九十三萬六千八百圓三月ハ五十七萬八千四百圓、四月ハ八百十六萬八千圓、五月ハ八百二十九萬三千六百圓、六月ハ百七十八萬六千四百圓、七月ハ五百四十萬圓八月ノ始メ數日間ニハ三百五十二萬六千四百圓ナリシ此ノ如キ實況ヲ示シ拂出ニ金貨ヲ用ヒス銀貨ヲ以テスルコトナカメタリト雖モ十分ノ効ヲ奏スル能ハス勢遂ニ支ヘス西曆千八百六十三年十一月十九日ノ勅令ヲ以テ全ク紙幣ノ兌換ヲ停止シ彙ニ計畫セシ所ノモノ全ク水泡ニ歸シタリ而シテ西曆千八百六十二年五月巴里宛ノ爲換ハ百ルーブルニ付キ三百五十五フラン(半)百ルーブルニ付キ四百フランヲ平價トスナリシモ同年六月以降ハ騰貴ノ勢ヲ呈シ同年ニ於テハ三百五十八フラン八

十(サンチーム)七月ニハ三百六十二フラン、八月ニハ三百六十四フラン、九月ニハ三百六十八フラントナリ漸次平價ニ達セントシ西曆千八百六十三年十月二十九日ニハ三百九十六フラントナレリ然ルニ三日ノ後即チ十一月一日ニ至リテ再ヒ三百六十七フランニ下リ夫レヨリ三百五十フランニ下リ爾後甚シキ變動ヲ生セス斯ノ如ク露國政府ハ十分ニ其目的ヲ達スルコト能ハサリト雖モ信用紙幣ノ流通高ハ漸ク減少ヲ告ケ西曆千八百六十三年十一月三十日ニハ五億七千八百一十一萬九千四百三十三圓餘トナレリ此額タル未タ十分ノ減少ニアラスト雖モ之ヲ西曆千八百五十六年ノ高ニ比スレハ亦以テ見ルヘキノ減少ト云ハサルヲ得ス

爾後露國紙幣ノ景況ハ敢テ改良ヲ致サス西曆千八百七十五年同千八百七十六年ノ初ニ於テハ紙幣ノ價格ハ之ヲ正貨ニ比シテ一割二分乃至二割ヲ下落セリ而シテ西曆千八百七十六年十月以來戰亂ノ妖雲東歐ノ天ヲ覆ヒタルヤ此間又紙幣ノ發行ヲ増加セシヨリ紙幣ノ下落益甚ク西曆千八百七十六年ノ春ヨリ同千八百七十九年四月マテハセント、ピートルスホルグ宛ノ手形巴里ニテ百



「ブル」ニ付キ三百フランヨリ二百四十フランノ間ヲ昇降シ露國紙幣ハ其價格三割二分乃至四割ヲ失ヘリ露國政府ハ土耳其トノ葛藤ノ有無ニ拘ハラヌ十四年以來紙幣ノ額ヲ救フナカメス西曆千八百六十三年以來ハ紙幣ノ流通高只増加ノ一方ニ傾キ毫モ減少ヲ見ス西曆千八百七十二年七月一日ニ於ケル紙幣ノ流通高ハ六億四千九百三十七萬二千三百三十二圓即チ七億二千四百二十一萬四千四十「ル」ヨリ今其種類ヲ細別スレハ左ノ如シ

額面	枚	價額
一	二、ル	七四、八〇九、五一〇
三	三、一、八二四、七六〇	九五、四七四、二八〇
五	二、二、三九五、二〇二	一一、一九七六、〇一〇
一〇	一〇、四七〇、九五四	一〇、四七〇、九五四〇
二五	五、八四七、九八八	一四六、一九九、七〇〇
五〇	二、〇八一、〇六四	一〇四、〇五三、二〇〇
一〇〇	八六九、九一八	八六、九九一、八〇〇

合計 一四八、二九九、三九六

七二四、二一四、〇四〇

由是觀之二十圓以下即チ二十五「ル」以下ノ小額紙幣ハ全流通高ノ殆ト五分ノ三ニ達セリ右ノ流通紙幣ノ高ヲ以テ西曆千八百七十一年一月一日ノ流通高ニ比スレハ六百七十二萬三千三百二十四圓餘ノ増加ヲ見ル而シテ準備ノ金銀ハ西曆千八百七十二年一月一日ニハ一億二千六百五十萬二千百十六圓ニ上レリト雖モ其額流通紙幣高ノ四分一ニ及ハス西曆千八百七十四年一月一日ニ於ケル紙幣流通高ハ六億三千三百八十一萬圓ニシテ同年十二月三十一日ニハ六億三千七百八十五萬八千圓ナリシヲ以テ之ヲ見レハ一箇年ニ増加セシ紙幣ノ高ハ四百萬圓餘ナリト尤モ準備ノ金銀モ從テ増加シ西曆千八百七十四年十二月三十一日ニハ一億八千四百九十八萬千六百圓トナリシト雖モ尙ホ無準備ノ紙幣ハ四億五千二百八十萬圓ニシテ準備紙幣ハ流通高ノ三分一ニ達セス土耳其ノ役西曆千八百七十七年同千八百七十八年中及其前年ニ於テハ露國政府ハ軍備ノ爲メニ紙幣ヲ發行シテ其費用ヲ補ヘリ實ニ西曆千八百七十六年七月一日ニ於テハ紙幣ノ流通高五億四千四百四十萬圓ニシテ同千八百七十八年



四月一日ニハ八億五千六百八十萬圓ニ達シ二箇月ノ後尙ホ千七百六十萬圓ヲ增加セリ由是觀之ニ箇年ニ滿タスニテ露國紙幣ノ流通高ハ凡三億二千萬圓ヲ增加セリ然レモ右ノ戰役中紙幣ノ價格三割三分乃至四割ノ下落ヲ致セシヲ以テ政府ハ實際三億二千萬圓ノ購買力ヲ得ル能ハス其實二億二千萬圓ノ實價ヲ得ルニ止マレリ又之ト同時ニ政府ハ準備金ヲ消費セシヲ以テ西曆千八百七十六年一月一日ニハ其高一億八千六百八十萬圓ナリト雖モ同年末ニハ僅ニ一億四千四百萬圓ニ減少セリ準備ノ濫用モ亦甚シト云ハサルヲ得ス又西曆千八百七十八年十月二十三日刊行ノ討論雜誌中アーサラフハロヴィツチ氏ノ論說ニ據レハ政府銀行ハ露國政府ノ爲メニ土耳其戰役中凡四億圓ノ紙幣ヲ發行セリト云フ

抑戰亂ノ時ニ當リテハ不換紙幣ハ政府ノ爲メニ用ナシト云フハ誤レリト云フヘシ只西曆千八百七十年同千八百七十一年佛國ニ於ケル例證ノミナラス其他ニ於ケルモ亦已ニ舉クル所ヲ以テ見レハ固ヨリ是レ永遠ノ利ニアラスト雖モ一時財源ヲ得ルノ一途タルヲ知ルヘシ露國ニ於テハ西曆千八百七十六年十一

三

月ヨリ同千八百七十七年十月ノ終マテ公債ヲ募集セシコト同時ニ紙幣ヲ發行セシ高ト殆ト同額ナリ即チ紙幣ノ發行高ハラフハロヴィツチ氏ノ說ニ據レハ四億圓ニシテ同時ニ公債ヲ募集セシコト凡五億六千萬圓ナリ然ラハ即チ土耳其戰役ノ費用ハ紙幣ヲ以テ凡其三分ノ二ヲ給セシモノナリ

由是觀之不換紙幣ハ一國ノ財政紊亂スルノ時ニ於テモ尙ホ久シク軍費ヲ支フルニ足ルヘキヲ證ス尤モ軍費ノ大部分ヲ租稅ニ徵スルカ普通ノ國債ニ徵スルカ又ハ一時不換紙幣ヲ以テ之ヲ補フカハ其戰役カ民心ニ適シ國民カ進ミテ之ヲ贊成スルト否ラサルトニ由リ大ニ斟酌セサルヲ得サルモノアリ若シ其戰爭ニシテ國民ノ意ニ適シ舉ケテ皆騰臥薪ノ苦ヲ辭セサル時ハ軍士ノ支給モ十分ナラスニテ可ナリ物品代價ハ即時ニ支拂ヲ爲サシルモ可ナリ民ニ課シテ軍費ヲ補フヲ得ヘシ而シテ紙幣發行ハ物價ヲ騰貴シ民庶ノ生計ヲ苦ムルコト猶ホ租稅ノ爲メ物價ヲ騰貴スルカ如シト雖モ國民久シク紙幣ノ使用ニ慣レ金銀ヲ見サルカ如キ場合ニ於テハ紙幣ノ發行ヲ増加シテ其經費ヲ償フヲ得ルコト甚ク容易ナルヘシ當時露國ノ如キ即チ此景狀ニアリシヲ以テ其國民ハ紙幣増發



ノ爲メ賣買取引ノ間ニ毫モ異ナル所ヲ見ス故ニ只少シク貿易要具ノ多キノモ  
ニシテ未タ民心ニ不快ヲ與フルニ足ラサリシナリ而シテ紙幣下落ノ感覺ノ内  
國貿易ニ於ケルハ其外國貿易ニ於ケルカ如ク甚シカラス商買銀行家ハ之ヲ知  
ルモ紙幣ノ下落ハ急ニ小賣市場ニ影響セス其騰貴ハ漸チ以テ之ヲ來シ聲ノ響  
ニ應スルカ如キ効驗アルコトナク細民ハ敢テ之ヲ悟ラサルコト少シトセス露  
國當時ノ景況亦能ク之ヲ實地ニ演セリ

財政ノ困難殆ト堪ヘ難ク國家ノ安危ヲ決スル程ノ時ニ當リテハ公衆ハ却テ之  
ヲ知ラサルモノナリ其最モ困難ナルハ決シテ戰亂始マルノ時ニアラス又通例  
ハ戰爭中ニアラス戰己ニ止ミテ平和ニ復セシ後ニアリ戰終ル時ハ諸事舊ニ復  
シ軍費ノ支拂ハ之ヲ爲サ、ルヘカラス此ニ於テ始メテ財源空乏策ヲ一時ノ權  
道ニ執リシテ覺ルノミ露國ニ於テハ西曆千八百七十六年ヨリ同千八百七十八  
年ノ末ニ至ルマテ土耳其役中ハ軍士ヲ給養シ軍備ヲ整備スルニ敢テ大困難ヲ  
見ス又公債利子モ之ヲ支拂フニ大不便ヲ覺ヘサリシト雖モ平和ニ復スルニ及  
ヒテヤ延期ヲ爲シタル非常費ハ之ヲ支拂ハサルヘカラス紙幣價格ノ回復ハ之

四

ヲ計ラサルヘカラス戰爭ノ爲メ紙幣下落ノ爲メ收入ノ實價ハ頗ル減少スト雖  
モ經費ハ却テ増加ス是等ハ經費ヲ償フニ何ヲ以テセンカ今ハ純正ナル公債ヲ  
起スノ外如何トモスル能ハサルヘシ此ニ於テ始メテ戰ノ惡果ヲ覺ユ況ヤ又戰  
爭ノ爲メ一般經濟ノ困難始メテ大ニ發表シ其艱苦ヲ脱スルコト頗ル難キニ於  
テヤ元來戰亂ノ後ハ假令戰ニハ勝利ヲ得シト雖モ財政上ノ信用ハ戰爭中ヨ  
リ却テ減少スルヲ通例トス是レ戰爭ノ餘習未タ全ク治マラス諸事整頓スル能  
ハス費用從テ多クシハナリ故ニ露國ノ五分利公債證書ハ需要甚タ少ク西曆千  
八百七十九年ニハ其市價額面價格ノ八割七分乃至八割八分ニ下落セリ斯ノ如  
キ下落ハ獨リ商業狼狽ノ時ニ於テ稀ニ見ル所ニシテ其他ニ於テハ未タ曾テ見  
サル所ノモノナリ

西曆千八百七十年ノ土耳其戰役前ニ露國大ニ信用ヲ復シ五分利以下ヲ以テ外  
債ヲ募集スル敢テ難カラサルノ景況ナリシヲ以テ此時ニ當リテ露國政府ニ銳  
意兌換制度ノ回復ヲ計リ二億圓ノ公債ヲ内外ニ募リ内債ヲ以テ紙幣ヲ消却シ  
外債ヲ以テ金銀準備ヲ得大ニ紙幣ノ基礎ヲ固フセハ信用益加ハリ不換紙幣ノ



宿弊ヲ矯正スル又或ハ爲シ難キノ業ニアラサリ元來露國人民ハ已ニ久シク紙幣ノ使用ニ慣レタルヲ以テ兌換ノ制ヲ復スト雖モ四億若クハ五億圓ノ紙幣ヲ流通スルコトハ敢テ難キニアラサルヘシ故ニ露國政府ヲシテクリミアノ役以來土耳其戰爭マテ泰平無事ノ時ニ於テ信用稍回復スルヲ機トシテ前陳ノ方法ニ從ヒ兌換制度ノ回復ヲ計ラハ百年ノ宿弊忽チ破レ純正ナル紙幣ノ制度ヲ得貿易ノ要具精確一定ナルヲ得工商百般ノ事業遂發伸張シ大ニ其面目ヲ改ムルヲ得シヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ然ルニ露國政府ノ策茲ニ出テス擴張ヲ先ニシ整理ヲ後ニシ本末ヲ誤リ大ニ兵備ヲ張リ遠ニ大土木ヲ起シ國帑缺乏連年歲計ノ不足ヲ告ケ西曆千八百八十八年ニ至リテハ債ヲ獨逸ニ起サント欲スルモ之ニ應スルモノナク急シ英國ニ訴フルモ亦餘財ヲ貸スモノナク終ニ佛國ニ於テ理財上ノ點ヨリモ事口獨逸ノ所爲ニ反スル政治上ノ意思ヨリシテ露國ノ需ニ應セシト雖モ其之ニ應セシ銀行ハ後ニ其公債ヲ賣却スルヲ得ス非常ノ狼狽ヲ爲シ一場ノ恐慌ヲ惹起スニ至レリ兵備土木ノ事亦國家ノ爲メニ急ナルモノナキニアラスト雖モ不換紙幣ハ百弊ノ源ニシテ財政ノ整理ハ根治ノ策ナリ而シテ

テ露國ハ獨佛ノ如ク未タ兵事ニ急ナラス暫ク進取ノ策ヲ止メ退守ヲ以テ其ノ主義トシ能ク財政ヲ治メテ而シテ後進メハ彼ノ尺蠖ノ伸ヒントスルヤ必ス一縮ヲ要スルノ勢ニシテ四隣ヲシテ其肝膽ヲ寒カラシムルニ足ルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ財政紊亂シ不換紙幣ノ慘毒猖獗ノ勢ヲ市場ニ逞フスルニ於テハ國家又一事ヲ爲ス能ハサルナリ西曆千八百七十七年ニ於テ露國ハ尙ホ金銀準備ナキ紙幣五億五千五百九十六萬八千六百六十二圓餘ヲ有ス露國カ兌換ノ制ヲ復スルハ果シテ何レノ日ニカアル

第五項 伊太利

伊太利ハ近來大ニ不換紙幣ノ効驗ヲ調査シセースミツトドダゴールドウハアレツサンドロロツシメセダグリアラムベルチコセラ等ノ數氏ヲ以テ調査委員トセリ此數氏ハ皆有名ナル經濟家若クハ商賈ナリ右ノ調査委員ハ數多ノ證憑ヲ推究シ精密ニ之ヲ調査セリ請フ今其調査ニ據リ伊國不換紙幣ノ景況如何ヲ述ヘン

普魯西伊太利ノ同盟條約ノ基礎ハ西曆千八百六十六年四月八日ニ決定シ伊國



四月十四日ニ普國ハ同月二十日ニ之ヲ批准セリ當時伊太利ノ國庫ハ非常ニ困難ヲ致シ七月ノ期ニ於テ外國債ノ爲メ支拂フヘキ金額ヲ引去レハ其他ノ經費ニ宛ツルヲ得ヘキ高僅ニ千九百十六萬圓ヲ餘セリ内五百六十萬圓ハ金銀貨餘ハ諸銀行ノ紙幣ニシテ都テ手近ナル財源ハ皆割引シ定期支拂ニテ發行セシ大藏省證券ハ三千九百萬圓ニ上リ據國トノ戰爭ノ經費豫算ハ一億二千萬圓内治ノ經費豫算ハ六千萬圓非常經費ノ費用合シテ一億八千萬圓ノ巨額ニ上リ國庫ノ現有金ハ僅ニ千九百十六萬圓ニ過キス四月下旬ニ至リ伊國ノ諸銀行ハ一致シテ五千萬圓ノ公債募集ニ盡力スヘキノ策ヲ提出セリト雖モ當時歐洲財政ノ困難ニ際シテ其計畫ヲ實施スルコト能ハス其財政商業ノ困難ハ歐洲ノ不和ニ由リテ益其度ヲ加ヘ伊國ニ於テモ直ニ其影響ヲ被リ破産傾家全國到ル處ニ起レリ是ニ於テ百計正ニ盡キ時ノ大藏大臣シアロイヤ氏ハ四月三十日議院ニ全權ノ委任ヲ請求シ五月一日ヲ以テ不換紙幣ノ令ヲ發シ國立銀行ハ五千萬圓ヲ政府ヘ貸與セリ吾人ノ共ニ知ル如ク奧國トノ戰爭ハ意外ニ短ク一月ヲ越ヘスニテ之ヲ結了シ獨逸ニ於テハ此役ヲ稱シテ七日ノ役ト云フ程ナリ又以テ

八

九

不幸中ノ幸ト云フヘシ特ニ大藏大臣シアロイヤ氏ハ調査委員ニ告クルニ右職役ノ爲メニ五千萬圓ヲ要スヘキニ由リ其高限リ不換紙幣ヲ發行スヘク且ツ氏ハ假令全ク兌換ノ制ヲ復スルコト能ハサルモ幾分カ西曆千八百六十七年ニ於テ兌換ノ制ヲ行フヲ得ヘキヲ信スルヲ以テセリト雖モ戰後ニ企テタル公債ノ募集成ラサリシヲ以テ其企望ハ空シク畫餅ニ歸セリ當時此困難ニ際シ伊國政府カ不換紙幣ヲ行ヒシハ敢テ深ク尤ムヘキニアラスト雖モ戰爭終ルノ後直ニ兌換ニ復スルヲ力メサリシハ實ニ該國ノ爲メニ取ラサル所ナリ當時伊國政府ハ歐洲ノ諸大銀行ト謀ラハ一億乃至一億二千萬圓ヲ借ルハ敢テ難キニアラサリシ而シテ之ニ一割ノ利子ヲ拂フトスルモ尙ホ伊國ノ利ナルヘシ何トナレハ不換紙幣ヲ存スルニ於テハ伊國ハ其全歲入若クハ少クモ外國ニ支拂フ全額ノ上ニハ五分ヨリ二割ニ至ルマテノ高キ年々損失スヘケレハナリ

然ルニ一步ヲ進ミテ之ヲ論セハ若シ伊國政府ハ高利ヲ厭ハスンハ西曆千八百六十六年四月中ニ普通公債ヲ起シ必要ノ額ヲ得ルハ敢テ爲シ得サルノ業ニア



ラサリノ果シテ然ラハ不換紙幣ノ方法ニ據リ前陳ノ損失ヲ受ケ加フルニ不換紙幣普通ノ弊害ヲ來サンヨリ寧ロ高利ヲ忍ヒ事平クノ後之ヲ低利ニ借換フルノ良キニ如カサルナリ調査委員モ其報告中ニ云ヘルアリ曰ク不換紙幣ハ該國ノ政治上財政上ニ於テモ利スル所ナク又經濟上ニ於テモ利スル所ヲ見ス云々然ルニ當時伊國ハ策ヲ不換紙幣ノ發行ニ取リシテ以テ信用益、混亂、財政ヲ急迫ニシ金銀ヲ外國へ驅逐スルノ効驗ヲ生セリフロレンスノ商法會議所ノ頭取ノ言ニ據レハ外人ノ伊國公債證書類ヲ所有スル者ハ西曆千八百六十六年五月一日後ハ皆急ニ之ヲ伊國ニ送リ其賣價ノ如何ヲ問ハス之ヲ賣却シ又伊太利ニ對シテ貸方勘定ヲ有スル資本家若クハ商賈ハ皆其支拂ヲ促カシ伊國トノ諸勘定悉皆支拂濟トナレリト果シテ然ラハ金銀ノ輸出ハ非常ノ巨額ニ達セシヤ敢テ疑ヲ容レサルナリテユーリン工業委員ノ所說亦之ニ均シキモノアリ曰ク不換紙幣ノ發令アリシヤ伊國ト取引ヲ爲ス所ノ外國商賈銀行家ハ皆直ニ金銀ニテ支拂ヲ請求シ金銀ノ打歩ハ忽ニシテ二割二分ニ上レリ云々

斯ノ如クシテ不換紙幣ハ恐慌ヲ増スノ原因トナレリ當時伊國ノ市場ハ諸外國

ヨリ送還セシ所ノ巨額ノ公債證書等ヲ買フニ十分ナル財源ヲ有セシテ以テ公債ノ募集ニ應スルノ餘力アリシハ敢テ疑ヲ容レス然ルニ策茲ニ出テ不換紙幣ヲ發行シ信用ヲ紊亂シ前陳ノ景況ヲ釀成シ其公債ノ賣却ヲ促カシ大ニ其價格ヲ減シ一時百フランノ公債ヲシテ四十フランニ下落セシメシハ豈夫レ之ヲ財政ノ得策ト云フヲ得ンヤ

元來伊國ノ不換紙幣ハ西曆千八百六十六年國立銀行カ五千萬圓ヲ以テ政府ニ貸與セシニ起因ス然ルニ政府ノ借入ハ此小額ニ止マラス不換紙幣ノ額漸ク増加シ西曆千八百七十二年十二月三十一日ニ於テハ伊國ノ流通紙幣ハ殆ト二億六千萬圓ニ達シ其中二億二千七百五十萬圓ハ國立銀行ノ發行ニ屬シ餘ハ他ノ諸銀行ヨリ發行セシモノニシテ一億四千八百萬圓ハ政府ノ借入ル、所トナレリ

不換紙幣ノ發行漸ク加ハリ其價格隨テ下落セリ幸ニシテ其下落ハ合衆國魯西亞、地、利ニ於ケルカ如ク大ナラサリト雖モ其動搖ハ頗ル甚ク常ニ政治上經濟上ノ事變ニ從ヒテ高低セリ請フ左ニ西曆千八百六十六年五月一日ヨリ同

公債論



千八百七十年九月即チ羅馬府占領ノ時ニ至ルマテノ伊國紙幣流通高金貨打歩及公債證書ノ價格ヲ表出シ以テ伊國ノ紙幣ト公債證書ノ價格ハ常ニ相共ニ高低紙幣ノ價格ハ其流通高ノ過大ナルニ由ルヨリハ寧ロ政治上ノ情況ニ由リテ變動ヲ生セシ示サン

紙幣流通高

西曆千八百六十六年	一二二、四九〇、〇二五
同 千八百六十七年	一六七、四〇六、七一五
同 千八百六十八年	一八〇、七四一、三五〇
同 千八百六十九年	一八〇、四〇九、五二五
同 千八百七十年	一九九、〇六九、三一五

紙幣下落並ニ公債證書價格

年 月 日	伊太利五分利金紙差	事蹟
千八百六十六年五月一日	四〇	不換紙幣ノ制ヲ布告シ
七月	六一	埃國ト和陸スウエニス
		ナ讓リ受ク

公債餘

千八百六十七年三月	九月	六一	五分	
	四月	四七	一割二分	内閣變動
	五月	五五	一割	
	八月	五三	七分	
	九月	四九	一割二分	メンタナ遠征
千八百六十八年一月	四月	四八	一割六分	政事上ノ變動
	五月	五五	九分	
	七月	五九	九分	麥粉稅賦課ニ決ス
	十一月	六〇	七分	
千八百六十九年一月		九九・五	五分	伊太利公債稅ヲ設ク
千八百七十年一月		五八	五分	
	六月	六五	五分	



七月 六二 五分

七月末 四八 一割二分 普佛開戰ヲ宣告ス

九月 五六 七分 羅馬ヲ攻略ス

右ノ表ニ由レハ金貨ノ打歩ハ五分ヨリ二割二分ノ間ニ高低ニ伊國政治上ノ地位確定スルト収支豫算ノ平均ヲ致スカ爲メニ租税ノ賦課法ヲ決議スルトニ應ジテ打歩ヲ減スルノ勢アリシヲ見ルヘシ

抑、伊國不換紙幣價格ノ變動タル其原因頗ル多ク其効驗相混シ相反スルモノ少カラス然レモ流通紙幣ノ高過多ナラサルニ於テハ紙幣ノ價格ニ影響スル原因ハ主トシテ政府ノ信用如何ト不換紙幣ノ廢止チカムルト否トニアリト云フヲ得ヘシ西曆千八百七十一年以後佛國ノ不換紙幣ヲ行フニ當リテ佛蘭西銀行ノ紙幣價格ヲ下落セサリシハ重ニ斯ノ如キ原因ノ致ス所ナリ然ルニ魯國合衆國、奧國、伊國ノ如キハ公衆カ政府ノ兌換回復ノ希望ニ信チ置カサリシヲ以テ流通紙幣ノ高過多ナラサリシ時ト雖モ尙ホ其價格下落セリ實ニ政府カ漸次兌換ヲ回復スルノ企望ニ於テ確乎動カサルノ意ヲ示サ、ルニ於テハ流通ノ勢若クハ

意外ノ事變ニ由リテ更ニ紙幣ノ發行ヲ増加スヘキヲ恐ル、ハ民情ノ常ナリ斯ノ如ク將來ノ新發行ヲ恐ル、トキハ現在ノ紙幣發行高ハ過多ナラサルモ尙ホ價格ノ下落ヲ來スハ勢ノ免レサル所ナリ

當時伊國ニ於テ不換紙幣ヲ廢セント欲セハ須ク先ツ歲入ヲシテ歲出ニ超過セシメ一方ニ於テハ紙幣ヲ消却シ一方ニ於テ公債ヲ起シ其利子支拂ニ充ツルノ餘地ヲ得サルヘカラサリシ然ルニ建國以來連年巨大ノ歲入ノ不足アリテ公債爲メニ増加シ西曆千八百七十五年以降僅ニ其歲入ノ超過ヲ見ルニ至リ兌換制度ノ回復頗ル遲延セリ尤モ収支其權衡ヲ得ルノモヲ以テ兌換ノ制ヲ復スルニ足ルト云フヲ得ス已ニ陳述セル如ク伊國紙幣ノ下落ヲ來セシハ嘗ニ此一因ニ止マラス其不換紙幣ヲ行ヒシヤ諸外國ノ伊國ト取引勘定チ有スル者ハ皆其國ノ支拂チ金銀ニテ請求シ又伊國ノ公債證書ニシテ外國人ノ手ニアルモノハ大ニ伊國へ買戻サレ西曆千八百六十五年ニ於テハ確定公債利子支拂ノ總高五千五百六十萬圓ニシテ其内外國へ支拂ヒシモノ千九百六十萬圓ヲ超過セシト雖モ同千八百七十一年ニテ利子支拂ノ總高五千八百萬圓ニシテ外國へ支拂ヒシ



モノハ千二百三十萬圓ニ過キス又同千八百七十二年ニハ更ニ減シテ千八十萬圓トナレリ由是觀之伊國人民ノ其公債證書ヲ買戻シタルモノ頗ル巨額ナリト云フヘシ然ラハ則チ之ニ由リテ一時金銀ヲ輸出スルコトノ多キハ自然ノ勢ナリ加フルニ當時外國人ノ手ニアリシ伊國鐵道負債證書其他一切ノ負債券多ク伊國ニ歸リ來リ巨額ノ金銀輸出ヲ促セリ

金銀外出ノ他ノ原因ハ西曆千八百六十二年以後同千八百七十四年ニ至ルマテ殆ト常ニ輸入超過ニアリ此十三年間ニ輸出ノ輸入ニ超過セシハ西曆千八百七十一年ノ一箇年ノミ當年ノ輸出超過額ハ頗ル巨額ニシテ二千四百二十萬圓ニ達セリ次キテ西曆千八百七十二年ニ於テモ輸出輸入ニ超過セリ然レモ其額僅ニ三百八十萬圓ニ過キサリシ不幸ニシテ其他ノ年ニ於テハ二千萬圓乃至八千二百萬圓ノ輸入超過ヲ示セリ然リト雖モ西曆千八百六十七年ヨリ同千八百七十三年ニ至ルマテハ外國貿易ノ景況稍改良ニ趣キ輸入ノ平均ノ超過二千萬圓ヲ越ユルコト多カラサリシ

關稅表ノ數ハ精確ニシテ少差ナキモノトスル能ハス且ツ各國皆其輸出品ノ申

告高ハ其實數ニ及ハス輸入品ノ申告高ハ却テ實ニ近シト雖モ伊國ニ於テ此十三年間ハ輸入ノ超過甚タ大ニシテ未タ以テ兌換ノ制ヲ復スルノ好機ヲ得ル能ハサリシ

歲出入ノ權衡確乎平均ヲ得テ動カス輸出入亦平均ヲ得ハ兌換ノ制ヲ復スルコト敢テ難キニアラサルナリ何トナレハ他ニ特別ノ情況アリテ之ヲ妨クルニアラサレハ公債ヲ起シテ紙幣ヲ消却シ又ハ準備ヲ設クルニ難カラス又正貨輸出ノ大原因ハ是ニ其跡ヲ止メサレハナリ況ヤ兌換ノ制ヲ復スルニ敢テ非常ノ巨額ヲ要セサルニ於テオヤ元來一國一度紙幣ノ流通ニ慣ル、ニ於テハ其紙幣法貨タルノ性質ヲ失フノ後ト雖モ尙ホ之ヲ流通スルコト難カラス故ニ伊國ニ於テ兌換ノ制ヲ復セント欲セハ二十フラン以下ノ小紙幣ヲ兌換スヘキ丈ケノ金銀ヲ備フレハ十分ニシテ敢テ巨額ノ準備ヲ要セス西曆千八百七十一年ノ頃ニ於テハ伊國不換紙幣ノ流通高ハ二億五千萬圓乃至三億圓ナリシヲ以テ其羅馬ヲ占領シ國幣ク治マルニ當リ一億五千萬圓ノ公債ヲ募集シ五千萬圓ヲ內國ニ募リテ其取入セシ紙幣ハ悉ク消滅シ餘ノ一億圓ヲ外國ニ募リ收入セシ金銀



ハ紙幣ノ準備ニ供シテ其餘ノ紙幣ハ即チ銀行ヨリ借入レタル分ニシテ處分未済ノモノハ年賦トシテ之ヲ償還スルニ於テハ一時政府ノ負擔ヲ増加スヘシト雖モ貿易ノ要具ヲ改正シテ一定不動ノモノタラシメ一國經濟ノ景況ヲ改良スルヲ得シヤ敢テ疑ヲ容レズ然リト雖モ伊國モ亦紙幣ノ消却ヲ後ニシ魯國埃國ニ於ケルカ如ク大土木ヲ起シテ不換紙幣ノ時ヲ延長セシノ實アリ元來兵備土木不換紙幣廢止ノコト皆一時ニ之ヲ爲サントスルハ到底爲シ得ヘキモノニアラス故ニ若シ紙幣ノ制度ヲ改正セント欲セハ宜シク他ノ費用ヲ節約セサルヘカラス實ニ歲出入雖然其權衡平均ヲ得ルニ至ルハ不換紙幣ヲ廢スルノ一段階ナリ麥粉稅廢止ノ議案軍備土木ノ増加ハ皆伊國ノ兌換回復ヲ遷延セシメタルノ原因ト云ハサルヲ得ス然レトモ幸ニシテ伊國賢明ノ士ニ乏シカラス西曆千八百八十一年四月七日ノ法律ヲ以テ兌換ノ制度ヲ回復シ同年六月十六日紙幣消却手續ヲ定メ交換ヲ實施セリ請フ次ニ數表ヲ掲ケ不換紙幣發行ノ年即チ西曆千八百六十六年以降ノ紙幣流通高並ニ金貨ノ打歩公債増進ノ景況歲入出輸出入ノ過不足等ヲ示サン

歲入出過不足表

西曆年次	歲入	歲出	歲入超過	歲入不足
千八百六十六年	一、二二、四二五、〇〇〇	二、一七、八一五、〇〇〇	〇	九四、二九〇、〇〇〇
千八百六十七年	一、四二、八九〇、〇〇〇	一、八五、七二〇、〇〇〇	〇	四二、八三〇、〇〇〇
千八百六十八年	一、五三、七一〇、〇〇〇	二、〇二、八七〇、〇〇〇	〇	四九、一一〇、〇〇〇
千八百六十九年	一、七四、一四〇、〇〇〇	二、〇三、九一五、〇〇〇	〇	二九、七七五、〇〇〇
千八百七十年	一、七三、一九五、〇〇〇	二、一六、一五〇、〇〇〇	〇	四二、九五五、〇〇〇
千八百七十一年	一、九三、三八五、〇〇〇	二、〇八、一九〇、〇〇〇	〇	一四、八〇〇、〇〇〇
千八百七十二年	二、〇二、八一〇、〇〇〇	二、一六、九一五、〇〇〇	〇	一六、七一五、〇〇〇
千八百七十三年	二、〇九、四五〇、〇〇〇	二、二七、四五〇、〇〇〇	〇	一七、八〇〇、〇〇〇
千八百七十四年	二、一五、四二五、〇〇〇	二、二八、一〇〇、〇〇〇	〇	二六、七五〇、〇〇〇
千八百七十五年	二、一九、二六五、〇〇〇	二、二六、四九〇、〇〇〇	〇	二七、七五〇、〇〇〇
千八百七十六年	二、二四、六六五、〇〇〇	二、二一、六七五、〇〇〇	〇	八、〇九〇、〇〇〇

公債論



千八百七十七年	二二六、一七〇、〇〇〇	二二二、一五八、五〇〇	四、五八五、〇〇〇	〇	六四四	〇
千八百七十八年	二三八、三二五、〇〇〇	二三五、四一五、〇〇〇	二、九一〇、〇〇〇	〇	〇	〇
千八百七十九年	二四五、六二六、〇〇〇	二三七、一六五、〇〇〇	八、四六一、〇〇〇	〇	〇	〇
千八百八十年	二八七、八七三、六九九	二八四、〇四五、三四五	三、八二八、三五四	〇	〇	〇
千八百八十一年	三〇三、七〇七、〇九二	二九三、五二九、六四五	一〇、一七七、三四七	〇	〇	〇

此表ニ據リ之ヲ觀レハ次表ニ示スカ如ク逐年公債ノ増加スルハ實ニ怪ムニ足ラサルナリ

公債増減表

西曆年次	永遠公債	有期公債	大藏省證券	不換紙幣	總計	政府所有準備
千八百六十年	四、二四、六〇〇、〇〇〇	五、九二〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	〇	一四、一六六、〇〇〇	七、七、五〇〇、〇〇〇
千八百六十一年	五、五二、四〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇	七、八〇〇、〇〇〇	〇	一六、九二四、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇
千八百六十二年	五、五七、六〇〇、〇〇〇	六、四二〇、〇〇〇	五、五〇〇、〇〇〇	〇	一七、五一六、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
千八百六十三年	七、〇二、二〇〇、〇〇〇	六、三二〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	〇	一六、六四二、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇

二十

千八百六十四年	八、六四〇、〇〇〇	一〇、六四〇、〇〇〇	三、六八〇、〇〇〇	〇	一九、九六〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
千八百六十五年	九、六五〇、〇〇〇	一〇、四〇〇、〇〇〇	三、七二〇、〇〇〇	〇	一九、七七〇、〇〇〇	九、八〇〇、〇〇〇
千八百六十六年	一〇、七三〇、〇〇〇	一一、八四〇、〇〇〇	三、三二〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	二〇、七九〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇
千八百六十七年	一〇、九四〇、〇〇〇	一二、六八〇、〇〇〇	四、七〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	二五、三二〇、〇〇〇	六、一三五、〇〇〇
千八百六十八年	一一、〇〇〇、〇〇〇	一三、〇〇〇、〇〇〇	五、二〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	二六、四〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
千八百六十九年	一一、〇五〇、〇〇〇	一三、八〇〇、〇〇〇	五、四〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	二七、二五〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
千八百七十年	一一、〇八〇、〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇	五、五二〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	二八、五二〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
千八百七十一年	一一、三〇〇、〇〇〇	一四、三〇〇、〇〇〇	五、八〇〇、〇〇〇	一〇、二〇〇、〇〇〇	二九、六〇〇、〇〇〇	一、〇五七、〇〇〇
千八百七十二年	一一、五八七、八〇〇	一五、一七〇、〇〇〇	六、六五〇、〇〇〇	一五、八〇〇、〇〇〇	三〇、二〇〇、〇〇〇	一、三三六、〇〇〇
千八百七十三年	一一、八四〇、〇〇〇	一六、〇〇〇、〇〇〇	六、六〇〇、〇〇〇	一六、八〇〇、〇〇〇	三一、二四〇、〇〇〇	一、五〇三、〇〇〇
千八百七十四年	一二、四六八、〇〇〇	一七、九五〇、〇〇〇	三、九〇〇、〇〇〇	一七、〇〇〇、〇〇〇	三二、三一八、〇〇〇	一、六六六、〇〇〇
千八百七十五年	一二、四八九、〇〇〇	一七、六〇〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	一八、二〇〇、〇〇〇	三二、五九〇、〇〇〇	一、九三三、〇〇〇
千八百七十六年	一二、四四五、〇〇〇	一八、六八〇、〇〇〇	三、三〇〇、〇〇〇	一八、八〇〇、〇〇〇	三三、二三〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
千八百七十七年	一二、五六六、〇〇〇	一八、六一〇、〇〇〇	四、一〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	三三、一七〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
千八百七十八年	一二、五七九、〇〇〇	一八、五五〇、〇〇〇	五、二二〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	三三、五四九、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
千八百七十九年	一二、六三三、〇〇〇	一八、五〇〇、〇〇〇	五、一五〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇	三三、二八三、〇〇〇	二、九八五、〇〇〇

第二表ニ據リ之ヲ觀レハ伊國ノ紙幣整理ノ業決メテ容易ナラサリシハ疑ヲ容

公債論

六四五



レサルナリ

紙幣流通高

西曆年次	不換紙幣		合計	紙幣下落歩合	
	六銀行發行高	政府發行高		最高	最低平均
千八百六十六年	七四、四九〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇、〇〇〇	一二三、四九〇、〇〇〇	二〇、五〇〇	一、二五
千八百六十七年	八九、四〇五、〇〇〇	七八、〇〇〇、〇〇〇	一六七、四〇五、〇〇〇	一三、四〇〇	四、八七
千八百六十八年	一〇六、七四〇、〇〇〇	七三、〇〇〇、〇〇〇	一八〇、七四〇、〇〇〇	一五、一五〇	五、二〇
千八百六十九年	一〇四、八一〇、〇〇〇	七五、六〇〇、〇〇〇	一八〇、四一〇、〇〇〇	五、七二〇	二、〇二
千八百七十年	八七、五七〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇、〇〇〇	一九九、〇七〇、〇〇〇	一一、一〇〇	一、七二
千八百七十一年	一一六、九一五、〇〇〇	一三五、八〇〇、〇〇〇	二五二、七一五、〇〇〇	七、三三〇	三、八五
千八百七十二年	一二八、一〇五、〇〇〇	一五八、〇〇〇、〇〇〇	二八六、一〇五、〇〇〇	一四、九五〇	六、七〇
千八百七十三年	一三六、六三三、〇〇〇	一六八、〇〇〇、〇〇〇	三〇四、六三三、〇〇〇	一七、六五〇	七、六五
千八百七十四年	一四〇、四二五、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二八、四二五、〇〇〇	一六、九五〇	七、四五
千八百七十五年	一三三、四八五、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二一、四八五、〇〇〇	一〇、八〇〇	二、六五
千八百七十六年	一四〇、三七〇、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二八、三七〇、〇〇〇	九、六五〇	二、四〇
千八百七十七年	一三九、四五〇、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二五、九二〇、〇〇〇	一三、七五〇	六、一〇
千八百七十八年	一三四、四五五、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二二、四五五、〇〇〇	一一、〇〇〇	三、一〇
千八百七十九年	一四一、四八五、〇〇〇	一八八、〇〇〇、〇〇〇	三二七、九八五、〇〇〇	一四、八〇〇	五、八〇

六四六

表中紙幣下落ノ歩合前記ノモノト符合セサルモノハ前記ノモノハボリユー氏

二十二

ノ調査ニ據リ之ヲ記載セリト雖モ表中ノモノハ西曆千八百八十年伊國當時ノ大藏大臣マグソニア氏カ兌換制度回復案ヲ提出シタルトキノ演說中ヨリ採擇セシモノナルニ由ル蓋シ是レ最モ據ルヘキノ材料ナリト云フヘシ

物品輸出増減表

西曆年次	輸入	輸出	輸入超過	輸出超過
千八百六十七年	一六六、一六六、八五九	一〇四、〇九三、〇〇八	六二、〇七三、八五一	〇
千八百六十八年	一六三、六六八、八七三	一〇五、九九九、六五七	五七、七一九、二一六	〇
千八百六十九年	一六四、一九六、一四四	一五五、七二三、二二八	八、四八二、九一六	〇
千八百七十年	一六八、五五四、七五〇	一一四、五八四、二〇六	五三、九七〇、五四二	〇
千八百七十一年	一七六、〇二五、三六二	一一五、三三二、九六四	六〇、七〇二、三九八	〇
千八百七十二年	二二七、八四六、七〇五	一一一、七六六、九六八	一〇六、〇七九、七三七	〇
千八百七十三年	二五七、五六五、九五四	一二六、七〇八、七七三	一三〇、八五七、一八二	〇
千八百七十四年	二六〇、九九八、八六五	一九七、〇九一、七〇六	六六、九〇七、〇五九	〇
千八百七十五年	二四三、〇一〇、二〇三	二二一、四三三、二二一	二一、五七七、九九三	〇

公債論

六四七



千八百七十六年	二六六、〇二九、五六四、三四三、三八四、二四一、二二二、六四五、三二八	六四八	〇
千八百七十七年	二三〇、八六〇、六〇七、一九三、三〇四、七〇八、三七、五五五、八九九		〇
千八百七十八年	二一四、一六〇、五二三、二〇八、一五七、八八六	六、〇〇二、六三七	〇
千八百七十九年	二五二、四〇八、九三三、二二〇、一九二、二二二、三三二、二一六、七一三		〇
千八百八十年	二四四、九六二、五四〇、二二六、一三一、八六二、一八、八三〇、六七八		〇
千八百八十一年	二四五、一二〇、〇〇〇、二三八、四六〇、〇〇〇	六、六六〇、〇〇〇	〇

由是觀之伊國ノ兌換制度回復ハ決シテ容易ノ事ニアラサリシヲ知ルニ足レリ  
 其西曆千八百八十一年四月七日ノ法ニ據リ紙幣消却ノ爲メ一億二千八百餘萬  
 圓ノ公債募集ヲ許可セシモ實ハ己ムヲ得サル所ノモノタリ伊國カ當時此困難  
 アルニモ拘ハラズ兌換制度回復ノ事ヲ決行セシハ亦以テ財政ノ一美舉ナリト  
 云フヘシ

第六項 北米合衆國

不換紙幣ノ行ハル、ハ敢テ歐洲諸國ニ限ルニアラス米洲ニ於テモ廣ク行ハル  
 、所トナリ餘國ハ措キテ問ハス北米合衆國ノ未タ英國ノ殖民地ナリシ時已ニ

之ヲ用ヒ其獨立戰爭ノ時之ヲ發行シ大ニ之ヲ濫用シ西曆千八百十二年英國ト  
 ノ戰爭ノ時又之ヲ發行シタルハ夙ニ世人ノ知ル所ニシテ之ヲ詳論スルモ看官  
 ノ厭倦ヲ來スノ恐アルヲ以テ一躍以テ彼ノ南北戰爭ノ時ノ不換紙幣ノ景況ヲ  
 示サン

西曆千八百六十一年南北戰爭ノ起ルヤ費用支ヘス先ツ請求手形(デマンド、ノ  
 ト)ト稱スルモノ五千萬圓ヲ發セリ(此手形ハ皆五十弗以下ノ額面ニシテ無利足  
 ナリ是等ノ手形ハ普魯西政府ノ「カツセンシャイン」ト同一ノモノナリ)然レモ巨  
 大ノ軍費ハ此小額ヲ以テ支フルニ足ラス西曆千八百六十二年二月ノ條例ヲ以  
 テ初メテ彼ノ有名ナル綠背紙幣其紙幣ノ色ニ依リテ斯クハ名ケシモノナリ)ヲ  
 發シ不換紙幣ノ制ヲ起セリ右ノ條例ヲ以テ綠背紙幣一億五千萬圓マテ發行ス  
 ルヲ許セリト雖モ同時ニ請求手形ヲ引揚クヘシト定メタルニ由リ實際紙幣流  
 通高ク増加セシハ一億圓ニ過キス右ノ綠背紙幣ハ無利足無記名ニシテ其額面  
 ハ十進一位ノ數ニシテ其最少ナルモノヲ五弗トセリ此條例ヲ發シテヨリ六月  
 ノ後七月十一日ニ至リ再ヒ新條例ヲ發シ更ニ無利息無記名ノ政府紙幣一億五

公債論



千萬弗ヲ發行スルヲ許シ此國ノ紙幣ノ額面ハ大藏省ニ於テ便宜之ヲ定ムルコトヲ許可シ初メテ一弗二弗ノ紙幣ヲ發行セリ然レモ尙ホ五弗以下ノ小紙幣發行高ハ三千五百萬圓ヲ超ユヘカラストセリ爾後屢條例ヲ發シテ合衆國ノ行政官ハ紙幣八億五千萬弗マテヲ發行スルコトヲ許サレタリ元來合衆國政府ノ紙幣タル其種類區々ニシテ一ナラス其最大額ナル無利息ノ綠背紙幣ノ外ニ利子付ニテ紙幣同様ノ位地ヲ占ムル出納局ノ手形アリ又政府ノ收納ニ貨幣ト同様ニ金銀地金ヲ受取り其預リ證ヲ發シ之ヲ流通ニ用ヒタリ加フルニ取引ノ便ヲ助ク從來郵便切手若クハ商業印紙ヲ以テ賣買取引ヲ爲セシコトヲ廢セン爲メニ一弗以下ノ小紙幣五千萬圓ヲ發行セリ

此ノ如ク政府ニ於テ種々ノ紙幣ヲ發行スルト同時ニ諸國立銀行紙幣ヲ發行シ共ニ不換紙幣トシテ之ヲ流通セリ此兩者ノ差違ハ只諸銀行ハ彼ノ書類抵當法ニ據リ紙幣ヲ發行スルモノナリ即チ西曆千八百六十二年ノ條例ニ從ヒ紙幣ノ抵當トシテ合衆國政府ニ其發行ニ係ル公債證書ヲ納メ其價格ノ九割丈ケハ紙幣ヲ發行スルヲ許サレタリ而シテ其紙幣ハ政府ニ於テ製造シテ之ヲ銀行ヘ交

付ニ全國銀行紙幣ノ總高ヲ定メ三億圓ヲ超ユルヲ得サルモノトセリ而シテ發行高ノ増加ト戰況ノ變化等ニ由リ紙幣ノ價格頗ル動搖シ付テクソミヤ役中魯國ノ紙幣變動セシ時キユーバノ紙幣ヲ除クノ外三十年以來紙幣價格ノ下落動搖ノ甚シキ合衆國ノ如キモノヲ見ス米人ウエルス氏ノ調査セシ所ニ據レハ金貨打歩ノ高低左ノ如シ

西曆千八百六十一年三月一日	金貨價格	平準即チ一〇〇、
同 千八百六十二年三月		一〇九乃至一一〇
同 千八百六十二年十月		一三七
同 千八百六十三年一月一日		一三五
同 千八百六十三年一月末		一六〇
同 千八百六十三年二月廿一日		一六三、四分ノ一
同 千八百六十三年三月		一七一
同 千八百六十三年八月一日		一二九、二分ノ一
同 千八百六十三年九月十七日		一三八、八分ノ三



同 千八百六十三年十月 一五六  
 同 千八百六十四年一月一日 一五二  
 同 千八百六十四年三月 一六九  
 同 千八百六十四年四月一日 一六七、二分ノ一  
 同 千八百六十四年四月廿二日 一七三、四分ノ三  
 同 千八百六十四年六月一日 一八八、二分ノ一  
 同 千八百六十四年七月一日 二八六  
 同 千八百六十四年八月一日 二五五  
 同 千八百六十四年十月 二二九  
 同 千八百六十四年十一月 二六〇  
 同 千八百六十四年十二月 二四四  
 同 千八百六十五年一月二日 二二八  
 同 千八百六十六年二月十六日 一三七、四分ノ一  
 同 千八百六十六年九月十七日 一四五

同 千八百六十七年一月十四日 一三四、二分ノ一  
 同 千八百六十七年六月四日 一三七、二分ノ一  
 同 千八百六十七年九月十六日 一四四、四分ノ一  
 同 千八百六十八年四月一日 一三八、二分ノ一  
 同 千八百六十八年七月一日 一三八、四分ノ三

此ノ如ク甚キ高低ヲ致セシハ西曆千八百年代ノ初ニ於テ佛國及奧國ニ於ケ  
 ルト異ニシテ其理由タル經濟上ニアルヨリ寧ロ政治上ニアリトス合衆國紙幣  
 ノ下落甚シキヲ表ハセシハ西曆千八百六十三年一月ノ終ニ始マリ當時金貨ノ  
 打歩六割ニ至レリ同年中ウイツクスホルクノ陥落ゲチスホルグノ勝戦ニテ一  
 時金貨ノ打歩二割九九ニ減セリト雖モ西曆千八百六十三年ノ終ヨリ同千八百  
 六十四年ノ初六箇月間ハ戰況變シテ頗ル困難ナリシヲ以テ金貨ノ打歩大ニ騰  
 貴シ西曆千八百六十四年七月ニハ金貨百弗ノ價紙幣二百八十六弗ニ達セリ同  
 年八、九、十月ニハ金貨次第ニ下落シ十一月ニ再ヒ騰貴セリ將軍シエルマン氏カ  
 大西洋海岸ニ向ヒテ彼ノ有名ナル進軍ヲ爲セシハ實ニ此時ニアリ大統領リン



コロン氏モ亦此時再撰セラレ西曆千八百六十五年ノ春ニハ金貨次第ニ下落シ爾後ハ只單ニ經濟上ノ變動ニ應シテ高低セリ

南北戰爭平定後ニ於テモ紙幣價格ノ高低ハ尙ホ甚ク合衆國政府ハ不幸ニシテ財政ノ方向ヲ誤リ綠背紙幣ヲ消却シテ不換紙幣ノ制ヲ廢スルヲ力メスシテ確定公債ノ償却ヲ先務トセシハ實ニ財政ノ失策ト云ハサルヲ得ス畢竟合衆國政府ヲシテ此ニ至ラシメタルハ經濟ノ要理ニ暗キト一般ノ公衆カ紙幣増發ノ投機心ニ切ナリシトニ由ル不換紙幣ノ次第ニ増加スルニ從ヒテハ百般ノ物價次第ニ騰貴セルヲ以テ商品ヲ買ヒ(殊ニ掛買ニスルヲ最モ多シトス)暫時之ヲ有シテ再ヒ之ヲ賣レハ其間ニ巨利ヲ占ムルヲ以テ紙幣増發ハ大ニ投機者ヲ利シ投機者ノ勢力政府ヲ動かセリ著名ナル經濟家クレメント、シユグラ、氏ハ經濟上大體ノ關係ヲ忘却シ單ニ確定公債ヲ償却スルノ愚論ヲ發シテ合衆國カ紙幣ヲ増加スルヲ助ケタリ實ニ合衆國政府ハ西曆千八百七十三年六月三十日ヨリ千八百七十四年五月三十一日マテニ確定公債ノ元額千九百一十一萬七千五百圓ヲ減少セシト雖モ同時ニ綠背紙幣ノ發行高二千三百三十四萬千八百一十一圓ヲ

増加セリ當時ノ大藏大臣ノ報告ニ依レハ其景況左ノ如シ

確定公債表

六分利付公債	一、二八一、二三八、六五〇	西曆千八百七十三年六月卅日	西曆千八百七十四年五月卅一日
五分利付公債	四一四、五六七、三〇〇		
未償還ノ證券	五〇、五五八、五〇〇		
合計	一、七四六、三六四、四五〇		

西曆千八百七十四年五月卅一日ヲ以テ終ル會計  
年度間ニ減少シタル公債額

政府發行紙幣流通表

西曆千八百七十三年六月卅日	西曆千八百七十四年五月卅一日	
綠背紙幣	三五六、〇七九、九六七	三八二、〇七六、七七七
綠背小紙幣	四四、七九九、三六五	四六、五三八、六二〇
合計	四〇〇、八七九、三三二	四二八、六一五、三九七

公債餘



國庫準備券紙幣

九七八三、五二九

一一、七一七、七〇三

流通總高

三九一、〇九五、八〇三

四一七、四三七、三九四

六五六

西曆千八百七十四年五月卅一日ヲ以テ終ル會計  
年度間ニ流通増加額

二六、三四一、八一

斯ノ如ク合衆國政府ハ奇怪ノ政策ニ陥リ期限拂ノ公債ニ換ユルニ即刻拂ノ公債ヲ以テセリ故ニ之ヲ稱シテ合衆國政府ハ紙幣ヲ發行シテ確定公債ノ一部ヲ償還セリト云フヲ得ヘシ

元來北米合衆國ハ周邊ニ強國ナク其兵ヲ養フ平時ニ於テハ僅ニ二萬五千ニ過キス彼ノ歐洲大陸ノ兵備ノ爲ニ巨大ノ費用ヲ要スルト同日ノ論ユアラヌ國幣常ニ裕ニシテ巨額ノ歳入超過アルハ該國財政ノ常勢ナリ故ニ南北戦争後大ニ國費ヲ節シ歳入超過ヲ増加シ以テ不換紙幣ノ消却ヲ計ルハ決シテ爲シ能ハサルノ業ニアラサリント雖モ策茲ニ出テス前陳ノ失策ニ陥リタルハ深ク合衆國ノ爲ニ惜マサルヲ得サルナリ然リト雖モ不換紙幣増發ノ災終ニ發シテ西曆千八百七十三年ノ恐慌トナリ顯然掩フヘカラス迷夢初テ覺メ西曆千八百七十五

年一月十四日ヲ以テ一法律ヲ議定シ將ニ西曆千八百七十九年一月一日ヲ期シテ兌換ノ制度ヲ復スルノ議ヲ定メ大藏大臣ニ國庫在命中特ニ經費ノ爲メ使用ニ宛ラレサルモノハ之ヲ紙幣交換ノ爲メニ使用スルコトヲ許シ西曆千八百七十年七月十四日ノ法律ニ由リ許サレタル五分、四分半若クハ四分利公債ヲ平價以上ニテ發行シ紙幣ノ消却ヲ計ルヘキヲ許可セリ當時ノ大藏大臣セルマン氏ハ頗ル財務ニ通シ此條例ニ依リ西曆千八百七十七年四分半利付公債千五百萬圓及四分利付公債二千五百萬圓ヲ平價ニテ募集シ同千八百七十八年四月百一半ノ價格ヲ以テ四分及四分半利付公債五千萬圓ヲ募集シ以テ兌換ノ準備トシ西曆千八百七十九年一月一日ニ至リ之ニ歳入殘餘ヲ加ヘ金貨及地金一億三千五百萬圓銀貨及銀地金三千二百萬圓餘ヲ得更ニ紐育出納局支廳長ヲ交換所ニ加入セシメ以テ出納ノ便ヲ計リ兌換ノ制度ヲ實行セリ特ニ紐育ノ諸銀行モ財政ノ運動ヲ補助シ同盟シテ以テ公私ノ取引ニ政府紙幣ヲ受取ルヘキノ議ヲ定メ地方銀行モ亦兌換制度回復ノ日ニ於テ政府紙幣總高凡三分ノ一ヲ有セシト雖モ大ニ信ヲ政府ニ措キ敢テ交換ヲ請フモノナク百般公衆モ亦久シク紙幣ノ

公債論

六五七



使用ニ慣レ其取扱ニ便ナルヲ喜ヒ却テ正貨ヲ不便トシ一ノ兌換ヲ請フモノナク西曆千八百七十九年一月一日ヨリ十月ヲ出テスシテ金貨ノ準備ニ加ハルモノ三千六百萬圓其高都合一億七千百萬圓トナリ爾來益増加ヲ示シ方今西曆千八百八十八年十二月國庫金總有高七億千七百五十九萬餘圓ノ準備ヲ有ス而シテ紙幣流通高一「ドル」以上ノモノ三億四千六百六十八萬餘圓一「ドル」以下ノモノ六百九十一萬餘圓其他流通ノ金銀手形等合シテ七億三千六百六十九萬餘圓ヲ有ス故ニ若シ正貨輸出ノ兆アリテ紙幣ノ基礎ヲ危クスルコトアレハ合衆國政府ハ更ニ公債證書ヲ發行シ聊カ利子ヲ高クシテ以テ其輸出ヲ妨ケサルヲ得ス其之ヲ爲スハ全ク大藏大臣ノ權内ニアリ合衆國政府ノ兌換制度ノ回復ヲ怠リ國家ニ損失ヲ來セシヤ大ナリト雖モ其回復ヲ爲スニ當リ結果其宜ヲ得タルハ亦以テ該國ノ爲メニ賀セサルヲ得サルナリ只憾ム該國ハ經濟上政治上無雙ノ便利ヲ享有スルニ拘ハラズ財政ノ錯誤ニ由リ十有八年ノ間不換紙幣ヲ行ヒ國家ノ進歩ヲ妨ケ其間一大恐慌ヲ發シ無數ノ生民ヲ苦シメ彷徨流離ノ災ヲ醸シタルハ豈ニ是レ數ノ免レ能ハサルモノナラン乎抑又人爲ノ之ニ養生セシモノ

三十四

三十五

ニアラストセン乎請フ左ニ西曆千八百六十二年ヨリ同千八百七十九年ニ至ルマテノ各種紙幣ノ流通高ト其價格ノ變動及其時間中ノ輸出入ノ景況ヲ示シ兵專上政治上經濟上ノ事蹟ヲ付シテ看官ノ參考ニ供セントス

各種紙幣及證券流通高及紙幣價格表

西曆年次 七月一日	請求手形	政府發行紙幣	七分五厘利付證券	小額政府發行紙幣	一年及二年證券	國立銀行紙幣	總計	金貨對紙幣價格	事項
千八百六十二年	五三、〇〇〇、〇〇〇	九六、六二〇、〇〇〇	一三、五八二、四八五	〇	〇	〇	二七、二三四、四八五	八六六	二月不換紙幣ノ制ヲ設ク
千八百六十三年	三、三五八、〇一九	九七、七六七、一一四	三、九七九、七四三	〇	〇	〇	三六、五二〇、四九八	八六六	上中期インフレーション
千八百六十四年	七、八〇九、九九三	一〇、七八八、七六〇	三、九二八、八六〇	〇	〇	〇	二七、八八八、八三〇	三八七	北軍グチスホルクニ
千八百六十五年	四七、二六〇、〇〇〇	一〇、三六八、七六六	一〇、三九七、三九七	〇	〇	〇	七〇、〇	七〇	利ア
千八百六十六年	二七、二一六、〇〇〇	一〇、六一九、二〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	六六、〇	六六、〇	前下半年期ヨリ本年
千八百六十七年	二〇、八四三、三三三	一〇、七三三、三三三	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七一、七	七一、七	上半年期北軍振ハス
千八百六十八年	一四、一七三、三三三	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七〇、一	七〇、一	本年下半年期ヨリ北軍
千八百六十九年	一三、三三三、三三三	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七〇、一	七〇、一	額ニ振フ
千八百七十年	一〇、三三三、三三三	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七〇、一	七〇、一	保護政略盛ナリ
千八百七十一年	九、五〇五、五〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七〇、一	七〇、一	全上
千八百七十二年	八、八二九、三三三	一〇、〇〇〇、〇〇〇	八、三〇〇、〇〇〇	〇	〇	〇	七〇、一	七〇、一	全上

公債論



由是觀之合衆國ニ於テハ戰爭鎮定ノ後速ニ兌換ノ制ヲ復スルハ容易ノ業ナリ  
シニ幣政ノ改良ハ財政ノ大本ナルヲ悟ラス之ヲ等閑ニ付シ投機ヲ獎勵シ貿易  
干涉ト急遽公債償還トノ拙策ヲ取り終ニ西曆千八百七十三年ノ恐慌ヲ惹起シ  
尋テ舊世界ニ於テモ殆ト見サル所ノ貿易沈滞ヲ釀シ西曆千八百七十九年ニ至  
リ稍ク兌換ノ制ヲ復セシハ合衆國ノ如キ新國ニシテ無比ノ發達力ヲ有スル國  
ニ於テハ實ニ恕ス能ハサルノ誤謬ナリト云フヘシ

### 第三款 結論

前款陳述スル所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ不換紙幣ハ諸國ニ於テ甚シキ弊害ヲ  
示シ財源ヲ枯シ信用ヲ減シ其慘毒名狀スヘカラス看官チシテ悚然夏尙ホ塞カ  
ラシムルモノアリト雖モ抑其害ヲ爲スヤ不換紙幣其者ノ罪ニアラスシテ發行  
ノ方法其宜ヲ得サルニ座スルヤ敢テ疑ヲ容レズ佛國ノ西曆千八百七十年ノ役  
ニ敗レ尋テ其内亂ヲ治ムルニ當リ不換紙幣ヲ利用シ以テ國家ノ大難ニ當リ能  
ク其功ヲ奏セシハ史上歷然トシテ掩フ能ハサルノ事蹟ナリ又之ヲ貨幣學ノ原

理ニ照スニ正貨紙幣平均法ニ據リ内部ヨリ起ルノ災ヲ防キ外國爲換平準法ヲ  
併用シテ外面ヨリ生スルノ害ヲ防キ内外相待チテ災ヲ未萌ニ防カハ能ク不換  
紙幣ノ利益ヲ収メ其害ヲ避クルヲ得ルヤ瞭然トシテ明カナリ元來不換紙幣ハ  
國家非常ノ費用ヲ要スルニ當リ一時財源ヲ得ルノ利器ニシテ使用其宜ヲ得ハ  
大難得テ救フヲ得ヘシ苟モ其宜ヲ失セハ害立トコロニ至ラン其使用ハ固ヨリ  
慎マサルヲ得スト雖モ時ニ或ハ之ヲ利用セサルヲ得サルナリ今之ヲ諸國ノ歷  
史ニ徵スルニ戰爭ニ當リ不換紙幣ノ使用ハ殆ト之ヲ免ルコト能ハス凡大國  
ニ於テ戰亂ニ遭遇シ危急ニ際會スルニ於テハ政府若クハ中央銀行紙幣ヲ發シ  
テ強通ノ制度ヲ行ハサルモノナシト云フト雖モ敢テ過言ニアラサルヘシ元來  
租稅ハ大亂ニ際シ急ニ巨大ノ財源ヲ得ルノ具ニアラス普通ノ公債ハ往々十分  
ノ額ヲ集ムルコト能ハス亦急遽ノ場合ニ應スルヲ得ス即日百萬ノ兵ヲ給養ス  
ルノ巨額ヲ得ルニ足ルモノハ獨リ不換紙幣アリテ存スルノミ加之政況不穩終  
ニ戰爭ノ宣告アルニ當リテハ信用紊亂百般ノ事業井然其秩序ヲ保ツヲ得ス租  
稅ノ收入其時ヲ失ヒ公債亦之ヲ起スヲ得ス銀行商賈互ニ信ヲ失シ正貨ノ請求



西曆年次	物品輸出	物品輸入	金銀輸出	金銀輸入	歳入	歳入	出超過	出
千八百七十三年	七九,九六三,〇〇〇	〇	二九,〇〇〇,〇〇〇	〇	七四,八五八,〇〇〇	八六,〇〇〇	〇	恐惶
千八百七十四年	七六,七三三,〇〇〇	〇	二四,七〇〇,〇〇〇	〇	七八,〇〇〇,〇〇〇	九一,〇〇〇	〇	商業沈滞物價下落
千八百七十五年	七〇,一〇七,〇〇〇	〇	二二,三〇〇,〇〇〇	〇	七二,七〇〇,〇〇〇	八七,〇〇〇	〇	兌換制度回復ノ法ヲ
千八百七十六年	六六,九一七,〇〇〇	〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	七三,七〇〇,〇〇〇	八九,〇〇〇	〇	輸入減少
千八百七十七年	六三,九三三,〇〇〇	〇	一八,一〇〇,〇〇〇	〇	七三,五八九,〇〇〇	八九,〇〇〇	〇	魯士戰爭ノ輸出増
千八百七十八年	六三,二九七,〇〇〇	〇	一七,三九五,〇〇〇	〇	六八,八〇〇,〇〇〇	九九,〇〇〇	〇	魯士戰爭ノ輸出増
千八百七十九年	六二,四七〇,〇〇〇	〇	一六,四一〇,〇〇〇	〇	六九,三二七,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	〇	兌換制度回復

輸出入及歳入出過不足表

西曆年次	物品輸出	物品輸入	金銀輸出	金銀輸入	歳入	歳入	出超過	出
千八百六十二年	二,〇〇〇,〇〇〇	〇	未詳	〇	〇	未詳	〇	未詳
千八百六十三年	三六,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十四年	四七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十五年	〇	八二,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十六年	〇	八八,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十七年	〇	七六,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十八年	〇	八四,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百六十九年	〇	一五一,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

西曆年次	物品輸出	物品輸入	金銀輸出	金銀輸入	歳入	歳入	出超過	出
千八百七十年	〇	六七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十一年	〇	九七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十二年	〇	一九七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十三年	〇	一二,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十四年	〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十五年	〇	一一,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十六年	〇	一六,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十七年	〇	一八三,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十八年	〇	二五七,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百七十九年	〇	二六五,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
千八百八十年	〇	一六八,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(備考) 物品輸出漸ク多キヲ致スト雖モ金銀ノ輸出尙ホ止マサレハ曩ニ物品輸入超過其シカリシニ際シ其代價支拂ノ爲メ合衆國ノ公債證書ヲ外國ニ賣出スモノ甚々多ク輸出増加スルニ至リ外國ヨリ合衆國ノ公債證書ヲ以テ支拂ヲ爲スモノ多ク又合衆國人民カ恐惶以後事ヲ減縮シテ之ヲ買戻セシモノ多カリシニ由ルナリ



由是觀之合衆國ニ於テハ戰爭鎮定ノ後速ニ兌換ノ制ヲ復スルハ容易ノ業ナリ  
シニ幣政ノ改良ハ財政ノ大本ナルヲ悟ラス之ヲ等閑ニ付シ投機ヲ曉屬シ貿易  
干涉ト急遽公債償還トノ拙策ヲ取リ終ニ西曆千八百七十三年ノ恐慌ヲ惹起シ  
尋テ舊世界ニ於テモ殆ト見サル所ノ貿易沈滞ヲ屢シ西曆千八百七十九年ニ至  
リ稍ク兌換ノ制ヲ復セシハ合衆國ノ如キ新國ニシテ無比ノ發達力ヲ有スル國  
ニ於テハ實ニ恕ス能ハサルノ誤謬ナリト云フヘシ

### 第三款 結論

前款陳述スル所ノモノヲ以テ之ヲ見レハ不換紙幣ハ諸國ニ於テ甚シキ弊害ヲ  
示シ財源ヲ枯シ信用ヲ減シ其慘毒名狀スヘカラス看官ヲシテ悚然夏尙ホ寒カ  
ラシムルモノアリト雖モ抑其害ヲ爲スヤ不換紙幣其者ノ罪ニアラスシテ發行  
ノ方法其宜ヲ得サルニ座スルヤ敢テ疑ヲ容レス佛國ノ西曆千八百七十年ノ役  
ニ敗レ尋テ其内亂ヲ治ムルニ當リ不換紙幣ヲ利用シ以テ國家ノ大難ニ當リ能  
ク其功ヲ奏セシハ史上歴然トシテ掩フ能ハサルノ事蹟ナリ又之ヲ貨幣學ノ原

理ニ照スニ正貨紙幣平均法ニ據リ内部ヨリ起ルノ災ヲ防キ外國爲換平準法ヲ  
併用シテ外面ヨリ生スルノ害ヲ防キ内外相待テ災ヲ未前ニ防カハ能ク不換  
紙幣ノ利益ヲ収メ其害ヲ避クルヲ得ルヤ瞭然トシテ明カナリ元來不換紙幣ハ  
國家非常ノ費用ヲ要スルニ當リ一時財源ヲ得ルノ利器ニシテ使用其宜ヲ得ハ  
大難得テ救フヲ得ヘシ苟モ其宜ヲ失セハ害立トコロニ至ラン其使用ハ固ヨリ  
慎マサルヲ得スト雖モ時ニ或ハ之ヲ利用セサルヲ得サルナリ今之ヲ諸國ノ歷  
史ニ徵スルニ戰爭ニ當リ不換紙幣ノ使用ハ殆ト之ヲ免ルコト能ハス凡大國  
ニ於テ戰亂ニ遭遇シ危急ニ際會スルニ於テハ政府若クハ中央銀行紙幣ヲ發シ  
テ強通ノ制度ヲ行ハサルモノナシト云フト雖モ敢テ過言ニアラサルヘシ元來  
租稅ハ大亂ニ際シ急ニ巨大ノ財源ヲ得ルノ具ニアラス普通ノ公債ハ往々十分  
ノ額ヲ集ムルコト能ハス亦急遽ノ場合ニ應スルヲ得ス即日百萬ノ兵ヲ給養ス  
ルノ巨額ヲ得ルニ足ルモノハ獨リ不換紙幣アリテ存スルノミ加之政況不穩終  
ニ戰爭ノ宣告アルニ當リテハ信用紊亂百般ノ事業井然其秩序ヲ保ツヲ得ス租  
稅ノ收入其時ヲ失ヒ公債亦之ヲ起スヲ得ス銀行商賈互ニ信ヲ失シ正貨ノ請求



大ニ加ハルハ勢ノ免レサル所ニシテ銀行能ク此請求ニ應スル能ハサルハ亦數ノ免ル能ハサル所ナリ此時ニ當リ正金支拂ヲ停止スルハ實ニ勢ノ已ムヲ得サル所ノモノナリ彼ノ普魯西カ西曆千八百六十六年同千八百七十年ノ大戰役ニ於テ共ニ不換紙幣ヲ發行セザリシハ是レ該國ハ當時格段ナル情勢ノアリシニ由ルモノナリ諸フ之ヲ略陳セン第一普國ハ常ニ軍用準備ノ設アリ第二普國ノ軍備ハ已ニ久シク整允シ兵器糧食共ニ平時ニ於テ備ハリシヲ以テ戰ノ起ルニ當リテ少シク之ニ加フルニ過キス第三獨逸ノ徵兵制ハ甚タ嚴ナリ第四戰初ヨリ獨逸ノ軍ハ敵國ニ營シテ所謂糧ヲ敵ニ取ルノ便ヲ得タリ此ノ如キハ皆是レ無比ノ情勢ニシテ決シテ之ヲ通例トスルヲ得サルナリ戰亂騒擾不測ノ變ニ當リ不換紙幣ヲ發スルハ時ニ或ハ已ムヲ得サルモノアリト雖モ恣ニ内債外債ヲ起シ之ヲ濫用シ不換紙幣ヲ發行スルカ如キハ實ニ怒スヘカラサルノ拙策ナリトス南亞米利加ノラブラタブラウルガイ等ノ諸國カ不換紙幣ノ制ニ陥リシハ皆外國債ノ非常ニ増殖シテ忽然融通ノ路ヲ塞キタルニ由ル元來不換紙幣ヲ行フニ外債ノ過多ニ原因スルモノハ兌換ニ復スルコト甚タ難シ彼ノ普國ニ

於ケル兌換ノ制ニ復スルコト容易ナラサルハ巨額ノ外債之カ一原因タリ合衆國ニ於テ兌換制度回復ノ遲延セシモ亦外人ニ支拂フモノ夥多ナルコト之カ一因タリシヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ  
 大戰亂ノ爲メニ不換紙幣ヲ發行スルハ實ニ止ムナキノ形情ニシテ稍、怒スヘキモノナリトセスト雖モ實地ノ經驗ニ據レハ一度此制度ヲ行フ時ハ之ヲ永遠ニ遲延シ容易ニ回復スヘカラサルノ勢アリ戰後數年ニシテ能ク此制ヲ脱シタルモノハ特ニ西曆千八百年代ノ初ニ於テ英國アリ近年ニ於テ佛國アルノミ合衆國境地利伊太利魯西亞ノ如キハ之ニ反シテ二十年乃至甚シキハ五十年間モ不換紙幣ヲ行ヒ尙ホ兌換ノ制ヲ復スル能ハサルモノアリ  
 抑、不換紙幣ノ制タルヤ頗ル世人ヲ迷導スルモノニシテ之ヲ行フニ於テハ之カ爲メニ利スル者ヲ生シ兌換制度ノ回復ヲ好マス此輩ハ一ハ遠慮斷行ノ氣象ナキ者一ハ無智ノ者一ハ自己ノ利益ニ戀々タル者ナリ又政府ニシテ歳出ヲ節制シ財源ヲ求メ不換紙幣ノ消却ヲ計ラサルモノハ大害ヲ忘レ姑息ヲ悅ヒ因循安ナ倫ムモノナリ元來製造家商賈ノ如キハ多クハ不換紙幣ノ發行ヲ厭ハス之カ



延期ヲ嫌ハス却テ之カ増發ヲ喜フ者アリ是レ物價ノ騰貴ニ乘シ一時僥倖ノ利ヲ得ント欲スルモノニシテ永遠確乎不拔ノ利益ヲ忘ル、モノナリ現ニ伊太利ノ如キハ不換紙幣ヲ喜フ者ハ製造家ニ多ク北米合衆國ノ如キハ西部ノ農家并ニ其製造家ハ力ヲ極メテ不換紙幣ノ増發ヲ唱ヘタリ

斯ノ如ク不換紙幣ノ増發ヲ喜フ者ハ只皆無智ノ民ナル歟若クハ目前ノ利ニ銳キ中人以上ノ民ナル歟ヲ尋スルニ二者相混スルモノ、如シ抑不換紙幣ハ物價ヲ騰貴シ終ニ勞銀ヲ増加スト雖モ勞銀ノ増加ハ物價ノ騰貴ト同一ノ比例ヲ保タス常ニ進步ヲ之ニ讓ルモノナリ故ニ製造家等ハ其間ニ不當ノ利益ヲ得ント欲シ一般公衆ノ不利ハ彼等固ヨリ之ヲ願ハス勞力者等ハ勞銀ノ購買力ハ減少シ其生計ニ苦ムト雖モ名目上ニ於テハ物價ノ騰貴ニ從ヒ勞銀ヲ增加假合同比例ヲ保タスト雖モスルヲ喜ヒ紙幣ノ價格ヲ復スルニ從ヒ勞力ノ實力ヲ増加スト雖モ其稱呼ノ減スルヲ喜ハス而シテ商賈ノ信用買ニテ物品ヲ藏スル者ハ不換紙幣急ニ増加スレハ物價ノ騰貴スルヲ以テ利ヲ得ヘシ例ヘハ一ノ商賈アリ十萬圓ノ商品ヲ倉庫ニ藏シ之ニ對シテ五萬圓ノ負債アリシトセン若シ不換紙

四十二  
四十三

幣増發ノ爲メニ物價騰貴シ之ヲ十五萬圓ニテ賣ルコトヲ得レハ此取引ニテ二倍ノ純利ヲ得ヘシ而シテ其借方ト貸方トナシスレハ三倍ノ多キニ至ル然レトモ若シ金銀貨ノ行ハル、ニ於テハ貸借ノ差決シテ此ノ如ク大ナラサルヘシ又手形取扱人仲買人ノ如ク手形證書類ノ取引ヲ以テ投機ヲ爲ス者等ハ皆時價ヲ以テ預リ若クハ證書類ヲ抵當トシテ借財ヲ爲スヲ以テ其證書類ノ市價騰貴シテ負債セル資金トノ差違増加スルヲ以テ利益トシ不換紙幣ノ増發ヲ悅フノ小人陸續離ヲ接スルニ至ルハ又以テ不換紙幣ノ一大害ナリト云フヘシ

實ニ北米合衆國ニ於テハ西曆千八百七十八年ノ末是等ノ不換紙幣ヲ欲スル者益々團結シ之カ増發ヲ唱フルコト愈々盛ナリシ是等ハ實ニ社會黨ト相結ヒ昔テ民權黨(デモクラット)ノ首領ノ一人タリシ有名ノ煽動者ボトラ氏ノ指揮ニ從ヒ勞力及紙幣増發黨ノ名ヲ以テ知ラレタリ此新黨ハ重ニ西部農業社會ノ民ヲ以テ成立セリ北米合衆國西部ノ農民ハ通例土地ノ所有者ナリ且ツ往々南北戰爭中紙幣カ二割三割乃至五割ヲ下落セシ時ニ當リテ負債セシ者多ク紙幣其價格ヲ復スルニ至リテ大ニ困難スルノ情アリ此輩ハ以爲テ紙幣益々多ケレハ負債ノ利



子租稅及鐵道ニ依リテ物產ヲ運輸スルニ益、經費ヲ減スヘシ(運賃モ紙幣増發ノ爲メ農産ノ如キ需要廣キ者ト同比例ヲ以テ騰貴セサルモノト一ナリ)又其米穀家畜ノ價ハリバブール倫敦ノ市價ヲ以テ左右セラル、カ故ニ米穀ニ於テハ紙幣ノ下落ニ據リ其價ヲ増加スヘシ然ルトキハ其費用ト總収入ノ差額増加スヘキカ故ニ純利ヲ増加スヘシトシ以テ深ク不換紙幣ノ増發ヲ好メリ此輩ノ云フ所敢テ一理ナキニアラス然レモ一方ノ利ヲ見テ敢テ眼ヲ全体ニ注カサルモノト云フヘシ何トナレハ其利ヲ得ル者ハ只ニ負債者ノ一方ニ止マレハナリ而シテ此一方ノ利ハ一般ノ利ニ反スルヤ明ナリ抑、不換紙幣カ一方ノ民ニ利スルハ小ニシテ全國ノ不便ヲ醸スハ大ナリ交易用具ノ價格動搖常ナケレハ外國ノ取引甚タ難ク只ニ現金拂ノ貿易ヲ爲シ得ルノミ外國ノ商賈ハ不換紙幣ノ行ハル、國ヘ信用賣ヲ爲スヲ好マス何トナレハ支拂期限ニ至リ爲替相場ノ變動ニ由リ計ラサル損失ヲ蒙ルコトナキヲ保セサレハナリ

由是觀之不換紙幣ハ經濟上一國ヲ孤立スルノ一原因タリ或ハ云ハン不換紙幣ノ制度ハ時トシテ内國諸產品ノ原價ヲ低減スルノ効アリテ輸出ヲ盛ニスルコ

トアリト然リト雖モ是レ只不換紙幣増發ノ爲メ投機ヲ惹起シ一部ノ生産不當ニ増加シ或ハ紙幣ノ下落未タ勞銀ノ増加ヲ醸サ、ル暫時ノ間ニアルモノニシテ共ニ一國ノ損失タルヲ免レス眞ノ生産増加ニアラサルナリ而シテ其結果ハ輸出ノ増加ニアラスシテ輸入ノ増加ニアルヤ道理ニ於テモ實際ニ於テモ照平トシテ掩フ能ハサル所ノモノアリ成程不換紙幣ノ爲メニ某商賈ハ利ヲ得ヘキモ是レ或勞銀ヲ剝削セルヨリ生スル所ノ利益ナリ或ハ投機其間ニ當ルノ僥倖ナルニ外ナラス加フルニ内國ノ取引ニ於テモ不換紙幣アレハ取引上固有ノ危険ノ外更ニ他ノ危険ヲ加フヘシ然ラハ則チ投機ヲ獎勵シ眞正ノ取引ヲ抑制スルノ効驗アリ之ヲ以テ不換紙幣ヲ行フ國ニ於テハ商業上ノ困難最モ生シ易シトス塊地利合衆國ノ如キハ實ニ其好例ナリ而シテ其困難タル容易ニ去リ難ク諸支拂一層ノ困難ヲ致スヘシ何トナレハ不換紙幣ノ流通ハ貨幣ノ價格ヲシテ一定ナラシムルコト能ハサレハナリ政府ニ於テモ不換紙幣ヲ行フトキハ百般ノ支拂殊ニ外國支拂ニ損失ヲ免レス若シ試ニ毎年ノ損失ヲ計算シテ不換紙幣ヲ發行シテ得ル所ノ利益ヲ對照セハ其損益相償ハサルヤ敢テ疑ヲ容レサルナ



古來不換紙幣ヲ行フノ政府ニシテ其發行ヲ來セシノ情狀已ニ去ルヤ故テ兌換回復ヲ欲セサルモノアラスト雖モ其速ニ正制ニ復スルコト能ハサル所以ノモノハ發行ノ方法宜シキヲ得サルニ由ル抑不換紙幣ノ制ハ通例國庫急要ヲ告ルニ基ヒスルモノナルカ故ニ兌換回復ヲ爲スニ最要ナル一事ハ財政ヲ整理シ歲入ヲシテ歲出ニ超過セシムルニアリ佛國ニ於テ計畫セシ所ノモノハ戰終ルノ後先ツ佛蘭西銀行ニ四千萬圓ヲ償還シ後毎年三千萬圓ツ、ヲ償還スルニアリ是レ宜シク則ルヘキノ方法ナリ例ヘハ伊太利ノ如キ紙幣償却ノ爲メ毎年千二百萬圓乃至千六百萬圓ヲ償還スルヲ計ラハ大ニ消却ヲ容易ニスルコトヲ得シヤ疑テ容レサルナリ右ノ方法ハ二様ノ良効アリ請フ之ヲ辯セン

第一 過多ナル紙幣ノ流通高チ減少スルコトヲ得

第二 内外ニ示スニ政府カ不換紙幣ヲ發行セシハ一時ノ危急ヲ救フニアリ  
 ナ銳意兌換制度ノ回復ヲ計ルヲ示スニ足ルヘシ

已ニ示スカ如ク不換紙幣ノ下落ヲ來スハ其流通高ノ過多ナルニアリト雖モ人

心ノ感覺モ亦多少之カ一因タルニ由リ紙幣ノ價格ヲ復セント欲セハ政府ノ意速ニ兌換ノ制ヲ行フニアリトノ事ヲ示サ、ルヲ得ス

右ノ方法ハ兌換制度ノ回復ヲナスニ於テ最良最確最簡ナルモノトス然レモ兌換制度回復ノ策ハ此ニ止マラス一旦流通高減少シ紙幣ノ價格漸ク復スルニ於テハ内外國債ヲ募リテ其回復ヲ速ニスルコト亦難キニアラス此場合ニ於テ内國債ハ以テ紙幣ノ切斷燒却ニ供スヘク外國債ハ以テ流通紙幣ノ金銀準備ヲ得ルノ方便トナスヘキナリ

兌換制度ノ回復ニ要スル所ノモノハ獨リ歲入出其宜キヲ得ルヲ以テ足レリトセス外國爲替相場ノ景況モ亦順適ナラサルヘカラス世常ニ云フ輸出輸入ニ超過セサルヘカラスト然レトモ商品ノ輸出入豈ニ獨リ外國ト經濟上ノ關係ヲ左右センヤ若シ或ハ商品輸出入ノ權衡ヲ得サルヲ見テ兩國ノ地位ヲ推測セハ大ナル過チ生スヘシ尙ホ他ニ運送費保險料手数料等ノ輸出入ノ差ヲ加減スルモノアリ手形證書類ノ輸出入アリ是レ亦數巨額ニ上ルモノニシテ貿易ノ權衡ヲ加減スルモノナリ又外國政府ノ公債證書ヲ有スルカ若クハ私ノ事業ノ資金ヲ



外國ニ貸付ク他國ノ債主タルコトアリ加之方今ハ外國トノ往來甚々盛ナルヲ以テ外國ニ居住シ若クハ周遊シ外國ニ於テ消費スル所少カラス其外人カ内外ニ於テ費ス所ノモノ内國人カ外國ニ於テ費ス所ノモノニ超フル時ハ之ヲモ計算ニ加フヘシ或ハ云フ佛國ノ如キハ外國人カ每年來リテ費ス所ノ金額ハ凡ソ二億圓ナルヘシト或ハ之ヲ以テ三億圓ナルヘシトナス伊太利ノ如キハ每年外國人カ携へ來ル所ノ金銀ハ四千萬圓乃至六千萬圓ナルヘシト云フモノアリ然レモ吾輩ヲ以テ之ヲ見レハ此額タル遙ニ其實額ニ及ハサルモノ、如シ蓋シ其實ハ該額ノ二三倍若クハ四倍ニ達スヘシ斯ノ如ク外國爲換ノ景況ヲ左右スルノ理由少カラス故ニ是等ノ爲メ我ニ得ル所多クシハ商品ノ輸入其輸出ニ及ハサルコトアルモ經濟上敢テ妨クルコトナク英國ノ實例以テ見ルヘキナリ然リト雖モ若シ然ラスシテ輸出ノ輸入ニ及ハサルコトアレハ是レ實ニ兌換制度ノ回復ノ一大妨碍タルヤ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ

歳出入ノ平均スルト外國爲替ノ平價以上ナルコトハ兌換制度ノ回復ニ要スル所ノ二大要件ナリ施政宜シキヲ得タル國ニ於テハ別段租稅ヲ課セサルモ經費

ヲ節約セテ此二者ヲ得ルコト難キニアラス諸國ニ於テ往々不換紙幣ノ期ヲ延引スルハ政府及人民カ節約ヲ力メスシテ不急ノ土木ヲ起シテ爲メニ巨費ヲ投シ其他ノ濫費ヲ恣ニスルニ由ル最モ土木ヲ起シテ公益ヲ計ルハ必要ナルヘシト雖モ只土木ヲ急ニセスシテ數年間之ヲ見台セ先ツ兌換制度ノ回復ニ力ヲ盡スハ經濟上ノ順序ニ於テ然ラサルヲ得サル所ナリ

世人往々不換紙幣ノ原因ヲ以テ世間金銀ノ缺乏ト爲ス者アリ近年金銀單據本位ノ得失ヲ論スルニ當リテ復々數此說ヲ唱フル者アリ是レ思ハサルノ甚シキモノト云フヘシ夫レ開明諸國カ半ハ不換紙幣ヲ發行スル所以ノモノハ世ニ金銀ノ乏シキカ爲メニアラス往昔ハ今時ニ比スレハ金銀少シト雖モ不換紙幣ノ行ハレタルヲ見ス政府カ不換紙幣ヲ發行スル所以ノモノハ兌換セサル紙幣ヲ發行セテ資ヲ人民ニ借ルニアリ故ニ之ヲ廢セント欲セハ歳入ノ一部又ハ利附ノ公債ヲ募リ其収入ヲ以テ紙幣ヲ償却セサルヘカラス

或國殊ニ合衆國魯西亞ニ於テハ關稅ヲ拂ハセムルニ金貨ヲ以テスルハ爲替相場ヲ改良シ兌換制度ノ回復ヲ容易ニシ得ヘシト信セリ此事タル前述セル所ノ







然ラハ即チ紙幣ノ下落ハ金銀ノ缺乏ヨリ生スルニアラズ不換紙幣ノ爲メニ最モ苦ムモノハ却テ魯西亞合衆國ノ如キ多量ノ金銀鑄チ有スルモノニアリ不換紙幣チ廢セント欲セハ先ツ歲出入ノ平準ヲシテ其宜キヲ得セシメ冗費チ省減スルニアリ然リト雖モ不幸ニシテ佛國チ除キテハ不換紙幣施行中ニ於テ諸國皆經費チ増加スルニ急ナリ殊ニ土木ノ事業チ起スニ急ニシテ四五年ノ間モ節約チ主トシテ流通紙幣チ減シ無利足ノ債償チ消却スルチ力メス魯西、伊、米ノ如キ皆之ヲ誤リブラジル、ラブラタ、ウルガイノ如キハ更ニ蓋シトス獨リ佛國ハ該制ノ危險チ知り之チ處スルニ其法チ誤ラズ是チ以テ西曆千八百七十一年ノ戰後佛國ニ於テハ能ク不換紙幣ノ利益チ收メ其災害チ免ルコトチ得ルチ不換紙幣ハ利器ナリ其用ヒ宜キチ得ハ國家ノ大難得テ救フチ得ヘシ而シテ之チ行フニ自ラ規矩ノ存スルモノアルチ世上ニ知ラシメタルハ實ニ佛國ノ功ト云ヘシ

### 第四章 地方債

#### 第一款 總論

公債ノ事ヲ論スルニ當リ論地方債ニ及ハサレハ未タ以テ盡セリト云フチ得ス何トナレハ其元利ノ負擔ハ國債ト等シク民庶ノ負擔トナリ而シテ其負擔タル國債ノ如ク廣ク一國人民ニ課スルチ得ス只ニ一地方ノ人民ニ限リ之チ國中一般ニ及ホスチ得ス其良否ハ地方人民ノ利益ニ關スルコト國債ヨリモ却テ割切ナルモノアレハナリ方今開明諸國ニ於テ地方債チ有セサルモノナシ佛國ニ於テハ其市債ノ高五億二千五百萬圓チ超過シ巴里一市ニテ二千二百二十有餘萬圓ノ負債チ有シ伊太利ハ州債三千四百十五萬餘圓市債一億六千二百十九萬餘圓チ有シ北米合衆國ハ州債二億三千二十四萬餘圓市債一億六千九百七十有餘萬圓チ有シ又以テ其高ノ僅少ニアラサルチ知ルニ足レシ我國已ニ市町村制ノ發布アリテ市町村ニ許スニ公債チ起スチ以テ地方債ノコト世上ノ



一問題トナル蓋シ數年ヲ出テサルヘシ然ルニ我國未タ地方債ノ事ニ慣レス深ク其方法利害ヲ説ク者ナシ廣ク諸國ノ法律規則ヲ鑑ミ深ク之ヲ研究ヲ爲スハ蓋シ目下ノ一急務ナリトス元來地方債ノ起ルハ時ニ或ハ英國ノ如ク地方通常經費ノ不足ヲ補フ爲メニスルモノアリト雖モ是レ固ヨリ財政ノ最モ宜シキヲ得サルモノナリ地方債ノ起ルハ主トシテ地方有益ノ事業ヲ起スニアリ我國方今地方ノ情況ヲ見ルニ水陸運送ノ便ヲ開キ物産ノ蕃殖ヲ計リ財源ノ發達ヲ計ル等爲スヘキノ事業一ニシテ足ラス其山嶽ヲ貫キ豁谷ヲ埋メ江灣ヲ浚深シ河川ヲ始メ沼漚ヲ疏通シ荆棘ヲ開キ播種ヲ切ル等ノ事固ヨリ容具ノ業ニアラス費用從テ僅少ユアラス通常歳入ノ得テ支辨シ能ハサルハ論ヲ俟タサルナリ宜シク公債ノ起ルアリテ數十年若クハ數十年ニ之ヲ分擔セサルヲ得サルナリ而シテ事苟モ其宜シキヲ得ハ是等ノ事業ハ皆利益ヲ後年ニ殘スモノタルヲ以テ後世ナシテ其費用ヲ分擔セシムルモ敢テ後世ノ發達ヲ妨ケス却テ大ニ後年ノ進歩ヲ促スヲ得ヘシ是レ地方債ノ以テ起ラサルヲ得サル所以ノ理由ナリ然レテ事ヲ爲スニ其費用ヲ當時ノ負擔ヲ以テ支辨セス之ヲ後世ニ分擔セシムルモ

ノハ固ヨリ一國若クハ一地方ノ大事ニシテ決シテ尙且ニスヘカラサルハ多辯ヲ要セス故ニ國債ハ法律ニ據ラサレハ之ヲ起スヲ得ス地方債ニモ亦法律規則ノ檢束スル所アリ而シテ地方債ニ於テハ特ニ檢束ノ周到ナルヲ要スルモノアリ何トナレハ國債ヲ以テ爲ス所ノ事業ハ中央政府自ラ之ヲ爲シ國中一般ヲ通觀シ能ク緩急本末ヲ計リ事ヲ舉クルヲ得ヘシト雖モ地方政府ハ眼ヲ全局ニ注シ能ハス各部局ノ競争ニ由リ其地ノ他地方ニ後レンコトヲ恐レ緩急ヲ問ハス本末ヲ辨セス輕舉以テ負債ヲ起スノ弊アルヲ免レス而シテ地方政府ノ方針ハ中央政府ノ如ク確定スル能ハス變動從ヒテ多ク一國ノ擾亂ハ稀ナリト雖モ一地方ノ紛亂ハ太平無事ノ時ト雖モ起ルコトナキヲ保セス一國ノ收入ハ大ニシテ歳入減少スルコトアリト雖モ他ノ費用ヲ節シテ元利ノ支拂ヲ全フスルヲ得ヘシト雖モ一地方ノ經費ハ小ニシテ些少ノ減少ト雖モ負債辨償ノ義務ナシテ之ヲ盡スニ難カラシムルハ數ノ免レ能ハサル所ナレハナリ況ンヤ時ノ古今ヲ問ハス海ノ内外ヲ問ハス地方一團ノ區域ハ人間活動ノ景況ニ由リ多少ノ變更ナキヲ得ス若シ之アルニ於テハ負債ノ分擔上多少ノ煩雜ナキヲ得サルニ於テ



六八〇  
ナキ是レ諸國ニ於テ特ニ地方債ヲ起スノ目的ヲ定メ長期ノ負債ヲ起スヲ許サ  
ズ元利支拂ノ財源ヲ定メテ中央政府ニ許ス所ノモノヲ以テ地方政府ニ  
許サス其檢束ヲ嚴密ニスル所以ナリ請フ今一步ヲ進メテ諸國ニ於ケル地方債  
ノ法律規則ニ論及セン

### 第二款 地方債ニ關スル諸國ノ法律規則

#### 第一項 英國

英國ハ完全ノ地方債條例ヲ有シ其條項中頗ル見ルヘキモノアリ抑地方債ノ事  
タル數年ヲ出テスレテ我財政上ノ一問題トナルハ敢テ疑テ容レス故ニ今其元  
長ナルヲ厭ハス英國地方債條例ノ全文ヲ掲載スルモ又無用ノ業ニアラサルヘ  
シ請フ之ヲ次ニ掲出セン

#### 英國地方債條例

##### 第一章 總則

第一條 此條例ヲ總稱シテ千八百七十五年地方債條例ト云フ

第二條 此條例ノ施行ハ蘇格蘭及愛蘭ニ及ハス

第三條 此條例ハ千八百七十六年一月一日ヲ以テ之ヲ實施シ此後此日ヲ以テ  
此條例ノ創始トス

第四條 地方廳カ此條例ニ從ヒ其權内ニ於テ債券デベンチユール(若クハ負債  
證)デベンチユール、ストツク(若クハ年金證書)アンニユイチー、ソルチフヒケ  
ト)ヲ以テ負債ヲ起ストキハ其地方ハ借入ヲ爲スモノト見做サル、ヘシ但シ  
其一部ハ一方法他ノ部ハ他ノ方法ニ據リ債券若クハ負債證若クハ年金證書  
ヲ以テ公債ヲ起ス場合ニ於テハ唯其場合ノ爲メ特ニ定メテレタル方法ノミ  
之ニ適用スヘシ

#### 第二章 債券

第五條 此條例ニ於テ債券トハ地方ノ收入若クハ財產ニ其支拂ヲ負擔セシメ  
元利金ノ支拂ヲ記載スル證書ヲ云フ  
債券ニシテ其支拂ヲ財產ニ賦課スル場合ニ於テ元金若クハ利金ノ支拂ヲ息

#### 公債論

名稱  
條例ノ範  
圍ノ創  
始  
條例中借  
入ノ解釋  
債券ニ係  
ル規定



リタルコトアルトキハ其財産ヲ賣却スルモノトシ券面ニ此旨ヲ記載スヘシ  
元金ハ債券ノ持參人又ハ券面ノ記名者遺囑管財人若クハ無遺囑管財人又ハ  
受託人ニ支拂ハル、モノトス  
持參人ニ支拂ハルヘキ債券ノ賣買讓與ハ相對ノ授受ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ  
得

記名者遺囑管財人若クハ無遺囑管財人又ハ受託人ニ支拂ハルヘキ債券ハ此  
條例ニ於テハ之ヲ記名債券トシ地方廳ノ指示スル方法ニ據リ記名書換ノ手  
續ヲ了スルニアラサレハ之ヲ賣買讓與スルヲ得ス

此條例ノ債券若クハ此後此條例ニ據リ發行スル債券コハ利札ヲ付シ其利札  
ニ持參人又ハ利札面ノ記名者若クハ其指名人ニ利金ヲ支拂フヘキコトヲ記  
載シ又ハ當時ノ債券所有者ニ對シ若クハ其券面ニ記載スル他ノ方法ニ從ヒ  
テ其利子ヲ支拂フモノトス  
記名者若クハ其指名人ニ利金ヲ支拂フヘキコトヲ記載セル利札ハ此條例ニ  
於テハ之ヲ稱シテ指名人拂ノ利札ト云フ

此條例ニ據リ發行スル所ノ債券ハ其發行ノ際特ニ定メタル額ヨリ少キ額面  
ヲ以テ之ヲ發行スルヲ得ス若シ其額面ヲ特ニ定メサルトキハ額面二十磅以  
下ノモノヲ發行スルヲ得ス

第三章 負債證

負債證ニ  
係ル規定

第六條 負債證ハ之ヲ以テ公債ノ全部若クハ其一部ヲ起スノ權アル地方廳ニ  
於テ創設發行スルコトヲ得右ノ負債證ハ之ヲ以テ募集スルコトヲ許サレタ  
ル金額ニ超過セサル額面タルヲ要シ別ニ發行手續ヲ以テ規定スルニアラサ  
レハ發行ノ時地方廳ノ告示スル時期并ニ方法ニ據リ平價ヲ以テ償還スルモ  
ノトス負債證ニ附帶シ生スル權利ハ此條例ニ記スルカ如キ所有者ノ氏名ヲ  
記載スル登録簿ノ記入ニ依リ之ヲ證明ス

負債證ノ利子歩合及其支拂季節ハ發行ノ時ニ之ヲ定メ地方廳ヨリ之ヲ告示  
ス

負債證ノ元利ハ發行ノ時規定セル地方收入若クハ財産ヲ以テ之ヲ支拂フモ  
ノトス其方法ハ債券ノ場合ト異ナルコトナシ

公債論



負債證元利ノ支拂ヲ地方収入ニ負擔セシメ之ヲ其財産ニ賦課スル場合ニ於テ利子ノ支拂ヲ怠リタルカ又ハ元金ノ支拂ノ爲メ其財産ヲ賣却スルモノナルトキハ地方廳ハ發行ノ時此旨ヲ布告スヘシ

負債證ハ總テ動産ノ性質ヲ有シ其賣買讓與ハ此條例ニ規定スル所ニ從ヒ地方廳ノ指示スル方法ニ據リ記名書換ノ上之ヲ爲スヘシ

負債證ノ利子ハ此條例ノ年金證書ニ據リテ保證セラレタル同額ノ年金ト總テ同一ノ方法ニ據リテ權利者ニ支拂ハル、モノトス

負債證ノ所有者ハ其發行ノ時ニ地方廳ノ告示スル時期及方法ニ據ルノ外元方ノ支拂ヲ要求スルヲ得ス

負債證ニ係ル規程ハ發行ノ時地方廳ヨリ之ヲ布告シ其條項ハ更ニ印刷ニ附シ負債證所有者ノ望ニ由リ之ヲ交附シ負債證ノ登錄簿ニ挿入スヘシ

地方廳ハ之ヲ適當ナリト認ムルトキハ負債證ノ所有者ノ求メニヨリ負債證ノ全部又ハ一部ニ對スル權利ノ證明書ヲ作り其持參人ヲシテ之ニ對スル利子ヲ受取ルノ權アラシムル利札之ニ附シテ下付スルコトヲ得

本條ノ負債證ニ對スル權利ノ證明書此條例ニ於テハ之ヲ稱シテ持參人拂ノ證書ト云フハ持參人ニ元利金ヲ請取ルノ權ヲ附與シ其賣買讓與ハ相對授受ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

負債證ニ對シ持參人拂ノ證書ヲ發行シ其證書存在スル間ハ登錄簿ニ就キテ爲スヘキ書換ノ手續ハ之ヲ停止ス

負債證ニシテ之ニ對シ持參人拂證書ヲ發行セサルモノハ此條例ニ於テハ記名負債證トス

第四章 年金證書

年金證書ニ係ル規定

第七條 此條例ニ於テ年金證書トハ證書面ニ記載スル如ク地方収入若クハ財産ニ支拂ヲ負擔セシメ年金ノ支拂ヲ約スル證書ヲ云フ

此條例ノ年金證書ニシテ其支拂ヲ地方収入ニ負擔セシメス之ヲ其財産ニ賦課スル場合ニ於テ年金證書ニ據リテ保證セラレタル年金若クハ其一部分ノ支拂ヲ怠リタルトキハ其財産ヲ賣却スルモノトシ此旨ヲ年金證書ニ記載ス



年金ハ證書ノ持參人隨書ノ記名者遺囑管財人若クハ無遺囑管財人又ハ受托人ニ支拂ハル、モノトス

年金ノ持參人ニ支拂ハル、證書ノ賣買讓與ハ相對ノ授受ヲ以テ之ヲ爲スヲ得記名者遺囑管財人若クハ無遺囑管財人又ハ受托人ニ年金ノ支拂ヲ爲ス證書ハ此條例ニ於テハ之ヲ記名年金證書トシ且ツ賣買讓與ハ地方廳ノ指示スル方法ニ據リテ記名書換ノ上之ヲ爲スヘシ

此條例ノ年金證書ハ發行ノ際特ニ定メタル額面ヨリ少キ年金額ヲ以テ之ヲ發行スルヲ得ス若シ特ニ其額面ヲ定メサルトキハ三磅ヨリ少キ額面ヲ以テ之ヲ發行スルヲ得ス

第五章 公債ノ先拂權

第八條 償還滿期又ハ償還許可高又ハ此條例ニ據リ地方廳ノ發行セシ同一ノ公債ハ證書ノ甲乙ヲ撰擇スルコトナク總テ發行日附ノ早キモノヨリ償還スヘキモノトス

此條例ニ據リ同地方廳ニ於テ同時ニ數箇ノ公債ヲ起シタル場合ニ於テ各公

公債ノ先拂權

債ノ滿期償還又ハ償還許可高又ハ各公債ノ證書ハ各其日附ノ早キモノヨリ償還スルモノトス

此條例ニ據リ公債ヲ起スノ權ヲ許サレタル場合ニ於テハ他ニ方法ノ設ケラル、ニアラサレハ地方廳ハ此條例ノ範圍ニ於テ最モ便利ナリト認ムル方法ニ據リ一箇ノ公債若クハ數箇ノ公債トシテ之ヲ起スコトヲ得但其總額ハ認可高ヲ超過スルヲ得ス先拂權及償還期限ニ及ヒタル時之ニ關スル條項ニシテ此條例ノ範圍内ニアルモノハ地方廳ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得且地方廳ハ各證書ノ日付ニ關係ナク便宜償還ノ期日ヲ定ムルコトヲ得但其期限ハ認可ノ期日ヲ超過スルヲ得ス

第六章 受托ノ通知

第九條 此條例ニ從ヒテ地方廳ノ發行セル證券ニ關スル受托ノ通知ハ其明意包意若クハ解釋上ヨリ來ルヲ問ハス地方廳又ハ同廳ノ登錄者若クハ吏員ニ於テ之ヲ受クルヲ得ス

第十條 地方廳ニ對シテ金員ヲ貸付シ其代リトシテ此條例ノ證券ヲ受取ル者

公債論

受托ノ通知ヲ受ケサルコト

證券所有者ハ地方廳ノ所爲



ニ對シテ  
責任ナキ  
モノトス

仕拂執行  
命令書

不拂金受  
取ノ爲メ  
任納官ノ

ハ其貸付シタル金員使用ノ用途ヲ訊問スルノ義務ナク又從ヒテ其使用上ニ  
付一切ノ責任アルコトナシ

第七章 不拂ニ對スル救済

第十一條 満期償還若クハ償還許可高若クハ此條例ニ據リ發行セル證券ニ係  
ル金高ハ地方廳ニ於テ之ヲ支拂若クハ消却スヘシ若シ其償還スヘキ高ノ支  
拂ヲ怠リタルトキハ其高ハ地方廳ヨリ支拂ヲ受クヘキ權利者ニ對スル特別  
負債トシ其實行スルノ執行命令書ヲ之ニ下付スルモノトス又從ヒテ債主ハ  
該命令書下付要求ノ訴訟ヲ起スコトヲ得

第十二條 地方廳ニ於テ償還スヘキ高若クハ發行シタル證券ノ支拂ヲ怠リ其  
高五百磅以上ニシテ(一口若クハ數口タルニ拘ハラズ)支拂ヲ怠ルコト期限後  
二十一日ヲ過クルトキハ其額ニ對スル權利者ハ訴訟ヲ起スコトノ代リトシ  
テ若クハ之ニ附帶シテ地方裁判所ニ向ヒ收納官ノ任命ヲ請求スルコトヲ得  
斯ノ如クシテ任命セラレタル收納官ハ該裁判所ノ指揮ニ從ヒ時々地方收入  
若クハ財用ヨリ支拂ヲ怠リタル額及自己ノ收納官タル間ニ於テ此ノ如キ證

券ニ關シテ償還セラル、モノ、外收納官ノ任命并ニ本條ニ據リテ其義務ヲ  
履行スルニ付キ要スル一切ノ費用及其勤務ニ對スル至當ノ報酬ヲ支拂フニ  
足ルヘキ金額ヲ徵收シ前陳ノ支拂ヲ爲シタル後殘餘アルトキハ之ヲ地方廳  
ニ還付スヘシ

満期償還若クハ償還許可高ニシテ地方收入ニ其負擔ヲ課スル場合ニ於テハ  
收納官ハ本條ニ從ヒ徵收スヘキコトヲ許サレタル金員ヲ地方收入ヨリ徵收  
スヘシ而シテ此目的ニ向ヒテ出納官ハ地方收入ヲ賦課スル地方廳ト同一ノ  
權力ヲ有シ地方收入ニ關スル地方廳ノ諸書類ハ自在ニ之ヲ使用スルコトヲ  
得満期償還若クハ償還許可高ニシテ其負擔ヲ地方收入ニ課セス其財産ニ課  
スル場合ニ於テハ收納官ハ本條ニ據リ徵收ヲ許サレタル高ヲ財産ノ貸付料  
及利益ノ收入ヨリ徵收スヘシ其證券ニシテ此條例ニ記載スル如ク抵當物件  
ヲ賣却スルモノナルトキハ裁判所ノ指示スル方法順序ヲ以テ其財産ヲ賣却  
シ償還ニ要スル高ヲ徵收スヘシ

地方裁判所ハ本條ニ據リ地方收入ノ徵收又ハ全部若クハ當該裁判所ノ管轄



内ニアル財産ニ關シテ收納官ヲ任命スルコトヲ得其進退關涉ハ地方廳ノ權内トス面シテ本條ニ定ムル所ノ事件ヲ實行スルニ必要ナリト認ムルモノハ收納官ノ權利義務其他同官ノ收入スル金員ノ使用上ニ付キ命令指揮ヲ爲スコトヲ得

第八章 公債ノ償還

第十三條 此條例ニ定ムル方法ニ於テ借入レタル各公債ハ證書ノ日付ヨリ起算シテ定期限内ニ償還シ若シテ其期限ヲ定メサルトキハ本條例ニ於テ意味スル特定期限タル二十ヶ年以内ニ償還スルモノトシ其償還ハ次ニ掲クル方法ノ内其一箇若クハ二箇以上ノ方法ニ據ル即チ特定期限内ニ於テ終ルヘキ年金證書ノ發行毎年平等ノ額ヲ支拂ヒ特定期限ニ至ルマテニ若クハ特定期限以内ニ於テ全額ノ拂戻ヲ保證スルニ足ルヘキ金額ヲ支拂フヘキ債券ノ發行右公債ノ一部ノ償還ニ對シ毎年其額ヲ定ムルコト或ハ基金ノ設置ヲ規定スル場合ニ於テハ之ヲ設置シ此條例ニ定ムル方法ニ

公債ノ償還ハ特別定期限内ニ於テ之ヲ爲ス

據リテ償還スルコト

第十四條 公債ノ全部若クハ其一部ノ償還ノ爲メ年額ヲ割付クル場合ニ於テハ地方廳ハ特定期限若クハ其以内ニ於テ右公債ノ全額若クハ其一部及其利子ヲ支拂フニ足ルヘキ金額ヲ毎年徵收シ其定額ヨリ毎年右公債ノ全額若クハ其一部ニ係ル利子ヲ支拂ヒ其殘餘ハ債券ノ場合ニ於テハ其償還負債證ノ場合ニ於テハ之ヲ以テ證明スル元金ノ支拂ニ充ツヘシ

毎年支拂フヘキ債券若クハ負債證ノ一部ハ債券若クハ負債證發行ノ時ニ於テ定メタル方法又ハ其後ニ於テ設ケタル方法ニ據ルモノトシ債券若クハ負債證ノ一部ニシテ抽籤ヲ以テ其支拂ヲ定ムル場合ニ於テハ抽籤ハ地方主任官及債券若クハ負債證ノ所有者ノ立會ヲ欲スル者ノ眼前ニ於テ之ヲ行フモノトシ地方廳ハ一ヶ月ヨリ少カラサル期日以前四週間毎週少クトモ一回抽籤ノ時日及場所ヲ地方廳管轄内ノ地ニ配達セラル、新聞紙ヲ以テ告示スヘシ前項ノ手續ニ據リ債券若クハ負債證ヲ支拂ヒタル後證書額面ニ滿タサル小

年額ノ割付ニ據リテ償還スルコト

公債論



額ノ殘餘アルトキハ之ヲ翌年度へ繰起シ翌年度ニ於テ徵收スヘキ年額ニ編入スルモノトシ抽籤其他償還ノ爲メニ要スル費用ハ總テ之ヲ地方廳ノ負擔トシ通常歳入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第十五條 公債ノ全部若クハ其一部ニ對シ減債基金ノ設置ヲ規定スル場合ニ於テハ地方廳ハ次ニ記載スル方法ヲ以テ之ヲ設置スヘシ

- (一) 毎年若クハ半年毎ノ同一ノ金額ヲ減債基金ニ繰入ルモノトシ此金額ハ特ニ定メタル歩合若クハ其歩合ヲ特ニ定メサルトキハ地方廳ノ意見此金額ヲ放下スル證券ハ別ニ定ムル所ニ據ルヲ以テ特ニ定メタル時期ヲ超過セサル期限ノ終リニ於テ一切ノ費用ヲ扣除シ右公債若クハ其一部ヲ償還スルニ足ルヘキ歩合ヲ定メ利倍増殖ノ法ヲ以テ之ヲ貯蓄ス
- (二) 初度ノ繰入ハ公債ノ日付ヨリ一ケ年以内ニ之ヲ爲スヘシ
- (三) 減債基金ニ繰入レタル金額ハ主任官ニ於テ成ルヘク速ニ規定ノ方法ニ依リ之ヲ放下スヘシ

其之ヲキ場合若クハ其規定後地方政務院ノ許可スル場合ニ於テハ便宜一

時ノ處分トシテ法律ヲ以テ主任者ニ放下スルコトヲ許セタル保證又ハ此

條例ニ據リ發行シタル債券負債證若クハ年金證書ニ之ヲ放下スヘシ  
放下ノ物件ハ時々之ヲ變更スルコトヲ得而シテ基金ノ放下ヨリ生スル利子割賦金其他ノ年額ハ地方主任官ニ於テ之ヲ減債基金ニ繰込ミ前項同様ノ方法ヲ以テ之ヲ放下スヘシ

(四) 公債ノ全部若クハ其一部ノ償還ノ爲メニ設置シタル減債基金ノ全部又ハ一部ハ地方主任官ニ於テ時々正當ノ目的ノ爲メ之ヲ使用スルコトヲ得且ツ減債基金ハ右公債ノ全部若クハ其一部ノ償還ヲ了ルニアラサレハ之ヲ他ノ用途ニ使用スルヲ得ス

(五) 債券若クハ負債證ノ支拂ノ爲メ便宜減債基金ヲ使用スルハ債券若クハ負債證發行ノ時ニ於テ定メタル方法又ハ其後ニ於テ設ケタル方法ニ據ルモノトシ面シテ抽籤法ヲ以テ債券若クハ負債證ノ一部ヲ支拂フ場合ニ於テハ抽籤ノ執行及告示ハ此條例ニ記載スル方法ニ據ルヘシ

(六) 公債若クハ其一部ヲ償還スル爲メ設ケタル減債基金ニシテ償還ヲ了セ



後殘餘アルトキハ其地方ニ屬スル他ノ減債基金ニ之ヲ繰入ルヘシ他ニ減債基金ナキトキハ地方廳ハ地方政務院ノ認可ヲ得テ其必要ナリト認ムル所ノモノニ之ヲ使用スルコトヲ得

(七) 減債基金ノ幾分ヲ地方廳發行ノ證券ニ放下シ又ハ之ヲ以テ特ニ定メタル時期前ニ其公債ノ支拂ニ使用シタル場合ニ於テハ右ノ證券若クハ公債ニ係ル利子ハ減債基金ニ繰入レ此條例ノ方法ニ據リ之ヲ放下スヘシ

(八) 減債基金ヨリ生スル毎年ノ所得ニシテ之ヲ以テ償還スヘキ公債若クハ其一部ノ未償還額ニ係ル毎年ノ利子ノ金額ニ超過スルトキハ本條ニ據リ繰入ルヘキ毎年同額ノ拂込ハ之ヲ停止スルコトヲ得

第十六條 一公債若クハ其一部ノ償還ノ爲メ減債基金ヲ設ケタル場合ニ於テハ右ノ公債若クハ其一部ノ完済ニ至ルマテハ地方廳ハ毎年度經過後二十一日以内ニ地方政務院ノ時々揭示スル書式及方法ニ從ヒテ報告書ヲ調製シ之ヲ同院ニ提出スヘシ右ノ報告書ニハ毎年度中放銀シ若クハ使用シタル金額、放銀シ爲シタル證券ノ種類同年限間減債基金ヨリ使用シタル目途並ニ同年

減債基金ニ關スル年報

ノ終リニ於テ存在スル放銀高ノ全額ヲ記載スヘシ地方政務院ニ於テ右ノ報告若クハ其他ノ方法ニ據リ地方廳ノ所爲減債基金ニ關シ此條例ノ規定ニ違背スルモノアリト認ムル場合ニ於テ同院ハ地方廳ニ於テ訊問ヲ受ケンコトヲ望ムトキハ之ヲ訊問シクハ後命令書ヲ以テ支拂ヲ怠リタル金額ヲ徴收シ之ヲ減債基金ノ一部トシテ放銀シ又ハ使用スヘキコトヲ命令ス此命令ハ執行命令書ヲ以テ之ヲ爲シ執行ノ義務アルモノトス

補則

第一章 利札ノコト

第十七條 此條例ノ債券若クハ無記名證書ニ對シテハ其償還満期マテノ利札又ハ其中途マテノ利札ヲ發行スルコトヲ得此場合ニ於テハ利札ヲ附シタル期限ノ終リタルトキハ更ニ新規ノ利札ヲ發行シ又ハ利札ノ切離ナ了リタルモノハ後年マテノ利札ヲ附シタル他ノ債券若クハ無記名負債券ト交換スルコトヲ得

公債論

一時ノ利札發行



第十八條 所有者ノ差圖ニ依リテ支拂ハルヘキ利札ハ其支拂ニ際シ記名者ノ裏書ヲ爲セルコトノ申告アルニ於テハ金員ヲ支拂フ人ノ爲メ其利札ニ對スル金額ヲ其持參人ニ支拂フニ足ルヘキ證據タルヘシ右利札ノ支拂人ハ最初ノ裏書者クハ追次ノ裏書ハ利札ノ記名者ノ命令若クハ其許可ニ據リテ爲サレタルモノナルヤ又ハ其利札ハ或ル裏書者ニ於テ誰ノ爲メニ支拂ハルヘキモノトナセシヤヲ證明スルノ義務アルコトナシ利札ノ表面ヲ横切り二線ヲ施シ其二線ノ間ニ銀行家ノ氏名若クハ「及會社」ナル文字ヲ其全字又略字ニテ記載シ若クハ押印アル場合ニ於テハ右ノ書入ハ利札ノ要部ヘ認ムルモノニシテ右利札ノ仕拂人ニ對スル差圖ノ効力ヲ有シ其仕拂ハ指名セラレタル銀行ニ限り又ハ之ヲ通シテ爲スモノトス銀行家ノ氏名ヲ記セサル場合ニ於テハ或ル銀行家ニ限り又ハ之ヲ通シテ支拂ヲ爲スモノトス

編者曰ク線引利札ハ銀行家ニ限り之ヲ支拂フモノニシテ其一個人ニ支拂ヲ要スル場合ニ於テハ一旦銀行家ニ支拂ヒ其手ヨリ一個人ニ金員ヲ交付スルモノナリ

第十九條 此條例ノ債券若クハ無記名負債券ニ付屬スル利札ハ印紙稅ニ關スル條例ノ目的ノ爲メニ已ニ印紙ヲ貼付シアルト同一ノ保證ヲ以テ發行セラレタルモノト見做スヘシ

第二章 無記名負債券

第二十條 無記名負債券所有者ハ其證書并ニ之ニ附屬スル未拂利札ヲ地方廳ニ納付シテ該證書ニ記載セラレタル債額ノ所有者トシテ地方廳ノ登錄簿ニ其氏名ノ記入ヲ請フコトヲ得然ルトキハ右ノ證書ハ記名債券トナリ其利子ハ無記名負債券ノ發行セラレサル時ノ振合ヲ以テ仕拂ハルヘシ

第二十一條 負債證ノ受託人ハ其受託約條ニ依ルニアラサレハ無記名負債券ノ交付ヲ請求シ若クハ之ヲ所持スルヲ得ス此規定ニ違背スルモノハ受託ノ約條ヲ破リタルモノト見做スヘシ但此規定ハ無記名負債券ヲ請求スル者ハ果シテ受託人ナルヤ否ヤヲ考查スルノ義務若クハ受託人ニ向ヒテ該證書ヲ發行スルコトニ關スル一切ノ責任ヲ地方廳ニ負ハシメヌ又發行セラレタル證書ヲ無効タラシムルコトナシ



第三章 證券ノ効力及供給

第二十二條 此條例ノ債券無記名負債券及年金證書ニ地方廳ノ法人體タル場合ニ於テハ其廳印ヲ押シ其法人體ニアラサル場合ニ於テハ同廳員二人以上記名捺印シアルカ又ハ其他地方廳ノ法人體タルト否カラサルトニ拘ハラズ其請願ニ依リ地方政務院ノ指示スル方法ニ準據スルモノナルトキハ總テ有効ノモノト見做スヘシ  
内地歳入委員ハ地方廳ノ要求アルトキ且ツ同廳ニ於テ大藏省ノ認可ヲ得テ至當ナリト思惟スル金額ヲ拂込ミタルトキハ此條例ノ債券無記名負債券利札並ニ年金證書ヲ地方廳ノ指示スル如キ材料ヲ以テ其指示スル様式ニ從ヒテ製造シ之ヲ供給スヘシ

第四章 記名保證書ノ登録

第二十三條 此條例ニ據リ記名債券記名負債證券若クハ記名年金證書ヲ發行スル地方廳ハ簿書ニ證書ノ登録ヲ爲シ左ノ事項ヲ記入スヘシ  
(一)各證券ニ付キ所有者ノ氏名住所並ニ身分及人別ニ屬スル證券ノ種類

記名證書ノ登録

(二)各人ノ氏名ヲ右證券ニ關シ登録簿書ニ記入セシ目付  
本條ノ登録ハ此條例ニ據リ記入スルコトヲ指示シ若クハ許可セラレタル諸般ノ事件ノ證左タルヘシ

登録簿ノ監査

第二十四條 何人タリトモ正當ノ時期ニ於テハ地方廳ノ定ムル所ノ二シルリシグニ超過セサル手数料ヲ仕拂ヒ登録簿ヲ監査スルコトヲ得又地方廳ノ時々定ムル二シルリシグ六ペンスニ超過セサル手数料及七十二字詰ノ一葉ニ對シテ二ペンスヲ拂ヒ登録者ヨリ其保證スル登録簿ノ抜萃ヲ得ヘキ權利ヲ有ス且其保證セラレタル抜萃ハ證左トシテ之ヲ用フルコトヲ得

登録簿ノ更正

第二十五條 充分ノ理由ナクシテ登録簿ニ各人ノ氏名ヲ記入シ若クハ之ヲ脱漏シ又ハ其記入ニ過失アリ若クハ之ヲ遅延スルコトアルトキハ之カ爲メ損害ヲ蒙ル者若クハ地方廳ハ登録簿改正ノ命令ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得請求者ノ費用ヲ支辨シ若クハ支辨セシメテ爲ス所ノ請求ヲ受理スルト否トハ裁判所ノ權内トス又登録者ニ於テ過失アリタルヤ否ヤニ付起訴スルノ理由アリトスルトキハ登録簿更正ノ命令ヲ爲シ且請求ノ費用若クハ被害者ノ



要債ノ仕拂ニ關シ同裁判所ハ其正當ナリトスル所ノ命令ヲ發スルコトヲ得  
裁判所ハ本條ニ據リ生スル訴訟ニ於テ登錄簿ノ氏名ヲ誤記脱漏ノ爲メ損害  
ヲ被リタリトスル者ノ權利ニ關スル問題ヲ裁決シ且一般ニ登錄簿ノ更正ニ  
付裁決スルノ必要又ハ有用ナル問題ヲ裁決ス

本條ノ目的ニ從事スル裁判所ハ女皇陛下ノ上等裁判所若クハ衡平裁判所若  
クハ裁判所ノ判決權ヲ移シ得ヘキ裁判所クルヘシ又訴訟ニ關係スル諸券ノ  
價格五十[ポンド]ヲ超過セサル場合ニ於テ郡裁判所ヲ含有ス而シテ此條例ニ  
據リ上等裁判所ニ與ヘラレタル判決者ハ急訴ノ手續ヲ以テ之ヲ施行スルコ  
トヲ得

第五章 公債ノ認可

證券發行  
ノ認可

第二十六條 地方廳ハ此條例ニ從ヒ證券ヲ發行シ公債ヲ起サントスルトキハ  
地方政務院ニ稟請シテ其認可ヲ受クヘシ  
地方政務院ニ於テ右ノ發行ヲ認可セントスルトキハ該院ハ地方廳ニ向ヒ其  
財政上ノ狀況起債ノ能力及此條例ノ發布以前若クハ以後ニ於テ其負擔セル

負債ノ景況ヲ該院ノ指定スル書式並ニ各事項ニ從ヒ證左ニ基キテ記載セル  
報告書其他本條ニ據リ起債ニ際シテ申報ヲ要スル事實ヲ同院ニ於テ確知ス  
ルニ足ルヘキ明細書ヲ要求シ右ノ報告書ニ記載セル事實ノ正否ヲ確知スル  
爲メ其有用ナリト認ムル所ノ調査若クハ尋問ヲ爲スコトヲ得而シテ同院ハ  
其申告並ニ尋問ノ結果ヲ以テ満足ナルニアラサレハ起債ノ認可ヲ爲スヲ得  
ス認可ヲ得タル證券ノ發行ハ地方政務院ノ時々指示スル證券若クハ其他ノ  
モノニ官印ヲ押捺スルニアラサレハ其効力ヲ有セス

證券ニ關スル地方政務院ノ認可ハ右ノ證券ヲ發行スル地方廳ニ於テ之ヲ發  
行スルノ權ヲ有シ且其發行ノ正當ニシテ此條例ニ準據セルコトヲ證スル所  
ノ終局ノ證左トス

認可ヲ經テ發行シタル證券ノ所有者ハ次ニ舉クル事項ノ辯明書ノ交付ヲ地  
方政務院ニ向ヒテ請求スルコトヲ得

證券ノ支拂ヲ收入ニ課スル場合ニテハ右ノ保證券發行ノ日ニ於テ右收入  
ヲ生スル財産ノ收入價格其仕拂ヲ財産ニ課スル場合ニ於テハ右財産ノ算



定價格又其證券ト其地方廳ノ他ノ公債トニ相關スル相對ノ先拂權  
而シテ右ノ辯明書ハ之ニ載記セル事項ノ證左タルヘシ

第六章 此條例ノ公債ニ對スル放銀ノコト

受託人ノ  
此條例ノ  
公債ニ向  
ヒテ放銀  
スルノ權  
利

第二十七條 鐵道會社若クハ其他ノ會社ノ債券若クハ負債證ニ金員ヲ放下ス  
ルコトノ許可又ハ命令ヲ受ケタル受託人若クハ其他ノ人ハ委任狀ニ於テ之  
ヲ禁スルニアラサレハ前記ノ債券若クハ負債證ニ金員ヲ放下スルト同様此  
條例ニ據リ發行セラレタル記名債券若クハ記名負債證ニ向ヒテ放銀ヲ爲ス  
ノ權利ヲ有ス

工業公債  
委員ノ此  
條例ノ證  
券ヲ徵ス  
ルノ權

第二十八條 工業公債委員此條例ノ發布以前若クハ其以後ニ發令セラレタル  
條例ニ從ヒテ地方廳ニ金員ヲ貸付スルコトヲ許サレ其貸付金ノ仕拂ヲ課シ  
タル收入若クハ財産ハ右貸付金ノ償還ヲ全フスルニ足ルモノトスル場合ニ  
於テハ他ノ條例ノ條項ニ拘ハラズ右貸付ニ對シ此條例ノ債券負債證若クハ  
年金證書ヲ徵スルコトヲ得

第七章 通則

附則ノ適  
用

第二十九條 記名證券ノ讓與賣買ニ關スル此條例附則ノ通則ハ此條例ノ明文  
ト等シキ効力ヲ有ス

通則ヲ設  
クル權力

第三十條 地方廳ハ時々地方政務院ノ許可ヲ得テ次ノ事項ニ關シテ其適當ナ  
リト認ムル規則ヲ設ケ且ツ既定ノ規則ヲ廢止變更スルコトヲ得

(一) 利札ノ發行證券ノ登録記名證券ノ受授ノ方法登録及其他此條例ニ據リ發  
行セル證券取扱ニ關スル手数料徵收ノ方法

(二) 此條例ニ抵觸セサル限り此條例施行上ニ要スル諸般ノ事項  
又地方廳ハ右ノ規則ニ據リテ附則中ニ設クル規則ヲ廢置變更スルコトヲ  
得

本條ニ據リ地方廳ノ設クル規則ハ此條例ト抵觸セサル限りハ此條例中ノ  
明文ト等シキ効力ヲ有ス  
但本條ニ據リ廢置變更シタル規則ハ未來ニ於テ發行スル保證券ニ適用セ  
ス

第八章 借入

公債論



地方廳ノ  
借入及再  
借入ヲ爲  
スコト

第三十一條 地方廳ハ此條例以前ノ發布ニ係ル條例ノ規定如何ニ拘ハラズ適  
當ナリト認ムルトキハ借入ヲ許サレタル公債ヲ此條例ニ設クル方法ニ於テ  
借入ル、コトヲ得

地方廳ハ此條例ノ發布前若クハ發布後ニ於テ其法律ニ據リ起シタル公債償  
還ノ爲メ時々同一ノ方法ニ於テ再ヒ金員ヲ借入ル、コトヲ得但此ノ如クシ  
テ借入レタル金員ヲ償還スルノ時期ハ地方政務院ノ認可ヲ受タルニアラサ  
レハ最初ニ起シタル公債ノ期限ヲ超過スルヲ得ス且ツ如何ナル場合ト雖モ  
特ニ定メタル期限ヲ超過スヘカラス

第九章 證券ノ偽造並ニ亡失

證券ノ偽  
造

第三十二條 偽造ヲ以テ處斷スヘキ罪科ニ關シテ英國ノ法典ヲ整集シ且修正  
スルノ條例ト稱スル女皇陛下第二十四年第二十五年ノ開會ニ於テ定メタル  
條例第九十八章ノ目的ノ爲メ此條例ノ負債券ハ法人ノ負債ト見做シ此條例  
ニ據リ發行シタル證券ハ義務アル證書ト見做シ且表面ヲ横切リ二線ヲ施シ  
其間ニ全字若クハ畧字ニテ銀行家ノ氏名若クハ及會社ナル文字ヲ記載シ又

證券ノ亡  
失

ハ押印シタル利札ハ銀行家ニ對スル引出小切手ト見做シ得ヘシ  
第三十三條 此條例ニ據リ發行シタル證券紛失若クハ消滅シタルトキハ地方  
廳ハ必要ナル補償及發行ノ費用ヲ徴シ紛失若クハ消滅シタル證券ノ代リニ  
新規ノ證券ヲ發行スヘシ

第十章 解釋

解釋

第三十四條 此條例ノ目的ニ關シ

〔特定〕トハ金員ヲ借入ル、ノ權ヲ地方廳ニ附與スル條例ニシテ此條例ノ前後  
ニ發布ニラル、モノニ據リテ特ニ定メラレタルコトヲ意味ス

〔地方廳〕トハ州郡リバルチーライキング、パーツ若クハ州ノ區畫ニ於ケル政廳  
ノ總會市府議會又ハ如何ナル政廳ト雖モ此條例ニ解釋スルカ如キモノニシ  
テ收入ヲ徵收スルノ權アル者又ハ特ニ定メラレタル政廳ヲ意味スルナリ  
〔市府〕トハ英蘭及ウエイリスニ於テ市府法人體ノ支配ノ爲メ規定スル條例ト  
稱スルウイリヤム第四世ノ第五年第六年ノ開會ニ於テ定メタル條例第七  
十六章ニ基ク所ノ市府ヲ意味ス

公債論



「収入」トハ地方ノ公事ニ使用セラレ且財産ニ關スル賦課ノ基礎ニ據リ徵收スルモノヲ意味シ又當初ニ於テハ命令書證書若クハ其他或ル官廳若クハ官吏ヨリ仕拂ヲ要求スル書類ヲ以テ徵收スト雖モ終ニハ収入ノ支出ニ歸スル金高ヲ含有ス而シテ収入ノ徵收ハ前陳ノ如キ命令書證書若クハ書類ノ發行ヲ含有ス収入ノ徵收賦課作爲ニ關スル語辭ハ此ノ如ク解釋スヘシ

「地方収入」トハ前陳ノ如ク解釋セラレタル収入ニシテ地方廳ニ於テ收入スルノ權アルモノ又ハ書入若クハ其他ノ方法ニ依リ徵收スルノ權アルモノヲ意味ス

「證券」トハ債券、負債券、年金證書、利札若クハ此條例ニ據リ發行シタル持參人拂ノ證券ヲ意味ス

「人」トハ法人體若クハ法人體ニアラサルモノヲ含有ス

「遺囑管財人並ニ無遺囑管財人」トハ相續人ヲ含有ス

第十一章 削除及追加

第三十五條 (削除)

條例ノ目  
的ノ爲メ  
州ヲ法人  
トスルコ

第三十六條 州郡リバルチー「ライオング」(パーティツ)ニ於ケル官廳ハ其總會ニ於テ此條例ニ據リ證券ヲ發行スルトキハ其證券ニ關シテハ以上ノ官廳ノ名義若クハ右ノ如キ官廳ノ通常稱セラル名義若クハ又右ノ證券ヲ與ヘシ官廳ノ名義ニ依リテ法人ト見做サルヘク又右法人體ノ名義ヲ以テ以上ノ證券ニ關スル訴訟事件ニ付キテ訴訟シ若クハ起訴セラレ、コトヲ得ヘシ

附則

通則

記名證券ノ賣買授受

第一項 地方廳ノ時々指示スル所ノ數ヲ超ヘサル以上ハ數人同一ノ記名證券ノ共有者トシテ登錄ヲ受クルコトヲ得且ツ其證券ニ係ル權利ハ生存者ノ有ニ歸スルモノトス

第二項 地方廳ノ通則ニ據リテ別ニ指示スルモノアルニアラサレハ地方廳ノ發行セシ記名證券ノ讓渡證書ニハ讓渡人讓受人共ニ記名スヘシ而シテ讓受

公債論



人ノ氏名ヲ登録簿ニ記入スルマテハ讓渡人ヲ以テ右證券ノ所有者ト見做スヘシ

第三項 記名證券ノ讓渡記入簿ハ毎年二回ヨリ多カラス毎回十四日ヲ過キサ  
ル日限中地方廳ノ指示スル時期ニ於テ閉鎖スルコトアルヘシ

記名證券ノ讓與

第四項 記名證券ノ所有者死亡シタルトキハ地方廳ハ其遺囑管財人若クハ無  
遺囑管財人ノヨチ右證券ノ權利者ト認ムヘシ

第五項 所有者ノ死亡若クハ身代限又ハ女子所有者ノ結婚ニ因リ其記名證券  
ニ對シテ權利ヲ得ヘキ人ハ地方廳ノ時々指示スル證據ヲ舉示スルノ後ニア  
ラサレハ其所有者トシテ登録ヲ受クルヲ得ス

第六項 地方廳ノ規則ニ據リ別ニ指示スルモノアルニアラサレハ所有者ノ死  
亡若クハ身代限又ハ女子所有者ノ結婚ニ因リ其記名證券ニ對スルノ權利ヲ  
得ヘキ人ハ自身登録ヲ受クル代リニ他人ヲ撰定シ其證券ノ讓受人トシ登録  
ヲ受ケシムルコトヲ得

第七項 前項ノ如キ權アル人ハ其證券ノ讓渡證書ヲ其指名人ニ附與シ以テ其  
撰定ヲ證明スヘシ

第八項 讓渡證書ハ地方廳ノ要スル如ク認メタル讓渡人ノ權利ヲ證明スルノ  
證據書ヲ之ニ添付シテ同廳ニ差出スヘシ地方廳ハ之ニ據リ其讓受人ヲ所有  
者トシ登録スヘシ

第九項 此附則ニ於テ「記名證券」ナル語ハ記名債券記名負債證券若クハ記名年  
金證券ヲ意味ス

右ハ英國地方債條例ノ全文ニシテ條項頗ル多ク事或ハ細微ニ失スルモノナキ  
ニアラスト雖モ又以テ大ニ見ルヘキモノナントセス因テ之ヲ掲載シ看客ノ參  
考ニ供セリ

第二項 佛國

第一節 法律規則

佛國ハ一ノ完全ナル地方債條例ヲ有セス西曆千八百三十八年五月十日ノ郡縣



會法同千八百五十二年三月二十五日ノ地方分權令同千八百六十六年七月十八日及同千八百七十一年八月十日ノ縣會法ヲ以テ縣債ノ事ヲ定メ西曆千八百三十七年七月十八日同千八百六十七年七月二十四日ノ市町會法ヲ以テ市町債ノ事ヲ定メタリ請フ此ニ地方債ニ係ル法律規則ノ條項ヲ陳述セン

西曆千八百三十八年五月十日ノ郡縣會法中公債ニ係ルモノハ左ノ如シ

第三十四條 縣費供給ノ爲メ縣會ニ於テ縣債募集ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テ其負債ヲ起スハ一法律ニ據ルヘシ

西曆千八百五十二年三月二十五日ノ地方分權令附錄ニ掲クル知事委任條件中公債ニ係ルモノ左ノ如シ

第十一項 縣債募集ヲ許可スル所ノ法律ニ據リテ定メラレタル範圍内ニ於テ縣債ノ證書ヲ競賣スルコト

第三十七項 償還期限十年ヲ經過セサル縣債ヲ起スコト但其償還ハ其縣ノ經常歲入ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ルカ又ハ知事ノ權内ニアル臨時附加税ノ徵収ヲ以テ之ヲ爲スヲ要ス

臨時附加税徵收ニ付キテノ知事ノ權利ハ載セテ前記地方分權令附錄ニアリ其明文左ノ如シ

第三十六項 任意費支辨ノ爲メ臨時附加税ヲ徵收スルコト但其年限ハ五ヶ年其歩合正税二「フラン」ニ付二十「サンチム」ヲ超過スルヲ得ス

然レトモ右ノ第三十七項及第三十六項ハ西曆千八百五十三年六月十日ノ縣債及區債借換法第四條ヲ以テ之ヲ廢止シ縣債ヲ起スニハ復タ一法律ヲ要スルモノトナレリ右ノ縣債及區債借換法ハ當時ノ地方債ヲ處分スルノ目的ヲ以テ發布シタルモノニシテ永久ノ法ニアラスト雖モ其條項中參考スヘキモノナキニアラス今其全文ヲ掲出スルハ敢テ無用ノ業ニアラサルヘシ

第一條 政府ハ千八百五十三年ノ開會ト千八百五十四年ノ開會トノ間ニ縣若クハ區ノ請求ニ據リ行政規則様ノ勅令ヲ發シ其地方ノ現在ノ公債ヲ期限長キ新公債ト借換償還スルコトヲ許可スルヲ得但其縣若クハ區ハ十萬フラン以上ノ歲入ヲ有スルモノタルヘシ

新債ハ元利ヲ包含スル年金ヲ以テ之ヲ償還シ其期限ハ五十年ヲ超過スルヲ



得ス

第二條 新債ニ係ル條項及借換ニ係ル取扱ノ方法ハ其借換ヲ許可スル所ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

期限内ニ於テ年金ノ仕拂ヲ保證スル必要ノ方法ハ縣若クハ區ノ開申ニ據リ右ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 舊債償還ノ爲メ徵收セシ臨時附加税及入市税ハ借換ノ爲メ歳出ノ減少スルニ度比例シ之ヲ減少スヘシ

第四條 千八百五十二年三月二十五日ノ地方分權令ノ甲號附錄第三十六項及第三十七項ハ之ヲ廢止ス

第五條 此法律第一條ニ記載セル期限滿期ノ際ニ借換ニ係ル計算書ヲ調製シ之ヲ國皇ヘ進呈シ立法院ヘ報告スヘシ

此計算書ニハ縣區共借換ラレタル負債ノ性質原因使用ノ結果新債ノ條項及臨時附加税及入市税ノ減少高ヲ記載スヘシ

是レ佛國カ當時地方債ヲ處分セシノ方法ナリ地方ノ經濟或ハ非常ノ費用ヲ要

シ或ハ舊債ノ爲メニ苦シムコトナシトセス市場ノ景況ニ依リテハ地方債ト雖モ低利ノ借換ヲ行ヒ利子ヲ減シ場合ニ據リテハ新債ヲ起シテ舊債ノ償還ニ宛ルノ要ナキヲ保セサルナリ

西曆千八百六十六年七月十八日ノ縣會條例中縣會處理ノ事件中公債ニ係ル條項左ノ如シ

第一條 第十一項 公債募集金及當該年度内ニ於テ徵收セラレタル又ハ徵收スヘキ臨時附加税ノ收入金ノ使用

第二條 縣會ハ毎年ノ歲計豫算ヲ以テ定メタル最高率以内ニ於テ其縣ノ爲メ要用ナル臨時費支辨ノ爲メ臨時附加税ヲ決議スルコトヲ得

前項ノ臨時附加税若クハ經常收入ヲ以テ十二年ニ償還シ能フ所ノ縣債ハ縣會ニ於テ之ヲ決議スルコトヲ得

第五條 知事ハ毎年區債及前會以來決議セラレタル區ノ臨時附加税ニ係ル總テノ事項ヲ各區ノ負擔スル臨時附加税及負債ノ總額ト共ニ縣會ニ報告シ又一等村道其他一般ノ利益ニ關シ區收入ノ使用年報ヲ縣會ニ證明ス



西曆千八百七十一年八月十日ノ縣會法中地方債ニ係ル條項ハ左ノ如シ

第四十條 法律ニ據リ徵收ヲ許サレタル附加税ハ縣會ニ於テ之ヲ決議ス

縣會ハ歲計豫算法ニ據リ毎年決定セラレタル最高率以内ニ於テ臨時附加税ヲ決議スルコトヲ得

經常歳入及臨時歳入ヲ以テ十二ヶ年以内ニ於テ償還スヘキ縣債ハ縣會ニ於テ之ヲ決議スルコトヲ得

第四十一條 縣會ニ於テ前條ノ制限内ニ於テ臨時附加税若クハ縣債ヲ決議セシトキハ其收入若クハ負債ハ一法律ヲ以テ之ヲ許可ス

區債ハ重ニ西曆千八百三十七年七月十八日ノ區制法ニ據リ規定スルモノナリ今右法律ノ條項中公債ニ係ルモノヲ掲クレハ左ノ如シ

第二十一條 區會ハ左ノ事項ニ付其説ヲ開申スル爲メ招集セラル、モノトス  
(第一項以下第四項マテ公債ニ關係ナキヲ以テ略ス)

第五項 區債募集許可ノ件

第四十一條 歳入額十萬フランニ滿タサル區ニ於テハ行政規則様ノ勅令ニ據

ルニアラサレハ公債ヲ起スヲ得ス右金額以上ノ歳入ヲ有スル區ニ於テハ一法律ニ據ルニアラスンハ公債ヲ起スヲ得ス

然レモ非常必要ノ場合及國會閉會ノ間ニ起リタルモノハ十萬フラン以上ノ歳入ヲ有スル區ニ於テハ行政規則様ノ勅令ニ據リ歳入ノ四分ノ一以内ノ額ヲ限リ公債ヲ起スコトヲ得

第四十二條 歳入額十萬フラン未滿ノ區ニ於テ臨時附加税若クハ公債ヲ起サントスルトキハ區會ト同數ノ最高納税者ヲ招集シ區會ト共ニ起債ノ當否ヲ討議スヘシ

最高納税者ニハ少クトモ開會ノ十日前ニ區長ヨリ各人宛ニテ招集ノコトヲ通知スヘシ

最高納税者不在ナルトキハ順次多額ノ納税者ヲ招集シ必要ノ數ヲ滿スヘシ西曆千八百六十七年七月二十四日ノ區會法中公債ニ係ル條項左ノ如シ

第三條 區會ハ毎年縣會ノ定ムル所ノ最高率以内ニ於テ公用ノ爲メ五ヶ年ノ間五サンチームヲ超過セサル附加税ヲ決議スルコトヲ得



又區會ハ特ニ普通村道費ノ爲メ正税ニ「フラン」ニ付三「サンチム」ノ臨時附加税ヲ決議スルコトヲ得

區會ハ第一項ノ臨時收入若クハ經常收入ヲ以テ償還スヘキ區債ノ募集及其取扱方法ヲ決議スルコトヲ得經常收入ヲ以テ償還ニ充ル場合ニ於テハ其償還ノ期限ハ十二ケ年ヲ超過スルヲ得ス

區長區會ノ決議ニ同意セサルトキハ其決議ハ知事ノ承認ヲ經ルニアラサレハ執行ノ効力ナキモノトス

第五條 次ノ事項ハ知事ノ承認ヲ經ス區會ニ於テ之ヲ決議スルコトヲ得

第一 縣會ノ定メタル最高率以内ニ於テ「五」「サンチム」以上ノ臨時附加税ノ徵收但其期限ハ十二ケ年ヲ超過スルコトヲ得ス

第二 前項ノ臨時收入若クハ經常收入ヲ以テ償還期限十二ケ年ヲ超過スル公債ノ募集

第六條 千八百三十七年七月十八日ノ法律第十八條ハ此法律ノ第一條及第三條ノ執行ニ於テ區會ノ決議ニ適用ス同法律第四十三條ハ此法律第三條及第

五條ノ執行ニ於テ區會ノ決議シタル臨時附加税及公債ニ適用ス

第七條 縣會ニ於テ定メラレタル最高率ヲ超過スル所ノ臨時附加税及臨時收入ヲ以テ償還スルモノニシテ其期限十二ケ年ヲ超過スル區債ハ總テ勅令ヲ之ヲ以テ許可ス

右ノ勅令ニシテ十萬「フラン」以上ノ歳入ヲ有スル區ノ爲メニスル者ナルトキハ參事院ノ同意經ヘキモノトス

新ニ起スヘキ區債百萬「フラン」ヲ超過シ又ハ現在ノ區債ト合シテ其額百萬「フラン」以上ナルトキハ一法律ニ據ルニアラサレハ之ヲ起スコトヲ得ス

西曆千八百三十七年七月十八日ノ法律第十八條及第四十三條ハ左ノ如シ

第十八條 前條ニ記載スル條件(區會ノ決議條件ナリ)ノ決議ハ寫ヲ以テ區長ヨリ直ニ副知事ニ送付シ副知事ハ之ニ對シテ領收書ヲ發ス領收書ノ日付ヨリ三十日以内ニ法律若クハ行政規則違反ノ廉又ハ決議ニ關係アル者ノ爲メ不利ナリトシテ知事ノ職權ヲ以テ之ヲ取消サ、ルニ於テ右ノ決議ハ執行ノ効力アルモノトス



- 然レトモ知事ハ尙ハ三十日間右決議ノ執行ヲ行フコトヲ得
- 第四十三條 道路取締費ノ歩合ハ行政規則權ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 西曆千八百三十七年五月二十七日佛國政府ハ一訓令ヲ發シ區債募集ニ關シ知事ヨリ大藏大臣ヘ報告スヘキ簡條ト募集方法トヲ定メタリ其條項左ノ如シ
- 第一 最高稅納者ノ參與シタル區會ニ於テ爲シタル公債募集ノ決議償還ノ方法及期限最高納稅者ニシテ招喚ヲ受ケタル者ノ氏名及其出席人氏名
- 第二 國庫出納官ノ調製シタル最高納稅者姓名簿
- 第三 當該區ノ人口及其區會議員ノ數ニ係ル知事ノ證明書
- 第四 最高納稅者ノ招喚ハ開會ノ十日以前之ヲ爲シタルコトノ知事ノ證明書
- 第五 當該區ノ臨時附加稅ハ必要已ムヲ得サルモノナルコト
- 公債ノ現高及大藏省預金局ヘ預ケ金ノ有無ノ證明書但此證明書ニハ知事及出納官ノ連署ヲ要ス
- 第六 當該區ノ豫算高及追加豫算ナキ場合ニハ前年ノ高
- 第七 區債募集ノ目的ヲ詳細ニスル說明書

- 第八 償還ノ爲メ使用スル財源ノ明細書
- 第九 十萬フラン以上ノ歲入ヲ有スル區ニ於テハ最高納稅者出席ノコトハ之ヲ報告セサルモ妨ケナシ然レトモ前三ケ年間經常歲入ノ高ヲ報告シ引續キ十萬フラン以上ノ歲入アルヤ否ヤヲ證明スヘシ
- 公債ノ募集ハ左ノ方ニ據ルヘシ
- 第一 競賣法
- 第二 大藏省預金局トノ契約
- 第三 記名若クハ無記名ニシテ賣買授受シ得ヘキ證書ヲ發行スルコト
- 第四 籤札付ノ證書ヲ發行セントスルトキハ一法律ヲ以テ之ヲ許可ス
- 佛國地方債ニ係ル法律規則ノ條項凡ソ斯ノ如シ其利害得失ノ如キ前數章ニ於テ公債ノ事件ヲ研究セシ後ハ自ラ判然トシテ亦多辯ヲ要セサルナリ請フ今一步ヲ進メテ地方債ト大藏省預金局トノ關係ヲ説カン
- 第二節 地方債ト大藏省預金局トノ關係
- 佛國ノ大藏省預金局ハ縣若クハ區ノ需要ニ據リ之ニ貸付ヲ爲スコトアラテ其



借入ハ縣ヲ於テハ西曆千八百六十六年七月十八日及同千八百七十一年八月十日ノ法律區ニ於テハ西曆千八百三十七年七月十八日及同千八百六十七年七月二十四日ノ法律ニ從ヒ各其場合ニ據リ法律勅令若クハ縣令ヲ以テ之ヲ許可スルモノトシ此許可アリタルトモハ縣ニ於テハ知事區ニ於テハ區長其借入ヲ許可スル所ノ法律勅令若クハ縣令ノ寫及預金局ト借入ノ契約ヲ爲スル必要ナル權力ヲ知事若クハ區長ニ附與スル所ノ縣令若クハ區會ノ決議冊ヲ添付シ知事若クハ區長ヨリ預金局ヘ請求書ヲ差出シ借入ノ請求ヲ爲スモノトス

縣債若クハ差債ノ募集ヲ許可スル所ノ法律ニ於テ預金局ト契約ヲ爲ス代リニ競賣ヲ爲スモノトス此場合ニ於テハ預金局ハ法律ノ宣誓ヲ了シタル證明ヲ受ルニアラサレハ請求ニ應スルヲ得ス然レトモ法律ニ於テ競賣契約ノ兩法ヲ撰ブノ權ヲ許スニ於テハ知事若クハ區長ハ前陳ノ證明ヲ爲スヲ要ス

利子歩合及償還期限ハ預金局財源ノ都合ヲ以テ監督委員之ヲ定ム

債主ハ借入ノ爲メ西曆千八百五十年六月五日ノ法律ニ據リ定ムル所ノ證書ノ印紙稅ノ外他ニ費用ヲ負擔スルコトナク證書ハ年毎元金ノ若干ヲ支拂ヒ年

二期拂ノ利子札付ノモノ又ハ元利ヲ包含スル年金證書ニシテ債主ノ望ニ據リ之ヲ差出サシム

現金ハ月ノ五日十五日二十五日ニ於テ之ヲ國庫總仕拂官ノ信用ニ移シ債主ヘ交付ノ手續ヲ爲スモノトス

現金ハ成規ニ從ヒ調製シタル證書ト引換ニアラサレハ之ヲ交付セス而シテ證書ニハ縣ノ場合ニ於テハ知事縣ノ代表者トシテ之ニ記名シ區ノ場合ニ於テ區代表者トシテ區ノ收納官之ニ記名ス證書ハ既定ノ様式ニ從ヒ一枚又ハ數枚ニ之ヲ調製ス

負債ノ全額ヲ受取ラス其一部ヲ受取リタル場合ニ於テハ知事若クハ區長ハ毎年三月三十一日ノ兩度ニ利子ノ決算ヲ送ケ其受取リタル部分ニ對シ之ヲ支拂フモノトス而シテ利子ハ初メテ其受取リタル部分ニ對シテ支拂ヒ元金ノ減少スルニ從ヒ現ニ借入居ル高ノミ支拂フモノトス

元利金ノ支拂ハ指定ノ期日ニ於テ猶豫ナク巴里ニ於ケル預金局出納官ニ向ケテ之ヲナスヘ其拂込ハ現金佛蘭西銀行宛ノ切手郵便局爲換貯金預所ニ宛テ



スル切手又ハ國庫支拂切符ヲ以テ之ヲ爲スヲ得ヘシ然レトモ此等ノ切手ハ總  
テ元利金支拂期ニ於テ預金局カ現金ニ引返ヘ更ニ貸付ヲ爲シ得ヘキモノタル  
ヘシ若シ違フコトアレハ債主ハ其延滞セル日數ノ利子ヲ支拂ハサルヲ得ス  
貸付ノ高十萬フランニ二萬圓ヲ超過スルトキハ其貸付ノ許否ハ監督委員ノ決議  
ヲ要スルモノトス

右ハ佛人ブロッケ氏ノ行政字典ニ據ルモノナリ今又リオン、ゼイ氏ノ編纂ニ係ル  
財政字典中預金局ノ部ヲ見ルニ前記ノ遺漏ヲ補ヒ頗ル明了ナルモノアリ彼是  
對照スルニ於テハ亦以テ裨益ナシトモス故ニ少シク重複ノ嫌ナキニアラスト  
雖モ請フ左ニ其大要ヲ掲載セン

預金局ノ貸付事業ハ西曆千八百二十二年ニ始マリ爾來種々ノ變更ヲ經タリ當  
初該局ノ貸付ハ確實ナル資本家數人ノ連帶責任ヲ以テ一個人ニ貸付ルニアリ  
ト雖モ西曆千八百二十八年監督委員ハ右ノ如キ貸付ヲ廢止シ預金局ノ貸付  
ハ總テ抵當ヲ要スルモノトシ其抵當物件ハ公債證書ト共ニ市場ニ賣買セラル  
、モノニシテ貸付ノ金高ハ抵當物件ノ價格ノ九割ヲ超過スルヲ得サルモノト

セリ而シテ預金局ハ其在金ヲ縣區及公立集合體病院學校ノ如キモノニ定期貸  
付爲シ其額頗ル巨額ニ達シ一個人ヘノ貸付ハ殆ト其跡ヲ斷ツニ至レリ此等ノ  
貸付ハ普通ノ抵當物件ヲ取リ一個人ヘ貸付ヲ爲スヨリ大ニ便利ナルモノアリ  
何トナレハ其償還ハ地方若クハ公立ノ集合體ノ收入ヲ以テ之ヲ爲スモノニシ  
テ普通ノ抵當物件ノ如キ恐慌ニ際シ市場ニ於テ大ニ其價格ヲ減シ之ヲ賣却ス  
ルニ於テハ多少ノ損失ヲ來スモノト同日ノ論ニアラサレハナリ故ニ預金局ニ  
於テモ頗ル之ヲ便トセリ地方ニ於テモ亦廣ク資本ヲ市場ニ募集スルヨリ預金  
局一手ヨリ借入ヲ爲スノ便アレハ其額ノ増加スルハ實ニ雙方ノ便利ヨリ生ス  
ルモノト云フヘシ

貸付ヲ爲スニハ監督委員ノ決議ヲ要シ利子歩合償還期限等ハ市場ノ景況ト預  
金在金ノ多少ニ從ヒ多少借受者ノ便宜ヲ計リ之ヲ爲ス然レモ預金局ニ於テ貸  
付ノ高ハ其出納ニ不便ヲ來サス償還ハ不時ノ拂戻請求ノ最高額ニ應スルニ差  
支ナキ様ニ注意セサルヲ得サルハ勿論ノ事ナリ請フ今西曆千八百七十年ノ役  
以來ノ預金貸付ノ景況ヲ示サン



西曆千八百七十二年一月一日以降預金局ハ暫時其貸付ヲ停止セリト雖モ同千八百七十三年ノ年末ヨリ之ヲ再興シ利子歩合ハ一ケ年六分ニシテ償還期限ハ之ヲ十二年以内トセリ西曆千八百七十四年三月十八日利子歩合ヲ五分トシ同千八百八十年五月一日之ヲ四分トシ同千八百八十三年一月一日ニハ之ヲ四分ト四分ノ一同千八百八十四年十月一日之ヲ四分半ニ引上ケ同千八百七十九年六月以降ハ償還期限最長期ヲ十五ケ年トセリ

預金局ヨリ借入ヲ爲サントスルトキハ借主ハ其借入ハ法律ニ從ヒ許可セラレ正當ノ決議ヲ經タルモノナルヲ證明シ之ト同時ニ元利支拂ニ宛タル財源ヲ示スナ要ス預金局ニ於テ此等ノ證明ヲ以テ満足スルトキハ借主ニ對シ貸付ニ同意スル旨ヲ通シ償還表ヲ送付シ償還期限ヲ定メ西曆千八百五十年六月五日ノ法律ニ從ヒ適當ノ印紙ヲ貼用シタル該局ノ要スル所ノ證書ノ種類ヲ通知シ之ヲ徵シ證書ヲ受取リタル後貸付ヘキ金員ヲ借主ノ勘定トシテ金庫ヘ送付ス

預金ノ貸付ハ前以テ法律上ノ請求ヲ要セス巴里ニ於テ支拂フモノトシ現金ノ回送費ハ負債主ニ於テ之ヲ負擔ス地方國庫總支拂官ハ負債主ヨリ金員ヲ受取

リ之ニ對シ預金局總出納役ノ指揮ニ據リ支拂ハルヘキ國庫ニ宛テタル支拂切符ヲ負債主ニ交付スルコトヲ得

貸付金ニシテ期日ニ於テ巴里ニ於テ支拂ハレサルモノアルトキハ其期日ヨリ拂込ノ日マテ年五分ノ割ヲ以テ利子ヲ支拂フモノトシ特ニ預金局ノ同意ヲ經ルニアラサレハ期限前ニ償還ヲ爲シ又ハ延期スルコトヲ得ス

地方廳等ヘノ貸付ハ頗ル巨額ニ達スルモノニシテ其額ハ年々監督委員ヨリ之ヲ國會ヘ報告ス今此報告ニ據リ之ヲ見ルニ西曆千八百二十二年ヨリ同千八百八十五年マテノ貸付高ハ一億四千五百七十五萬三千四百七十七圓餘ニシテ西曆千八百八十五年十二月三十一日ニ於テ預金局ノ所有セシ地方廳等ノ負債證券ノ額面高二千二百十萬二千九百五十三圓餘其滿期マテニ支拂フ利子ノ高五百二十七萬二千四百四十九圓餘ナリ實ニ此貸付ハ預金局ノ爲ニ確實ナル資金放下ノ道ヲ開キ地方廳商法會議所病院等ノ爲メニハ低利ヲ以テ資金ヲ借入ル、コトヲ得國家經濟ノ爲メ頗ル利益アルモノト云フヘシ其地方廳等カ舊債償還ノ便利ヲ得又必要ナル建物ヲ新築若クハ修繕シ又墓地ノ移轉改良沼池市場屠獸所建



設等ノ如キ有用ナル工事ノ爲メ臨時費ノ供給ヲ得ルハ此貸付ニ頼ルモノ甚タ多シ而シテ政府モ亦之ニ據リ間接ニ國家ニ關スル事業及地方ノ利益ニ關スル事業ヲ經營スルコトヲ得今其一例ヲ舉レハ西曆千八百七十四年八月四日ノ法律ヲ以テ各地鎮臺兵營擴張ノ爲メ地方廳ニ貸付ヲ爲セシニ地方廳ハ其高キ政府ニ轉貸シ政府ハ年々兩度預金局ヘ支拂フヘキ年金ト同額ノ年金ヲ地方廳ニ支拂フ事トセリ

又築港江灣改良等ノ爲メ區又ハ商業會議所ニ於テ預金局ヨリ資金ヲ借入レ其元金ト利子ノ幾分ヲ政府ヨリ地方廳若クハ商法會議所ヘ交付シ彼等ヘ數年ノ間噸數稅ヲ課スルコトヲ許可シ之ヲ以テ利子ノ不足ヲ補ハシムルコトアリ又時トシテハ地方廳ト預金局ト特約ヲ結ビ低利(四分)長期限(三十三年)ニテ郵便電信局ノ設置ノ爲メ資金ヲ借入ル、コトアリ而シテ政府ハ元金ノ支拂ヲ負擔シ利子ハ建物ノ借料トシテ地方廳ニ支拂ヒ地方廳ハ之ヲ預金局ニ支拂ヒ償還ヲ了スレハ建物ハ政府ノ所有トナルナリ此等ノ方法ハ皆頗ル繞密ニシテ又權道ニ涉ルノ嫌ナキヲ得ス事ハ政府直接ニ公費ヲ起シ又ハ歳入ヲ以テ之ヲ爲スノ

簡易ナルニ如カサルノ觀ナキヲ得スト雖モ其資金未タ政府カ堂々天下ニ布告シ一公債ヲ起スニ足ラス然レトモ又之ヲ一二年ノ通常歳入ニ課スルヲ得ス且ツ事緊急ナルヲ以テ大藏省證券ヲ以テ之ニ應セントスルモ其發行ニ亦制限アルヲ以テ已ムヲ得ス通常歳入ヲ以テ漸次ニ之ヲ爲サントセハ荏苒歲月ヲ要シ事業ノ効驗大ナラス且ツ却テ費用ヲ要スル多キノ恐アル事業(築港治水ノ如キモノ)ニ於テハ至便ノ方法ト云フヘシ固ヨリ政府ハ大藏省證券ニ據ルノ外預金局ヨリ資金ヲ借入ル、能ハサルヲ以テ地方廳其他ヲ仲人トスルハ亦或ハ已ムヲ得サルモノナントセス

佛國大藏省預金局ニ於テ地方廳等ヘ貸付ヲ爲シ又政府カ此貸付ヲ利用スル方法概テ斯ノ如シ我預金局ニ於テハ未タ地方財政ト氣脈ヲ通セス然レトモ市町村制度ノ發布アリテ地方債ノ條項已ニ定マリ地方債ノ起ル蓋シ遠キニアラサルヘシ而シテ國民稍ク預金ノ尊フヘキヲ知リ驛遞局爲換貯金其他學校工場等ノ貯金日ニ加ハルノ勢アリテ預金局ノ貯金月ニ増進ノ傾向アリ是レ國家ノ爲メ大ニ贊スヘキコトナリト雖モ物集マテテ散セサレハ腐敗ヲ來スハ勢ノ免レ



サル所ナリ而シテ市町村ノ負債ヲ起スモ事尙ホ創設ニ屬シ未タ遽ニ政府ノ公債ヲ募ルカ如キ結果ヲ得ル能ハサルハ敢テ疑ヲ容レス故ニ地方財政ハ預金局ト氣脈ヲ通シ其間ニ調和ヲ求ムルハ方今我經濟上ノ一急務タル又多辯ヲ要セサルナリ敢テ外國ノ慣例ヲ引キ看官ノ參考ニ供セントスト云爾

第三項 獨逸

獨逸ニ於テモ不完全ナル地方債條例ノアルナク只郡縣制市町制等ニ地方債ニ係ル條項ノ散在シアルヲ見ルノミ其體裁佛國ノモノニ相類ス請フ之ヲ左ニ掲載セン

西曆千八百五十三年發布ノ市制

第三十三條 市會ハ都テ市ニ關スル事件ヲ議決スヘシ

第四十九條 左ニ掲クル條件ハ縣廳ノ許可ヲ要ス

第三項 負債ヲ起シ又ハ之ヲ増加スルコト

第五十四條 市ノ役員ハ地方官及區ノ自治行政官ニシテ專ラ左ノ職務ヲ掌ル

第二項 市會ニ於テ決スヘキ事件ヲ調査シ其ノ市會ノ決議ニ同意シタルトキ之ヲ施行スルコト

西曆千八百七十二年ノ郡制

區ノ部

第四十五條 此郡制ニ於テ區ハ村里ニ涉ル事件(鐵道運河等普ク數村ニ波及スルモノ)ニ就キ法律上ニ於テ人ト見做スヘキ者ノ權利ヲ有ス(故ニ區ハ土地不動産ヲ賣買シ又ハ負債ヲ起スノ權利アリ)其法律上ニ於テ人ト見做スヘキ者ハ區長他ニ對シテ之ヲ代表ス  
郡長ハ區ノ土地又ハ不動産ヲ賣却シ並ニ區債ヲ起シ或ハ從來ノ區債ヲ増加スル區會ノ決議ヲ認可ス郡長ノ認可ナキ契約ハ總テ無効トス村制ヲ發布スルマテハ負債ヲ起スハ總テ區ニ屬スル村里ノ承諾ヲ要ス

郡ノ部

第九條 郡會ハ專ラ左ニ掲クル事件ヲ掌ル

第三項 郡ノ義務ヲ盡シ又ハ郡内ノ利益ノ爲メ出費ヲ決議シ且ツ其爲メニ



郡ニ屬スル土地金錢ヲ使用シ又ハ負債ヲ起シ又ハ郡内人民ニ郡費ヲ課スルコト

第二百二十七條 郡長ハ左ニ掲クル事務ヲ掌ル

第一項 郡會ノ決議トナルヘキ事件ノ下調ヲ爲シ其決議トナリタルモノハ之ヲ施行スルコト但法律又ハ郡會ノ決議ヲ以テ別段委員ニ托スルカ又ハ官吏ニ命シ下調及施行ヲ爲サシムルトキハ此限ニアラス  
權限法第四十三條第一項ニ據リ村ノ土地權利ヲ賣却シ又ハ村債ヲ起スコトヲ許可スルコト

第三百三十九條 左ニ記載セル事件ニ係ル郡會ノ決議ハ縣參事會ノ許可ヲ要ス

第五項 新ニ郡債ヲ起スコト及從來ノ郡債ヲ増額スルコト又ハ都テ負債ヲ保證スルノ決議ヲ爲スコト  
縣參事會ノ許可ヲ得サル郡會ノ決議ハ總テ無効トス

西曆千八百七十五年ノ縣制

第三十七條 縣ノ義務ヲ盡スカ爲メ又ハ其利益ノ爲メ必要ナル經費支出ノ決

議ハ縣令ヲ以テ之ヲ發布ス

其決議ノ條項左ノ如シ

第三項 負債ヲ起シ又ハ其保證人民又ハ郡區等ニテ負債等ヲ起ストキ之カ保證ヲ爲スコトヲ爲スコト

第四十八條 縣會ニ於テ左ニ掲クル事件ニ關スル決議ヲ爲サントスルトキハ内務大臣ノ許可ヲ要ス

第三項 負債ヲ起シ又ハ從前ノ負債ヲ増加スルコト又ハ之カ保證ヲ爲スコト

第五十八條 縣知事ハ左ノ事務ヲ掌ル

第一項 縣知事ハ縣會ノ議決ニ付スヘキ事件ヲ準備シ且ツ之ヲ執行ス  
但法律又ハ縣會ノ決議ニ據リ準備及執行ヲ特別ノ委員又ハ官吏ニ命スルトキハ此限ニアラス

以上記載スル所ノモノヲ以テ諸國ノ地方債ニ關スルノ條項ヲ知ルニ足ラン其得失ノ如キハ已ニ論スル所ノ公債ニ係ル諸般ノ事項ヲ知ルノ後ニ自ラ了然タ



ルヲ得ヘキニ由リ茲ニ之ヲ論究スルヲ要ヤス敢テ看官ノ判斷ニ任ス看官夫レ  
之ヲ諒セヨ

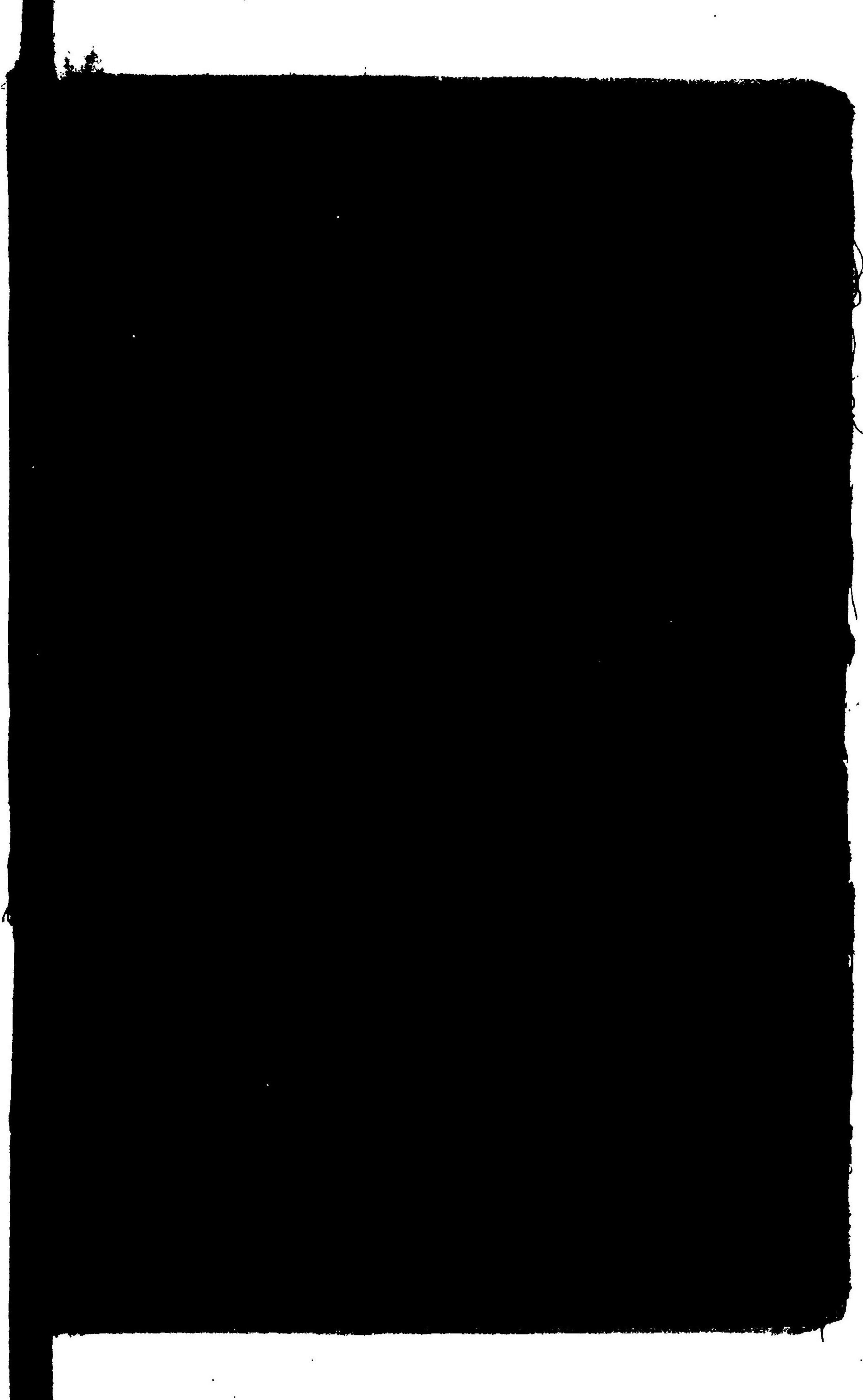
七三一

公債論終



131







14  
631

040518-000-1

14-631

公債論

田尻 稻次郎/述

[M24?]

BDE-0131





